

湯沢町
人権に関する町民意識調査
調査結果報告書

令和4年 10 月

湯沢町

【目次】

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査概要	1
II	調査結果から見る現状・課題	2
III	調査結果	7
1	調査結果の見方	7
2	調査結果	8
IV	各分野における設問間クロス集計結果	78

I 調査の概要

1 調査目的

令和5年度にかけて策定を予定している「湯沢町人権教育・啓発推進計画」において、町民の人権に関する意識・実態等を統計的手法によって把握・分析し、計画策定の基礎資料を得るとともに、今後の人権教育とその啓発推進における課題を特定し、人権啓発施策に反映させることを目的にアンケート調査を実施しました。

2 調査概要

- ・調査地域：町内全域
- ・調査対象者：18歳以上の湯沢町民 1,200人（年齢階層別は無作為抽出）
- ・調査期間：令和4年8月1日～令和4年8月26日
- ・調査方法：郵送配付・郵送回収

配付数	有効回収数	有効回収率
1,200件	343件	28.6%

Ⅱ 調査結果から見る現状・課題

●人権全般について

【国の動向】

- ・国では、平成 12 年に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が施行され、人権教育・人権啓発の推進は国の責務と定め、「人権教育・啓発に関する基本計画」を策定し、人権尊重社会の実現に向けた人権教育・啓発を総合的かつ計画的に推進していくこととしています。

【アンケート調査結果】

- ・人権への関心について、「かなり関心がある」「どちらかと言えば関心がある」を合わせた“関心がある”が全体の7割以上を占めています。
- ・基本的人権が守られていると思うかについて、「よく守られている」「だいたい守られている」を合わせた“守られている”が全体の5割以上を占めています。
- ・人権侵害されたと感じた経験について「ある」が全体の3割台後半となっています。
- ・人権侵害されたときの対応として「何もしなかった」が3割台後半と最も多くなっています。
- ・関心のある人権問題について、「インターネットによる人権侵害について」が全体の5割以上を占めているほか、「障がいのある人の人権」や「女性の人権」などが多くなっています。

【調査結果から見る課題】

- ・インターネットによる人権侵害や社会的に立場が弱い人への人権侵害を含め、様々な人権問題に対処できる支援体制の充実が求められています。

●女性の人権について

【国の動向】

- ・国では、平成 13 年に「DV防止法」を制定し、女性に対する暴力を防止する法制度の整備に取り組んできたほか、平成 27 年に「女性活躍推進法」が制定され、働く場での活躍を希望する女性の個性と能力が発揮された社会の実現のための取り組みが進められています。

【アンケート調査結果】

- ・女性の人権について関心がある割合は全体の4割以上を占めています。
- ・女性の人権について尊重されていないと思うこととして、「就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における差別待遇」が最も多く、次いで「結婚、妊娠、出産、不妊などについての干渉や圧力」となっています。
- ・女性の人権を守るために必要だと思うこととして、「男女ともに働きながら、家事や育児、介護を両立できる環境を充実させること」が最も多く、次いで「男女平等に関する学校教育や社会教育を充実させること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・性別にかかわらず個人として尊重されるよう、人権教育や啓発を通して男女共同参画の意識醸成を図るとともに、女性が働きやすい環境づくりを進めていくことが求められています。

●子どもの人権について

【国の動向】

- ・国では、平成6年に国連で採択された「子どもの権利条約」を批准し、子どもの最善の利益を守り、健やかな発達と子ども独自の権利を擁護することが合意されました。また、平成25年には、「いじめ対策法」が制定され、社会状況を踏まえた子どもを取り巻く課題への対応が求められています。

【アンケート調査結果】

- ・アンケート調査結果では、子供の人権について尊重されていないと思うこととして、「親や同居者が虐待、ネグレクト（無視、放置）すること」が最も多く、次いで「子ども同士の暴力、仲間はずし、無視などのいじめ」となっています。ネットいじめが存在することについては、「知っている」が全体の8割を占めています。
- ・子どもの人権を守るために必要だと思うことについては、「家庭内の人間関係を安定させ、家族の信頼関係を築くこと」が最も多く、次いで「経済的安定や精神的安定など、家庭内の環境の安定を保つこと」となっています。また、学校で推進していく人権教育、同和教育については「積極的にする方がよい」が最も多くなっています。

【調査結果から見る課題】

- ・外からでは見えづらい家庭内やネット上で起きる人権侵害にも対応できるよう、関係機関との連携を強化していくとともに、人権尊重の心を育てる学校教育も推進していく必要があります。

●高齢者の人権について

【国の動向】

- ・国では、平成8年に「高齢社会対策大綱」が策定、平成12年には「介護保険制度」が導入され、社会全体で高齢者を支える仕組みづくりが進められています。また、平成18年には「高齢者虐待防止法」を施行し、高齢者の虐待からの救済及び介護者の支援に関する取り組みが推進されています。一方で、平成28年には「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行され、制度を必要とする人が利用できるよう、成年後見制度に関する施策が推進されています。

【アンケート調査結果】

- ・アンケート調査結果では、高齢者の人権について尊重されていないと思うことについて、「悪質商法や特殊詐欺による高齢者の被害が多いこと」が最も多く、次いで「高齢者が暮らしやすい街づくり、住宅づくりが進んでいないこと」となっています。
- ・高齢者の人権を守るために必要だと思うことについて、「高齢者が自立できる、生活しやすい環境を整備すること」が最も多く、次いで「生きがい対策を整備、充実させること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・高齢者が自立して生活できるよう、消費者被害の防止に向けた啓発や、就労等社会参画の機会の充実が求められています。

●障がいのある人の人権について

【国の動向】

- ・国では、平成 25 年に「障害者雇用促進法」が改正、平成 28 年に「障害者差別解消法」の施行等の法整備が進み、障がいのある人の自立や障がいの特性を踏めた権利擁護に関する取り組みが推進されています。

【アンケート調査結果】

- ・障がいのある人の人権について関心がある割合は5割弱を占めています。
- ・障がいのある人の人権について尊重されていないと思うことについて、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分であること」が最も多く、次いで「働ける場所や機会が少なく、あっても不利なことが多いこと」となっています。
- ・障がいのある人の人権を守るために必要だと思うことについて、「就業機会を確保すること」が最も多く、次いで「障がいのある人も一緒に学習できる学校教育環境を整備すること（インクルーシブ教育）」、「相談、支援体制を充実させること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・障がいのある人が不自由なく社会参加できるよう関係機関と連携して、就労機会の提供体制を強化していくとともに、障がいのある人も一緒に学習できる多様で柔軟な仕組みを整備することが求められています。

●部落差別問題（同和問題）について

【国の動向】

- ・わが国固有の問題である部落差別問題（同和問題）に対して、国では昭和 44 年に「同和対策事業特別措置法」を施行し、国や地方公共団体において、さまざまな特別対策を実施してきました。その結果、環境改善を中心とする物的な基盤整備は着実に成果を上げたものの、教育や就労などの分野でなお課題が残されています。平成 28 年（2016 年）には「部落差別解消推進法」が施行され、「部落差別はいまだ存在する」としたうえで、地方公共団体は部落差別の解消に向けて、地域の実情に応じた施策を講ずることが求められています。

【アンケート調査結果】

- ・部落差別問題（同和問題）の認知度について、「知っている」が最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」となっています。
- ・部落差別問題（同和問題）で人権上特に問題があると思うことについて、「就職の際や職場において不利な扱いをすること」が最も多く、次いで「差別的な発言や行動をすること」となっています。
- ・部落差別問題（同和問題）を解決するために必要だと思うことについて、「学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること」が最も多く、次いで「被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との公平性を確保すること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・多くの町民が同和問題について正しい理解と認識を深めるよう、同和教育を推進していくことが求められています。

●外国から来た人の人権について

【国の動向】

- ・国では多文化共生社会を目指し、平成7年に「人種差別撤廃条約」を批准し、人種・民族等を理由とするあらゆる差別の撤廃に対する取り組みを進めてきました。また、平成28年に「ヘイトスピーチ解消法」が施行され、ヘイトスピーチを抑止、解消する取り組みが進められています。

【アンケート調査結果】

- ・アンケート調査結果では、外国から来た人の人権に関して尊重されていないと思うことについて、「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が最も多く、次いで「外国から来た住民について理解や認識が十分でないこと」となっています。
- ・外国から来た人の人権を守るために必要だと思うことについて、「日本人と外国から来た人がともにお互いの情報を提供しあうこと」が最も多く、次いで「日本人が外国から来た人の事情を理解すること」「外国から来た人との交流の機会を増やすこと」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・外国から来た人と住民の間で、交流機会の創出等により、違いを認めて協力し合い、共に暮らしやすい環境をつくることが求められています。

●移住・定住した人の人権について

【アンケート調査結果】

- ・アンケート回答者について、「湯沢町出身ではない」の割合が5割となっており、町外から移住する方も多くいる状況が伺えます。
- ・移住・定住した人の人権について尊重されていないと思うことについて、「生まれつきの住民が移住・定住した人について理解しようとしにくいこと」が最も多く、次いで「移住・定住した人に生活に必要な情報が行きわたらないこと」となっています。
- ・移住・定住した人の人権を守るために必要だと思うことについて、「移住・定住した人との交流の機会を増やすこと」が最も多く、次いで「生まれつきの住民と移住・定住した人がともにお互いの情報を提供すること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・地域において移住・定住した人との交流機会を創出し、お互いについての理解を深めることや、移住・定住した人に対して、生活に必要な情報の発信を強化することが求められています。

●感染症患者等の人権について

【国の動向】

- ・国では、令和3年に「新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律」が施行され、新型コロナウイルス感染症の感染者やその家族、医療従事者等の人権が尊重され、差別的な取り扱いを受けることのないよう、新たに偏見や差別を防止するための規定が設けられました。また、今なおHIV感染症やハンセン病などに関しても、正しい知識と理解が十分普及していないために、患者やその家族に対する偏見が存在しています。

【アンケート調査結果】

- ・感染症患者等の人権について尊重されていないと思うことについて、「根拠のない噂を流されること」が最も多く、次いで「本人の了解なく感染した事実をさらされること」となっています。
- ・感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことについて、「プライバシー保護を徹底させること」が最も多く、次いで「感染症について学習できる学校教育環境を整備すること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・不正確な情報や誤った認識から生まれる差別や偏見等による人権侵害を防ぐために、正しい知識を広く周知し、理解を深めていくことが求められています。

●インターネットによる人権侵害について

【国の動向】

- ・国では、平成14年に「プロバイダ責任制限法」が施行され、人権侵害が起きた際の取り締まりを進めてきました。また、インターネットの掲示板等に公表する行為により、被害者が大きな精神的苦痛を受ける、「リベンジポルノ」の被害が発生するなどの実情に鑑み、平成26年に「リベンジポルノ被害防止法」が施行されました。一方で、掲示板やSNSの普及により、それらの利用に際して、他人の人権を侵害してしまう事件が発生しており、インターネットでの人権侵害を防ぐことが課題となっています。

【アンケート調査結果】

- ・関心のある人権問題について、「インターネットによる人権侵害について」が全体の5割以上を占めています。
- ・インターネットによる人権侵害だと思うことについて、「インターネット上で子ども同士が中傷の書き込みをしたり仲間外れにすること」が最も多く、次いで「他人の誹謗中傷や差別的な表現など人権を侵害するサイトがあること」となっています。
- ・インターネットによる人権侵害をなくすために効果的だと思うことについて、「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化すること」が最も多く、次いで「小中学生から正しいインターネット利用の教育を学校で推進すること」となっています。

【調査結果から見る課題】

- ・インターネットの利用方法やモラル等について啓発を強化していくとともに、規制や管理方法による人権擁護や犯罪のリスクを未然に防ぐための監視・取り締まりの強化が求められています。

Ⅲ 調査結果

1 調査結果の見方

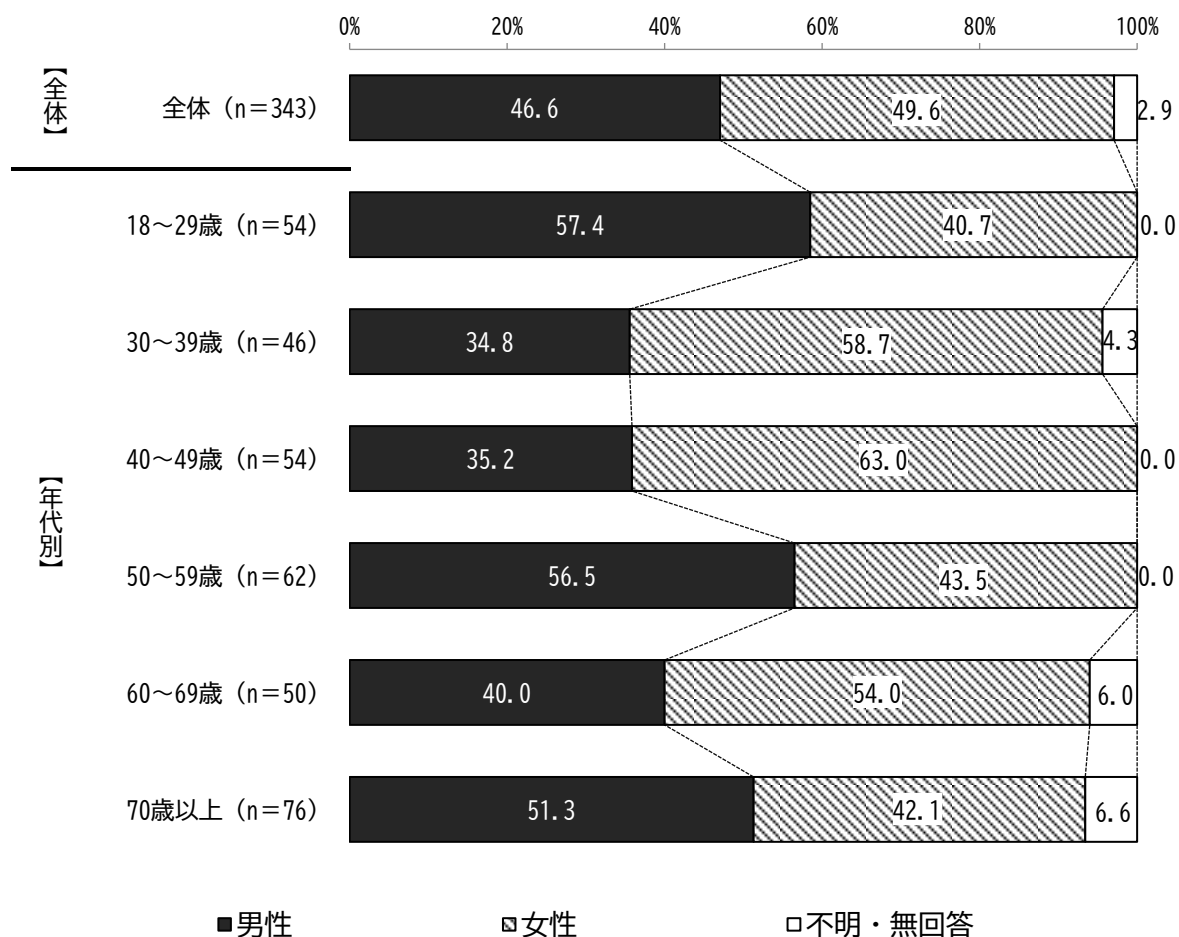
- 回答結果の割合「%」は有効回収数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n（number of case）」は、有効回収数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- 表で掲載しているものについては、その他と不明・無回答を除く、一番大きい値に網掛けをしています。
- 設問によって回答対象者が少ない場合も、参考値として数値を掲載しています。

2 調査結果

回答者自身について

A. あなたの性別

回答者の性別については、「女性」が49.6%と、「男性」の46.6%を上回っています。

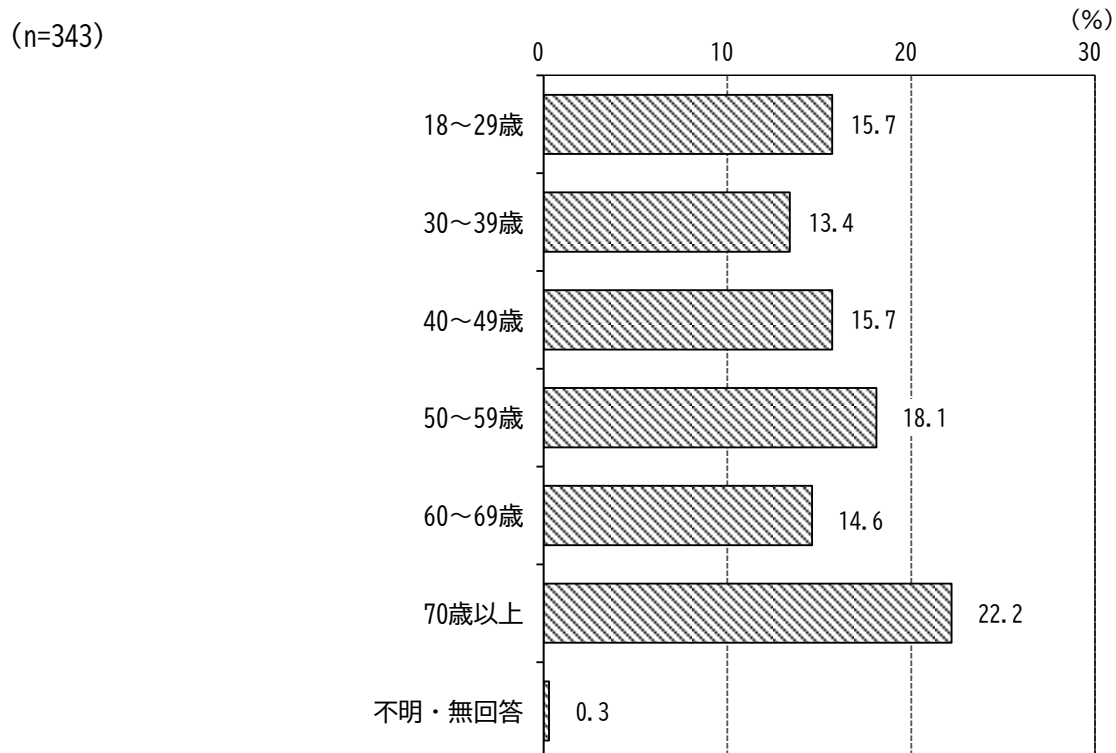


●LGBTQ（性的マイノリティ）について

- レズビアン（女性の同性愛者）やゲイ（男性の同性愛者）、トランスジェンダー（体と心の性に違和感がある人）、バイセクシュアル（両性愛者）といった性的少数者を表す言葉としてあるのが「性的マイノリティ」です。また自分の性別がわからないと思う人もいます。これら代表的な性的マイノリティの頭文字をとって「LGBTQ」と表現することがあります。
- 今回のアンケート調査では、性的マイノリティに関する質問項目は設けず、性別に「どちらでもない」、「わからない」の選択肢を加えて回答いただくことで性的マイノリティの実態を把握することとしました。
- アンケート結果によると、性別について「どちらでもない」と答えた方が2名、「わからない」と答えた方が1名でした。これらについては該当者が少なく個人の回答が特定されるおそれがあるため、性別の集計値には掲載していません。

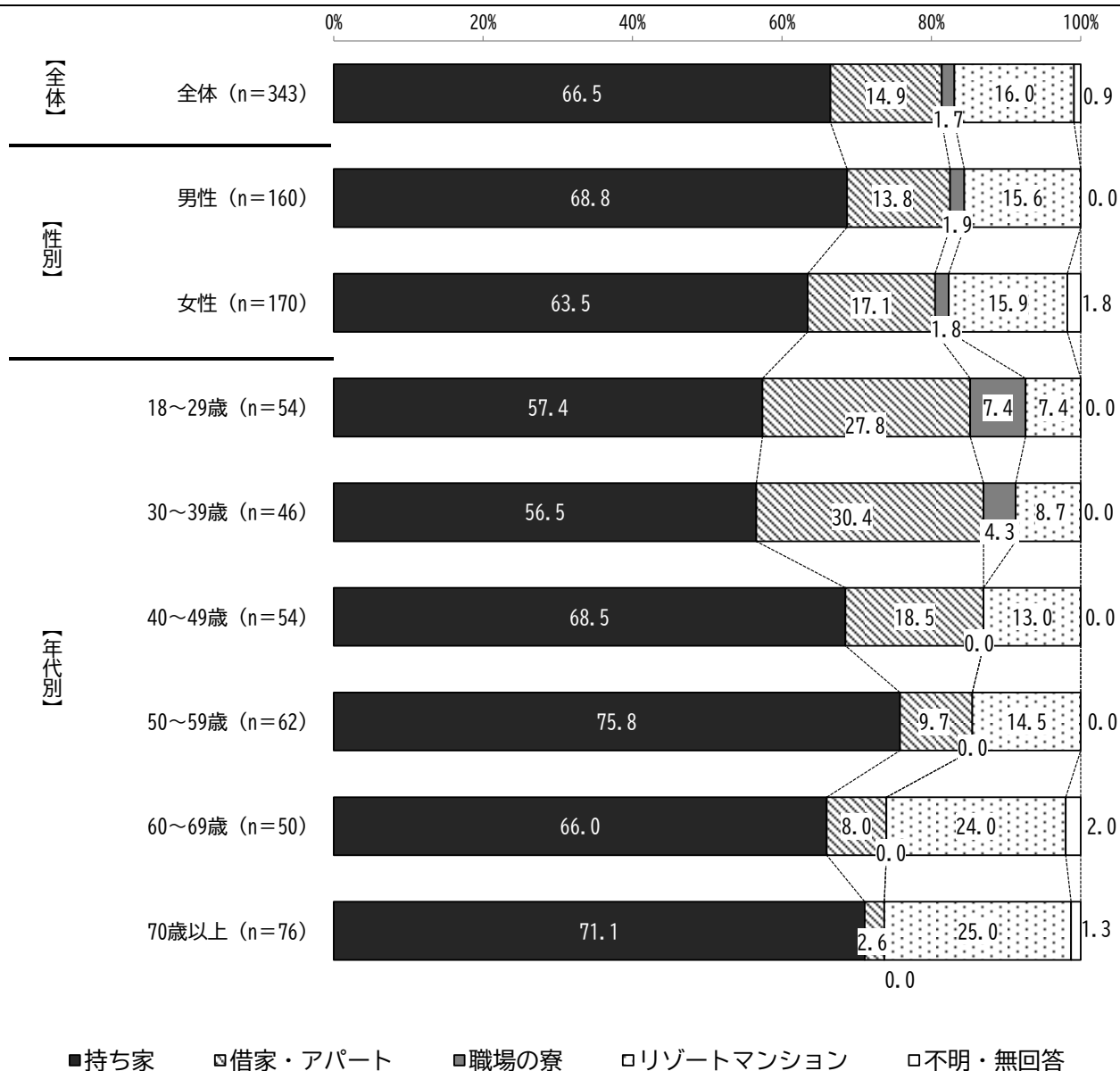
B. あなたの年齢

回答者の年齢については、「70歳以上」が22.2%と最も多く、次いで「50～59歳」が18.1%、「18～29歳」「40～49歳」が15.7%となっています。



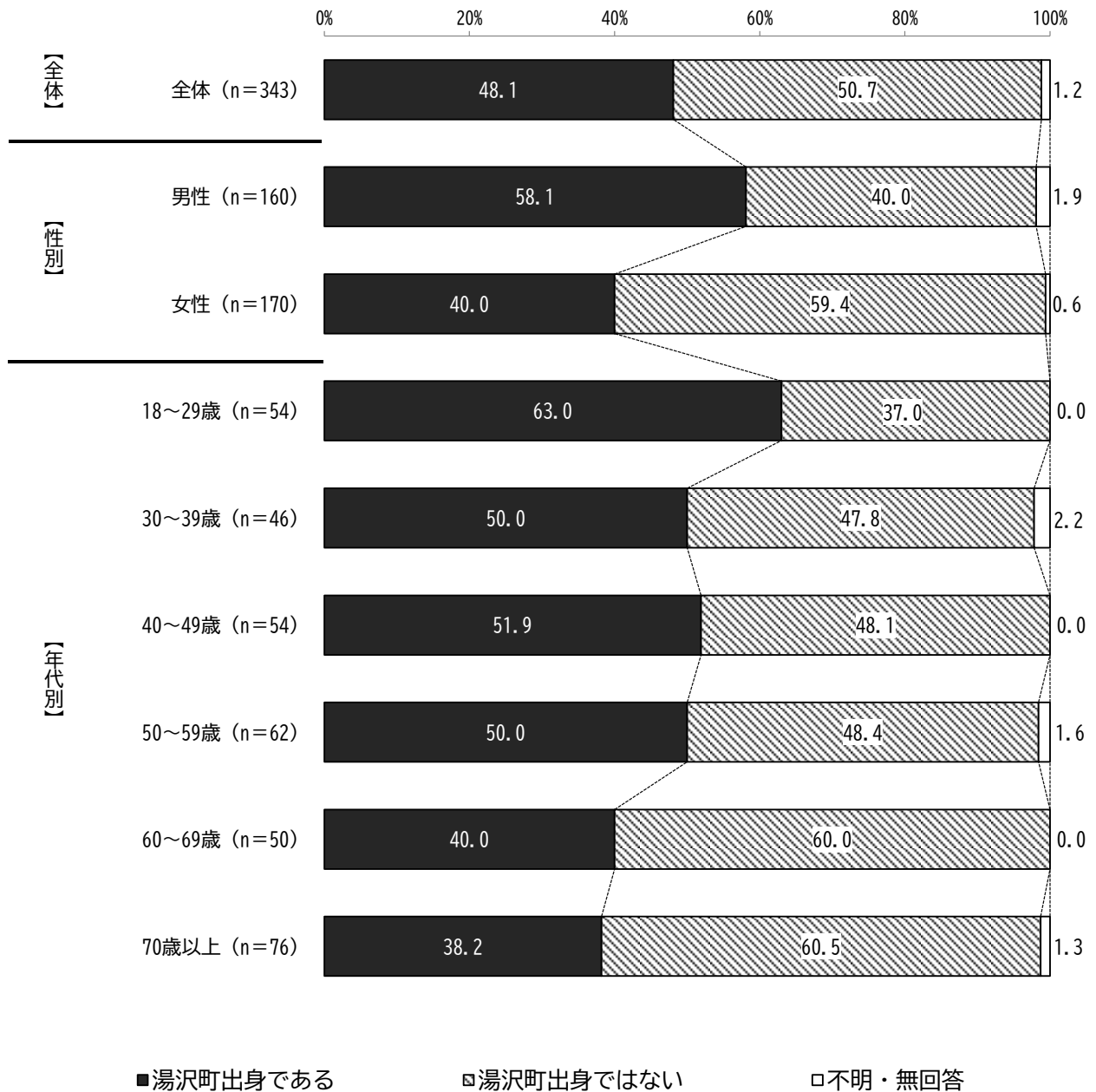
C. あなたの住まい

回答者の住まいについては、「持ち家」が66.5%と最も多く、次いで「リゾートマンション」が16.0%、「借家・アパート」が14.9%となっています。



D. あなたの出身

回答者の出身については、「湯沢町出身ではない」が50.7%と、「湯沢町出身である」の48.1%を上回っています。



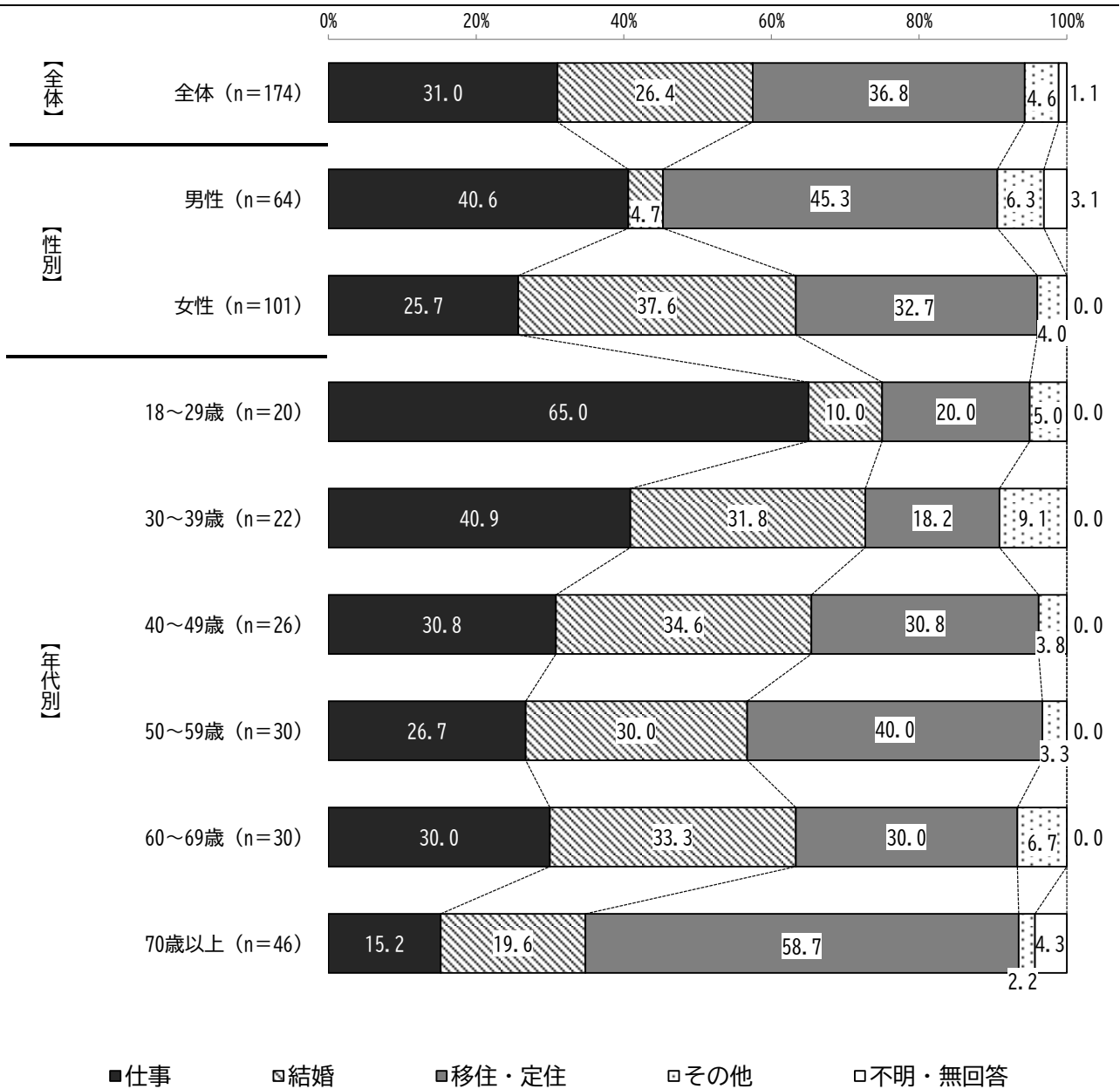
【D. あなたの出身で「2. 湯沢町出身ではない」と答えた方】

E. あなたが湯沢町に住むことになった理由

湯沢町に住むことになった理由については、「移住・定住」が36.8%と最も多く、次いで「仕事」が31.0%、「結婚」が26.4%となっています。

性別にみると、男性で「移住・定住」、女性で「結婚」が最も多くなっています。

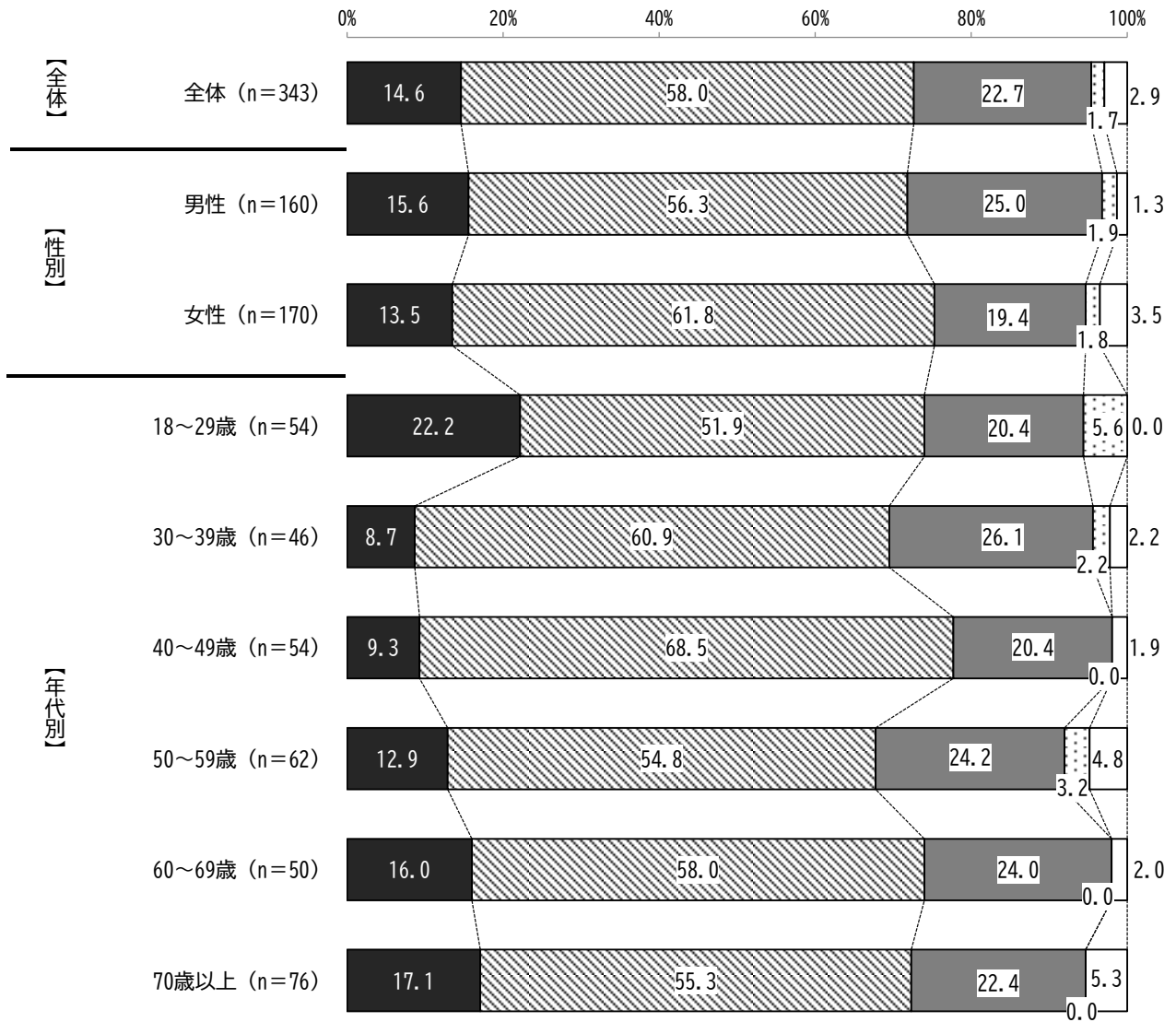
年代別にみると、18～29歳で「仕事」、40～49歳と60～69歳で「結婚」、50～59歳と70歳以上で「移住・定住」、が最も多くなっています。



1.人権全般について

問1 人権について関心はありますか。(1つに○)

人権への関心については、「かなり関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合わせた「関心がある」が72.6%と、「どちらかと言えば関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた「関心がない」の24.4%を上回っています。



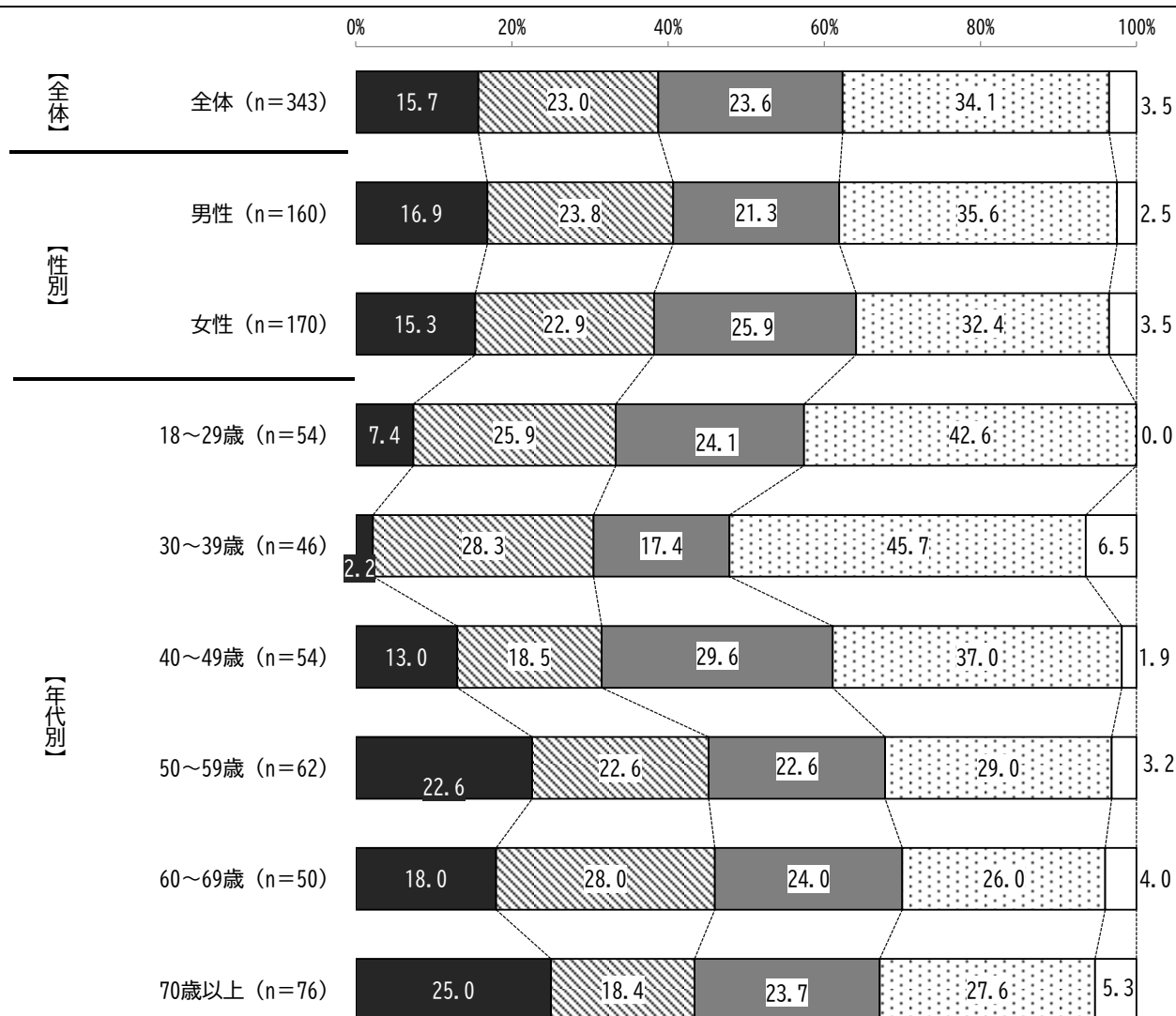
■かなり関心がある
□まったく関心がない

▨どちらかと言えば関心がある ▩どちらかと言えば関心がない
□不明・無回答

問2 2016年（平成28年）に施行された差別の解消を推進する3つの法律（人権三法）を知っていますか。（1つに○）

人権三法の認知度については、「名前も内容もまったく知らない」が34.1%と最も多く、次いで「いくつか名前だけ聞いたことがあるが内容は知らない」が23.6%、「1つまたは2つ名前と内容を知っている」が23.0%となっています。

年代別にみると、18～59歳と70歳以上で「名前も内容もまったく知らない」、60～69歳で「1つまたは2つ名前と内容を知っている」が最も多くなっています。また、18～39歳で「名前も内容もまったく知らない」が4割台と他の年代と比べて多くなっています。



- 3つとも名前と内容を知っている
- ▣ 1つまたは2つ名前と内容を知っている
- ▨ いくつか名前だけ聞いたことがあるが内容は知らない
- 名前も内容もまったく知らない
- 不明・無回答

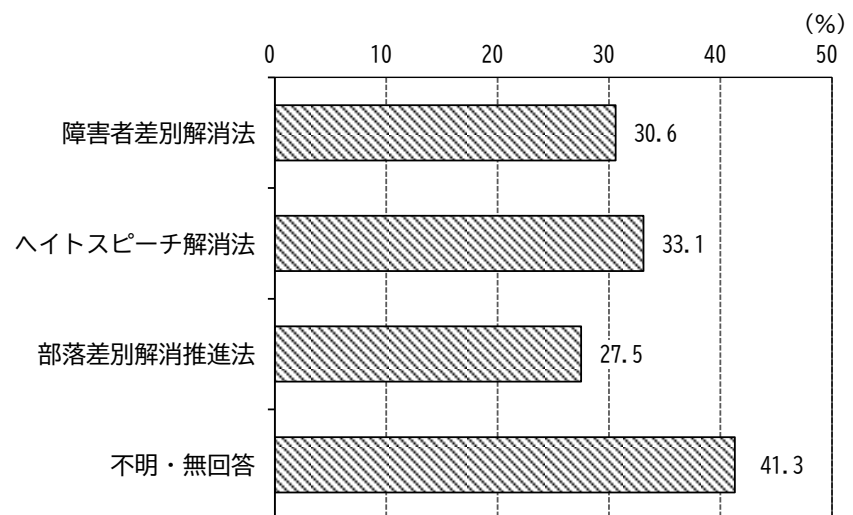
【問2で「2. 1つまたは2つ名前と内容を知っている」「3. いくつか名前だけ聞いたことがあるが内容は知らない」と答えた方】

問2-1 それは以下の(1)～(3)のうちどれですか。

人権三法のうち知っている・聞いたことがあるものについては、「ハイトスピーチ解消法」が33.1%と最も多く、次いで「障害者差別解消法」が30.6%、「部落差別解消法」が27.5%となっています。

性別にみると、男性で「ハイトスピーチ解消法」、女性で「障害者差別解消法」が最も多くなっています。

(n=160)



単位 (%)		n (人)	障害者差別解消法	ハイトスピーチ解消法	部落差別解消推進法	不明・無回答
性別	男性	72	23.6	31.9	19.4	47.2
	女性	83	37.3	33.7	33.7	36.1
年代別	18～29 歳	27	18.5	29.6	37.0	40.7
	30～39 歳	21	57.1	33.3	23.8	23.8
	40～49 歳	26	23.1	38.5	11.5	46.2
	50～59 歳	28	32.1	50.0	25.0	32.1
	60～69 歳	26	19.2	19.2	19.2	61.5
	70 歳以上	32	37.5	28.1	43.8	40.6

2.関心のある人権問題について

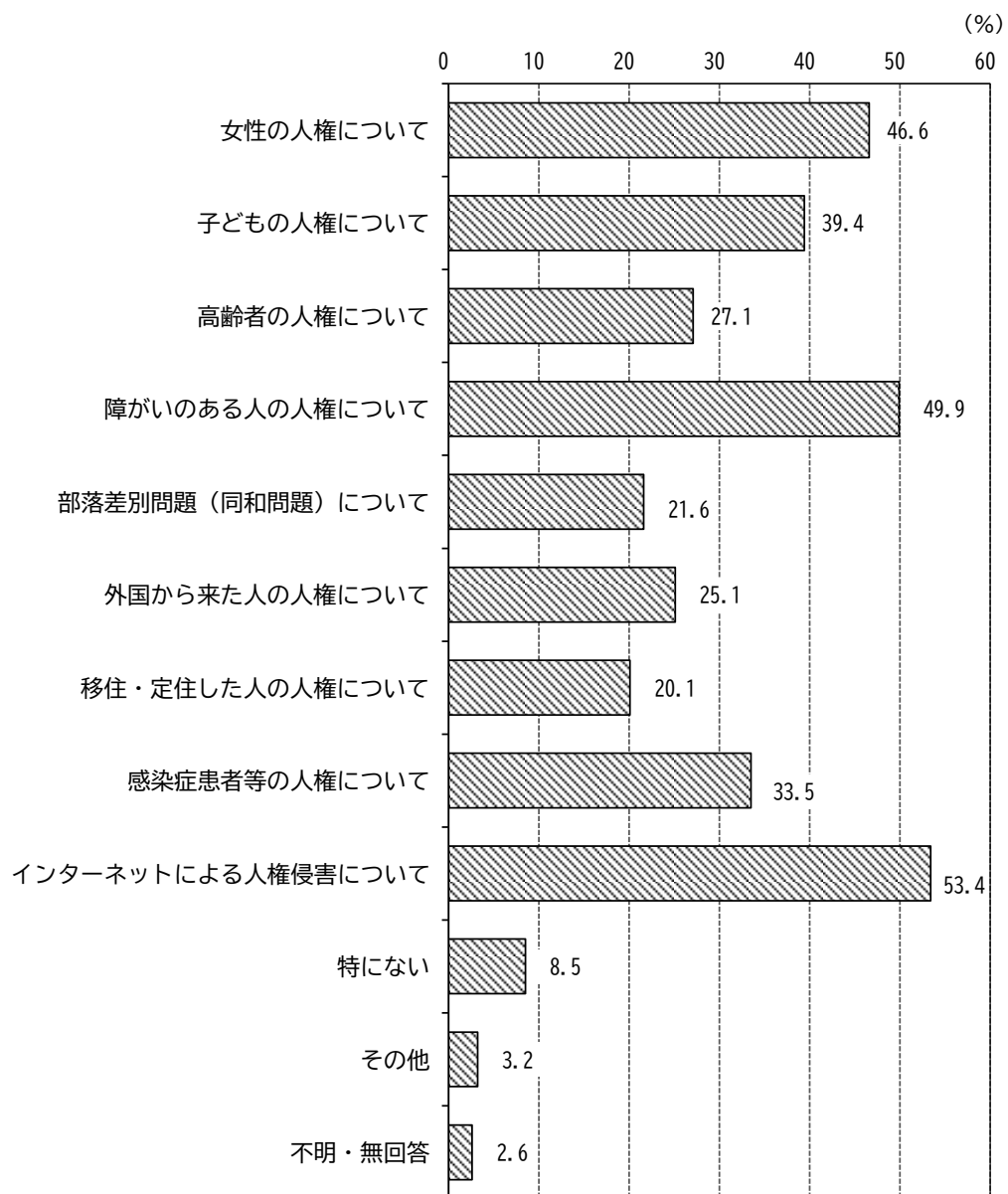
問3 次のうち関心のある人権問題は何ですか。(〇はいくつでも)

関心のある人権問題については、「インターネットによる人権侵害について」が53.4%と最も多く、次いで「障がいのある人の人権について」が49.9%、「女性の人権について」が46.6%となっています。

性別にみると、男性で「インターネットによる人権侵害について」が最も多く、女性で「女性の人権について」が最も多くなっています。

年代別にみると、18～39歳と50～69歳で「インターネットによる人権侵害について」、40～49歳で「女性の人権について」「障がいのある人の人権について」、70歳以上で「障がいのある人の人権について」が最も多くなっています。

(n=343)



単位 (%)		n (人)	女性の人権について	子どもの人権について	高齢者の人権について	障がいのある人の人権について	部落差別問題(同和問題)について	外国から来た人の人権について
性別	男性	160	31.9	35.0	25.6	50.0	21.3	23.8
	女性	170	62.4	43.5	28.8	51.8	22.9	27.1
年代別	18~29歳	54	50.0	37.0	14.8	37.0	27.8	29.6
	30~39歳	46	47.8	39.1	10.9	45.7	17.4	19.6
	40~49歳	54	57.4	50.0	22.2	57.4	24.1	31.5
	50~59歳	62	53.2	41.9	24.2	48.4	27.4	27.4
	60~69歳	50	40.0	36.0	28.0	48.0	8.0	20.0
	70歳以上	76	35.5	32.9	50.0	57.9	22.4	21.1
単位 (%)		n (人)	移住・定住した人の人権について	感染症患者等の人権について	インターネットによる人権侵害について	特にない	その他	不明・無回答
性別	男性	160	16.3	30.0	53.8	9.4	5.6	1.9
	女性	170	24.7	38.2	54.1	6.5	1.2	2.9
年代別	18~29歳	54	13.0	25.9	53.7	11.1	0.0	0.0
	30~39歳	46	21.7	43.5	67.4	8.7	4.3	2.2
	40~49歳	54	20.4	46.3	53.7	3.7	5.6	3.7
	50~59歳	62	22.6	40.3	58.1	4.8	3.2	4.8
	60~69歳	50	20.0	20.0	66.0	12.0	4.0	0.0
	70歳以上	76	21.1	26.3	32.9	10.5	2.6	3.9

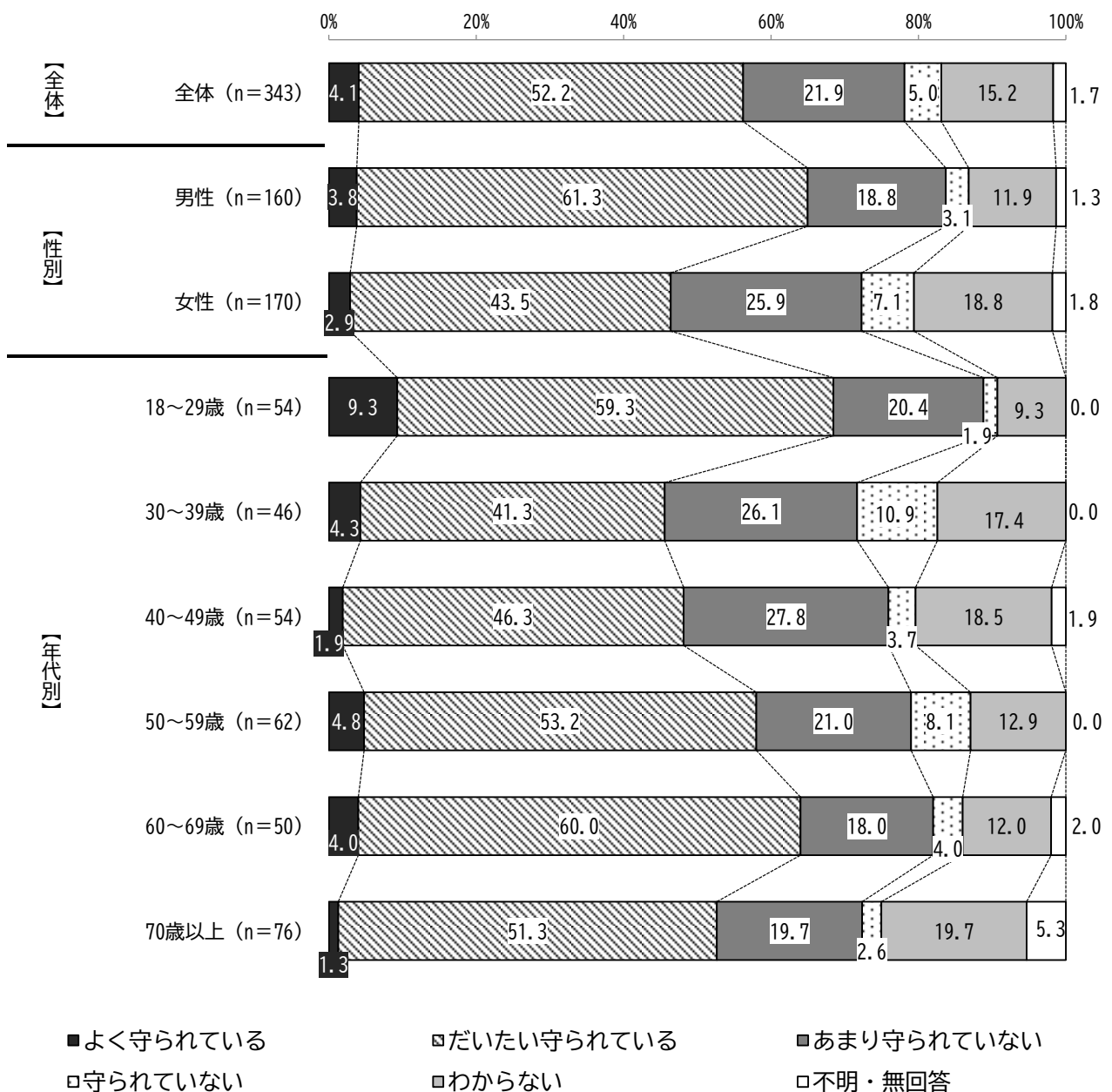
3. 基本的人権の順守について

問4 基本的人権は守られていると思いますか。(1つに○)

基本的人権が守られていると思うかについては、「よく守られている」と「だいたい守られている」を合わせた“守られている”が56.3%と、「あまり守られていない」と「守られていない」を合わせた“守られていない”の26.9%を上回っています。

性別にみると、女性で“守られていない”が3割台前半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、30～39歳で“守られていない”が3割台後半と他の年代と比べて多くなっています。



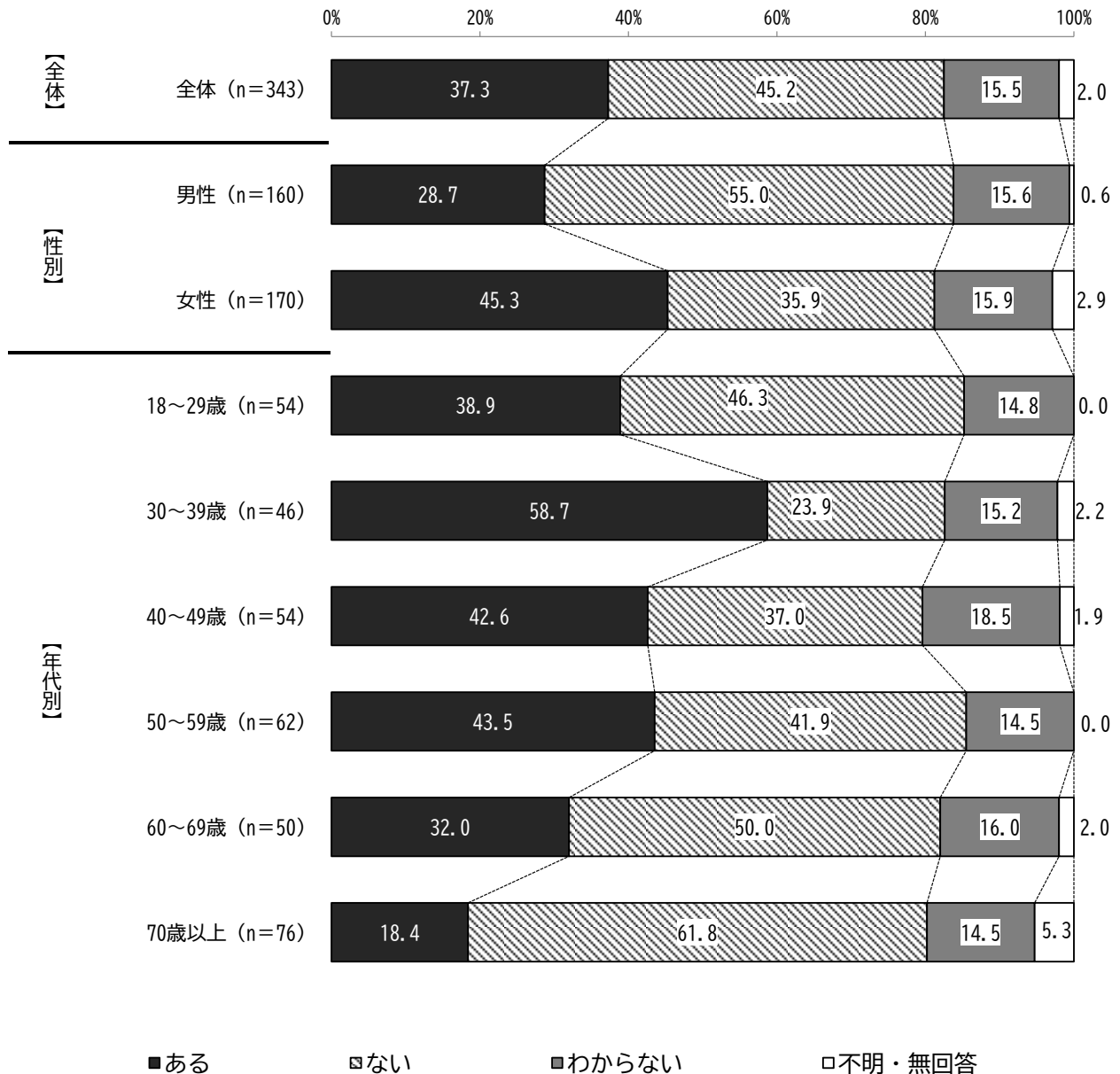
4.人権侵害を感じたときの状況について

問5 これまで自分の人権が侵害されたと感じた経験はありますか。(1つに〇)

人権侵害されたと感じた経験については、「ない」が45.2%と最も多く、次いで「ある」が37.3%、「わからない」が15.5%となっています。

性別にみると、女性で「ある」が最も多く、4割台半ばと男性と比べて多くなっています。

年代別にみると30～59歳で「ある」が最も多くなっています。とくに、30～39歳で「ある」が5割後半と他の年代と比べて多くなっています。

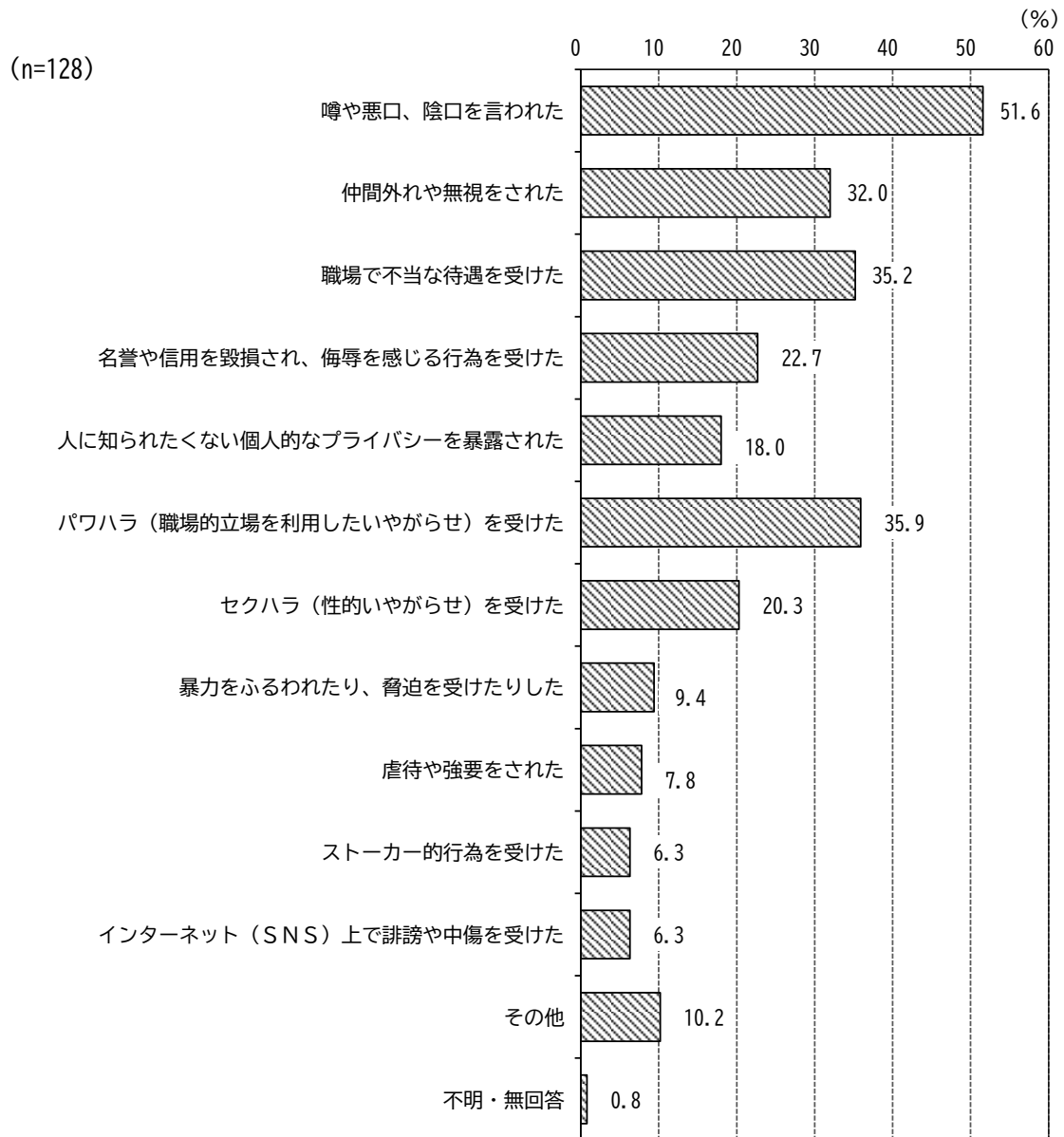


【問5で「1. ある」と答えた方】

問6 具体的な人権侵害は何ですか。(〇はいくつでも)

具体的な人権侵害の内容については、「噂や悪口、陰口を言われた」が51.6%と最も多く、次いで「パワハラ（職場的立場を利用したいやがらせ）を受けた」が35.9%、「職場で不当な待遇を受けた」が35.2%となっています。

性別にみると、男性で「名誉や信用を毀損され、侮辱を感じる行為を受けた」が3割と女性と比べて多く、女性で「仲間外れや無視をされた」が3割台後半、「セクハラ（性的いやがらせ）を受けた」が3割弱とそれぞれ男性と比べて多くなっています。

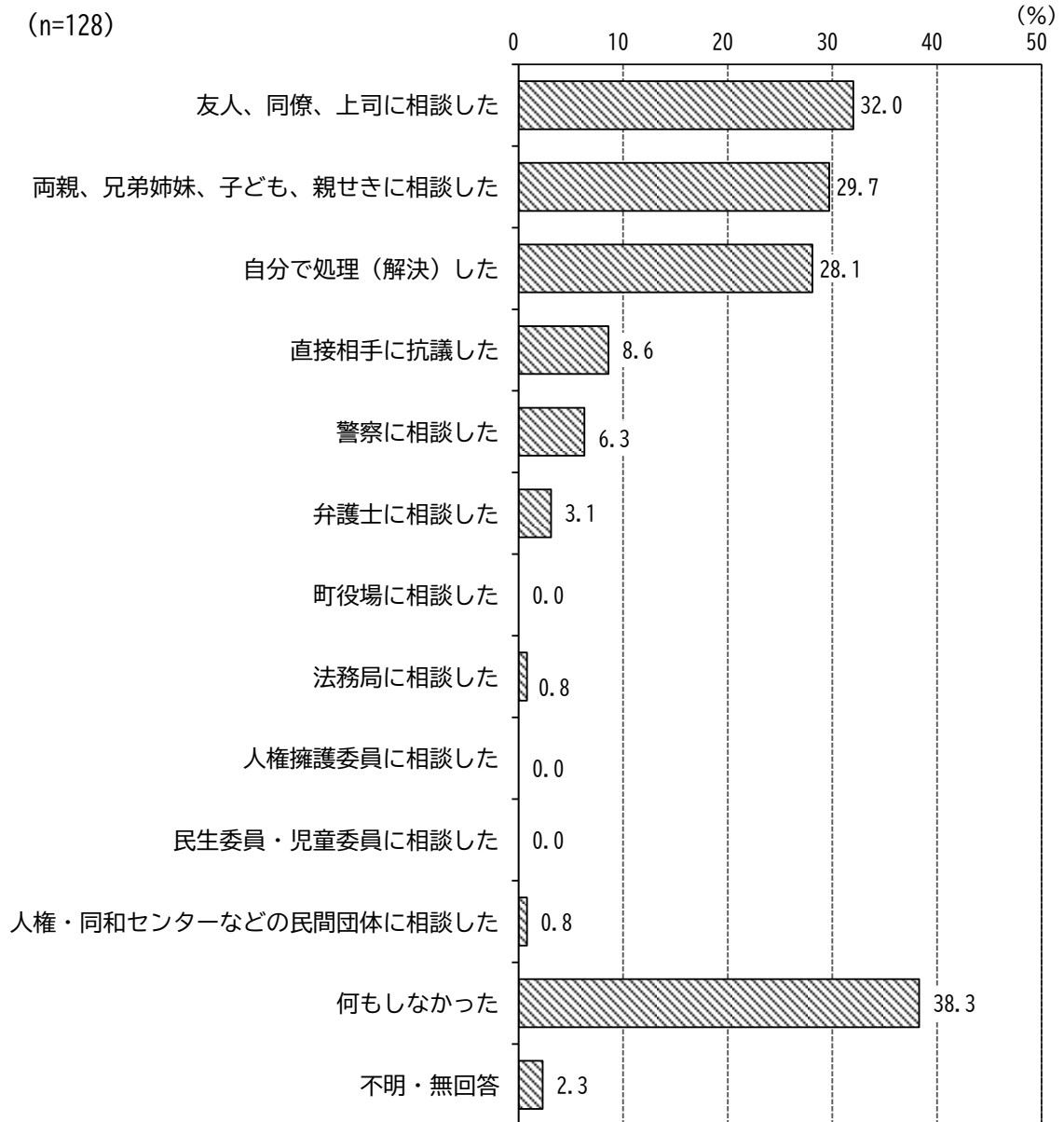


単位 (%)		n (人)	噂や悪口、陰口を言われた	仲間外れや無視をされた	職場で不当な待遇を受けた	名誉や信用を毀損され、侮辱を感じる行為を受けた	イバシーを暴露された	人に知られたくない個人的なプライベートを暴露された	セクハラ（性的いやがらせ）を受けた
性別	男性	46	58.7	23.9	39.1	30.4	15.2	39.1	6.5
	女性	77	48.1	37.7	33.8	18.2	20.8	33.8	29.9
年代別	18～29 歳	21	52.4	42.9	33.3	14.3	28.6	19.0	14.3
	30～39 歳	27	51.9	44.4	33.3	29.6	14.8	29.6	22.2
	40～49 歳	23	52.2	34.8	30.4	17.4	17.4	47.8	26.1
	50～59 歳	27	48.1	18.5	51.9	29.6	25.9	51.9	25.9
	60～69 歳	16	56.3	18.8	6.3	18.8	6.3	31.3	12.5
	70 歳以上	14	50.0	28.6	50.0	21.4	7.1	28.6	14.3
単位 (%)		n (人)	暴力をふるわれたり、脅迫を受けた	虐待や強要をされた	ストーカー的行為を受けた	インターネット（SNS）上で誹謗や中傷を受けた	その他	不明・無回答	
性別	男性	46	6.5	4.3	4.3	2.2	6.5	0.0	
	女性	77	10.4	10.4	7.8	7.8	13.0	0.0	
年代別	18～29 歳	21	4.8	9.5	0.0	4.8	9.5	0.0	
	30～39 歳	27	14.8	14.8	3.7	7.4	7.4	0.0	
	40～49 歳	23	8.7	4.3	8.7	4.3	8.7	0.0	
	50～59 歳	27	11.1	11.1	3.7	7.4	14.8	0.0	
	60～69 歳	16	6.3	0.0	18.8	12.5	12.5	6.3	
	70 歳以上	14	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	

【問5で「1. ある」と答えた方】

問7 人権侵害されたときにどうしましたか。(〇はいくつでも)

人権侵害されたときの対応については、「何もしなかった」が38.3%と最も多く、次いで「友人、同僚、上司に相談した」が32.0%、「両親、兄弟姉妹、子ども、親せきに相談した」が29.7%となっています。



単位 (%)		n (人)	友人、同僚、上司に相談した	両親、兄弟姉妹、子ども、親せきに相談した	自分で処理(解決)した	直接相手に抗議した	警察に相談した	弁護士に相談した	町役場に相談した
性別	男性	46	26.1	32.6	30.4	10.9	6.5	2.2	0.0
	女性	77	35.1	28.6	28.6	6.5	6.5	3.9	0.0
年代別	18~29歳	21	42.9	57.1	23.8	9.5	4.8	4.8	0.0
	30~39歳	27	33.3	44.4	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0
	40~49歳	23	34.8	34.8	47.8	8.7	8.7	4.3	0.0
	50~59歳	27	37.0	22.2	25.9	11.1	7.4	0.0	0.0
	60~69歳	16	6.3	0.0	25.0	6.3	12.5	6.3	0.0
	70歳以上	14	28.6	0.0	50.0	21.4	0.0	0.0	0.0
単位 (%)		n (人)	法務局に相談した	人権擁護委員に相談した	民生委員・児童委員に相談した	人権・同和センターなどの民間団体に相談した	何もしなかった	不明・無回答	
性別	男性	46	2.2	0.0	0.0	2.2	34.8	0.0	
	女性	77	0.0	0.0	0.0	0.0	40.3	2.6	
年代別	18~29歳	21	4.8	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	30~39歳	27	0.0	0.0	0.0	3.7	37.0	3.7	
	40~49歳	23	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	0.0	
	50~59歳	27	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	
	60~69歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	56.3	6.3	
	70歳以上	14	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7	7.1	

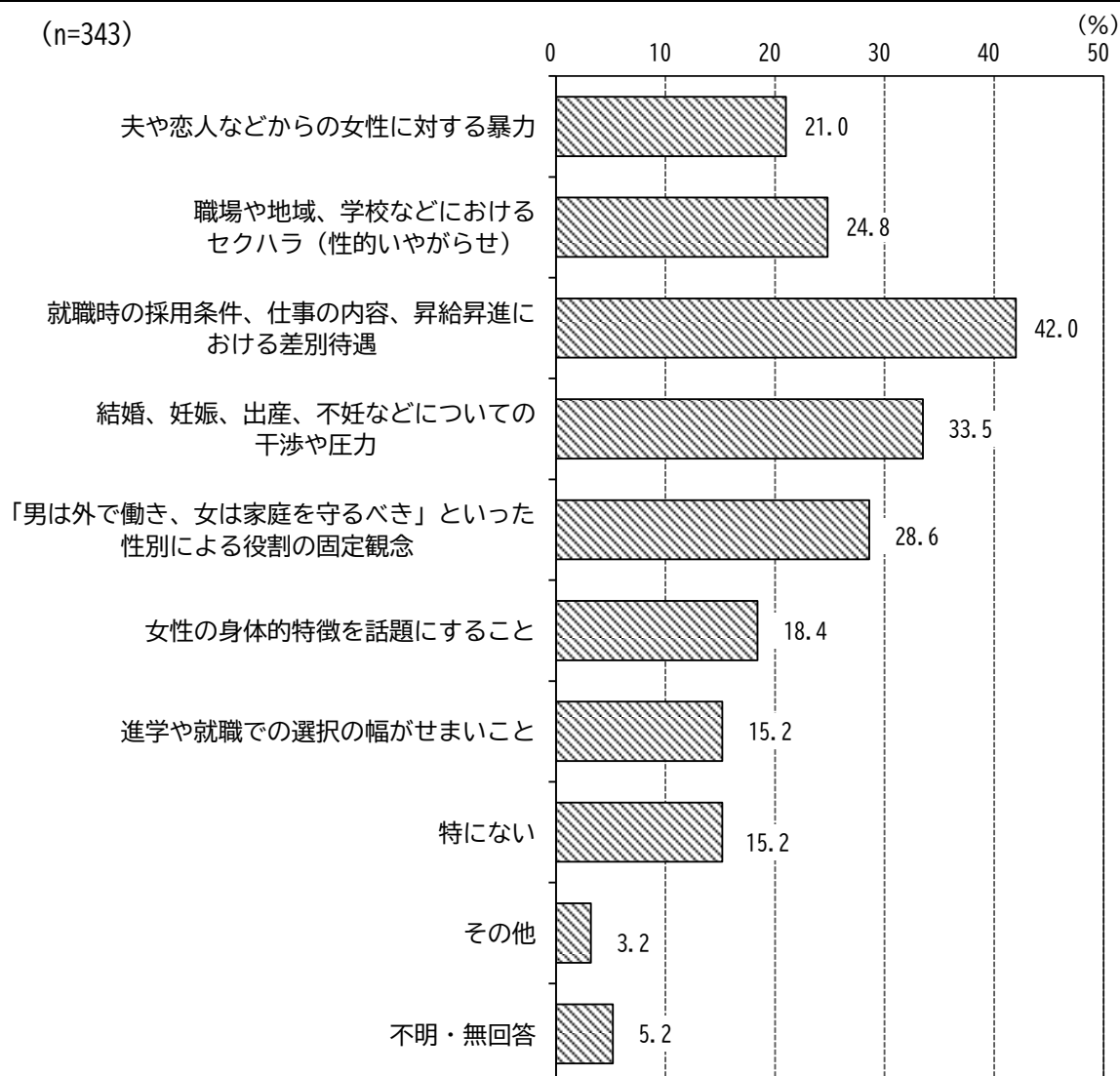
5. 女性の人権について

問8 女性の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

女性の人権に関して尊重されていないと思うことについては、「就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における差別待遇」が42.0%と最も多く、次いで「結婚、妊娠、出産、不妊などについての干渉や圧力」が33.5%、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」といった性別による役割の固定観念」が28.6%となっています。

性別にみると、女性で「結婚、妊娠、出産、不妊などについての干渉や圧力」が4割、「進学や就職での選択の幅がせまいこと」が2割とそれぞれ男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳と40～49歳、60歳以上で「就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における差別待遇」、30～39歳と50～59歳で「結婚、妊娠、出産、不妊などについての干渉や圧力」が最も多くなっています。また、50～59歳で「女性の身体的特徴を話題にすること」が3割弱と他の年代と比べて多くなっています。



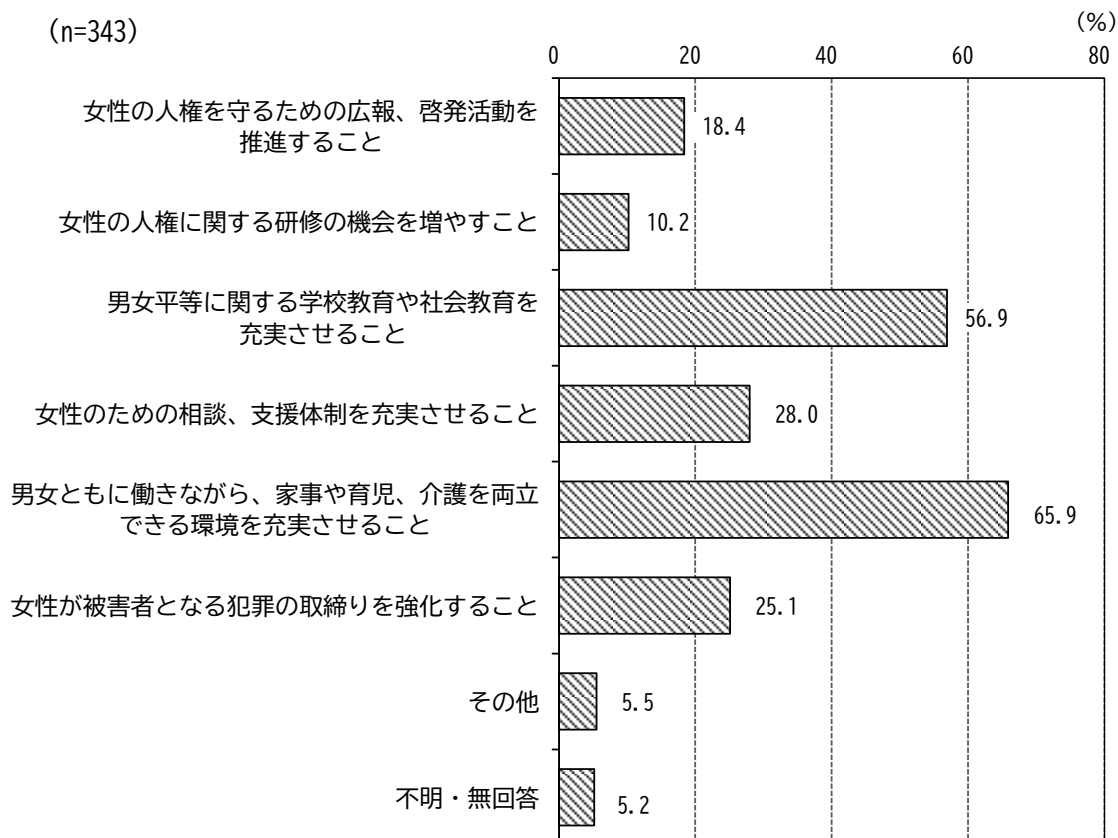
単位 (%)		n (人)	夫や恋人などからの女性に対する暴力	職場や地域、学校などにおけるセクハラ (性的いやがらせ)	就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇 進における差別待遇	結婚、妊娠、出産、不妊などについての 干渉や圧力	「男は外で働き、女は家庭を守るべき」 といった性別による役割の固定観念	女性の身体的特徴を話題にすること	進学や就職での選択の幅がせまいこと
性別	男性	160	25.0	33.1	37.5	27.5	28.7	19.4	10.0
	女性	170	17.6	17.6	48.2	40.0	30.0	18.8	20.0
年代別	18～29 歳	54	25.9	31.5	38.9	37.0	25.9	11.1	13.0
	30～39 歳	46	30.4	30.4	39.1	54.3	28.3	15.2	17.4
	40～49 歳	54	25.9	29.6	46.3	38.9	33.3	16.7	11.1
	50～59 歳	62	24.2	30.6	40.3	41.9	25.8	29.0	19.4
	60～69 歳	50	8.0	16.0	42.0	28.0	24.0	20.0	18.0
	70 歳以上	76	14.5	14.5	43.4	11.8	32.9	17.1	11.8
単位 (%)		n (人)	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答				
性別	男性	160	20.6	3.8	3.8				
	女性	170	9.4	2.9	3.5				
年代別	18～29 歳	54	13.0	0.0	3.7				
	30～39 歳	46	8.7	0.0	6.5				
	40～49 歳	54	16.7	5.6	0.0				
	50～59 歳	62	14.5	1.6	1.6				
	60～69 歳	50	14.0	4.0	10.0				
	70 歳以上	76	21.1	6.6	9.2				

問9 女性の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

女性の人権を守るために必要だと思うことについては、「男女ともに働きながら、家事や育児、介護を両立できる環境を充実させること」が65.9%と最も多く、次いで「男女平等に関する学校教育や社会教育を充実させること」が56.9%、「女性のための相談、支援体制を充実させること」が28.0%となっています。

性別にみると、男性で「女性の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること」が2割台半ば、「女性の人権に関する研修の機会を増やすこと」が1割台前半とそれぞれ女性と比べて多く、女性で「男女ともに働きながら、家事や育児、介護を両立できる環境を充実させること」が7割台半ば、「女性のための相談、支援体制を充実させること」が3割台前半とそれぞれ男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～69歳で「男女ともに働きながら、家事や育児、介護を両立できる環境を充実させること」、70歳以上で「男女平等に関する学校教育や社会教育を充実させること」が最も多くなっています。また、18～39歳で「女性のための相談、支援体制を充実させること」が3割半ばから4割弱、50～59歳で「女性が被害者となる犯罪の取締りを強化すること」が3割半ば、50～59歳と70歳以上で「女性の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること」が2割台半ばとそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



単位 (%)		n (人)	女性の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	女性の人権に関する研修の機会を増やすこと	男女平等に関する学校教育や社会教育を充実させること	女性のための相談、支援体制を充実させること	男女ともに働きながら、家事や育児、介護を両立できる環境を充実させること	女性が被害者となる犯罪の取締りを強化すること	その他
性別	男性	160	25.0	13.1	55.0	25.0	57.5	23.8	5.6
	女性	170	12.9	7.6	60.0	32.4	75.3	27.1	5.9
年代別	18～29 歳	54	14.8	9.3	50.0	35.2	53.7	18.5	7.4
	30～39 歳	46	10.9	6.5	50.0	39.1	89.1	23.9	2.2
	40～49 歳	54	18.5	7.4	63.0	25.9	74.1	27.8	5.6
	50～59 歳	62	25.8	12.9	61.3	25.8	64.5	35.5	8.1
	60～69 歳	50	10.0	14.0	64.0	24.0	70.0	18.0	4.0
	70 歳以上	76	25.0	10.5	53.9	22.4	52.6	23.7	5.3
単位 (%)		n (人)	不明・無回答						
性別	男性	160	4.4						
	女性	170	3.5						
年代別	18～29 歳	54	1.9						
	30～39 歳	46	4.3						
	40～49 歳	54	1.9						
	50～59 歳	62	1.6						
	60～69 歳	50	6.0						
	70 歳以上	76	13.2						

6.子どもの人権について

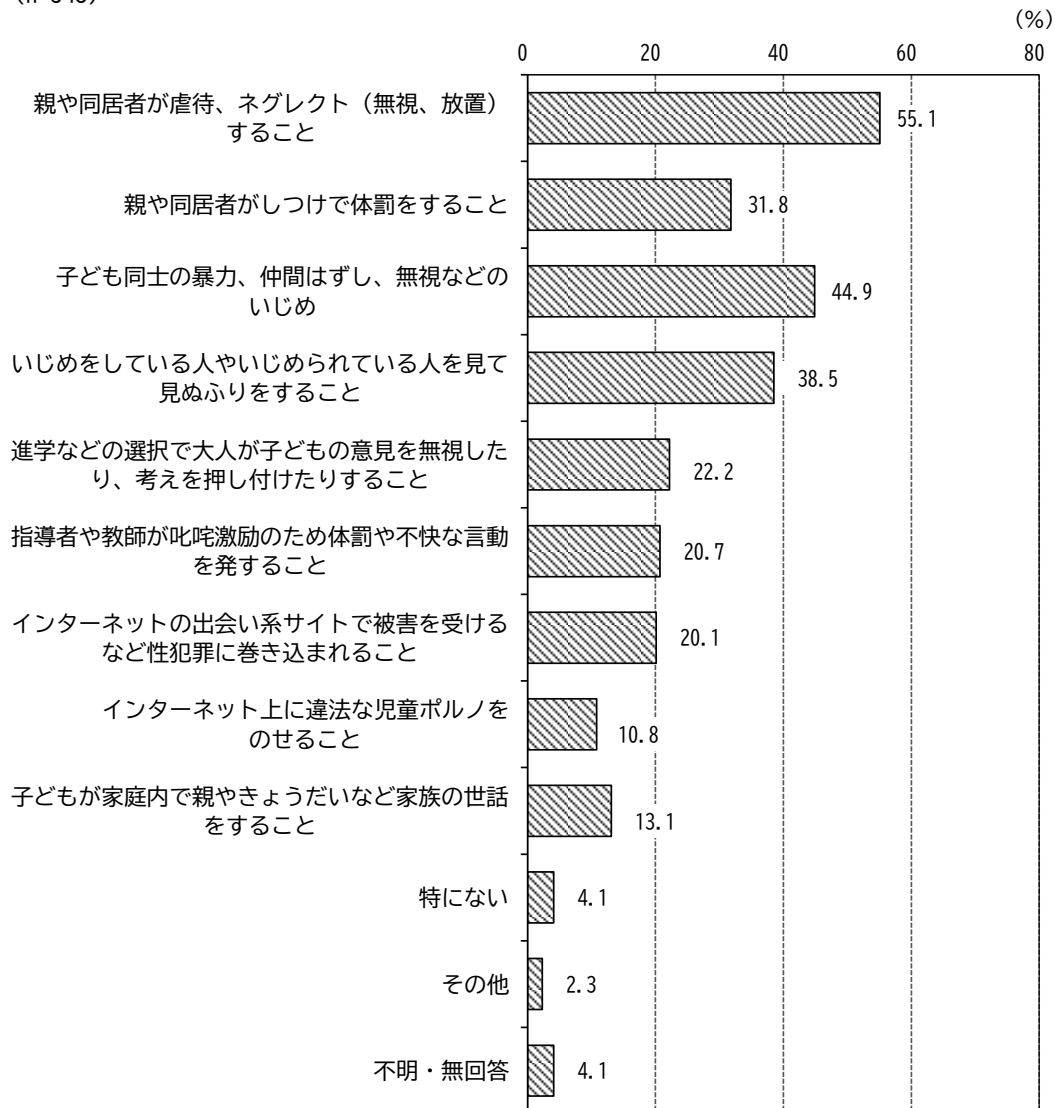
問 10 子どもの人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

子どもの人権に関して尊重されていないと思うことについては、「親や同居者が虐待、ネグレクト（無視、放置）すること」が55.1%で最も多く、次いで「子ども同士の暴力、仲間はずし、無視などのいじめ」が44.9%、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事」が38.5%となっています。

性別にみると、男性で「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事」が4割前半と女性と比べて多く、女性で「進学などの選択で大人が子どもの意見を無視したり、考えを押し付けたりすること」「指導者や教師が叱咤激励のため体罰や不快な言動を発すること」が2割前半から2割台半ばとそれぞれ男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～59歳で「親や同居者が虐待、ネグレクト（無視、放置）すること」、60～69歳で「子ども同士の暴力、仲間はずし、無視などのいじめ」、70歳以上で「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事」が最も多くなっています。また、18～29歳で「進学などの選択で大人が子どもの意見を無視したり、考えを押し付けたりすること」「指導者や教師が叱咤激励のため体罰や不快な言動を発すること」が3割前半と他の年代と比べて多くなっています。

(n=343)



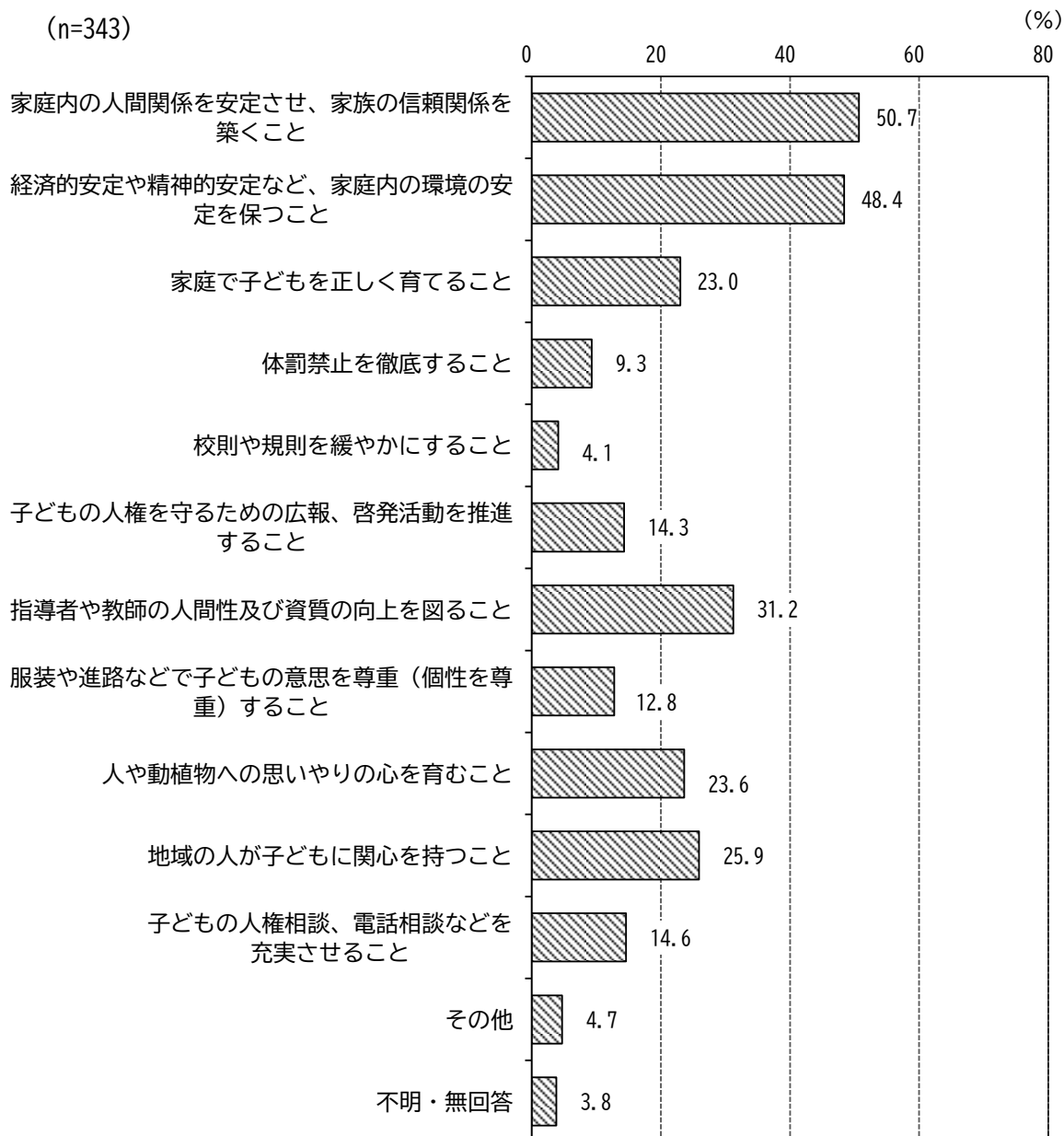
単位 (%)		n (人)	親や同居者が虐待、ネグレクト（無視、放置）すること	親や同居者がしつこく体罰をすること	無視などのいじめ	子ども同士の暴力、仲間はずし、	いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをすること	進学などの選択で大人が子どもの意見を無視したり、考えを押し付けたりすること	罰や不快な言動を発すること	指導者や教師が叱咤激励のため体罰や不快な言動を発すること	インターネットの出会い系サイトで被害を受けるなど性犯罪に巻き込まれること
性別	男性	160	55.0	32.5	48.1	43.8	18.1	18.1	18.1	18.1	
	女性	170	57.6	33.5	44.1	34.7	25.9	23.5	22.4		
年代別	18～29 歳	54	61.1	31.5	37.0	29.6	33.3	31.5	13.0		
	30～39 歳	46	56.5	32.6	47.8	43.5	28.3	21.7	26.1		
	40～49 歳	54	74.1	38.9	44.4	35.2	22.2	22.2	22.2		
	50～59 歳	62	64.5	30.6	53.2	37.1	21.0	14.5	17.7		
	60～69 歳	50	42.0	32.0	48.0	38.0	14.0	14.0	26.0		
	70 歳以上	76	38.2	27.6	39.5	44.7	17.1	21.1	17.1		
単位 (%)		n (人)	インターネット上に違法な児童ポルノをのせること	子どもが家庭内で親やきょうだいなど家族の世話をすること	特になし	その他	不明・無回答				
性別	男性	160	8.8	10.6	6.3	3.1	0.6				
	女性	170	13.5	15.9	1.2	1.8	4.7				
年代別	18～29 歳	54	3.7	7.4	5.6	1.9	1.9				
	30～39 歳	46	13.0	13.0	2.2	0.0	4.3				
	40～49 歳	54	14.8	16.7	5.6	1.9	1.9				
	50～59 歳	62	17.7	19.4	1.6	1.6	1.6				
	60～69 歳	50	12.0	8.0	4.0	6.0	4.0				
	70 歳以上	76	5.3	13.2	5.3	2.6	9.2				

問 11 子どもの人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

子どもの人権を守るために必要だと思うことについては、「家庭内の人間関係を安定させ、家族の信頼関係を築くこと」が 50.7%と最も多く、次いで「経済的安定や精神的安定など、家庭内の環境の安定を保つこと」が 48.4%、「指導者や教師の人間性及び資質の向上を図ること」が 31.2%となっています。

性別にみると、男性で「家庭内の人間関係を安定させ、家族の信頼関係を築くこと」、女性で「経済的安定や精神的安定など、家庭内の環境の安定を保つこと」が最も多くなっています。また、男性で「家庭で子どもを正しく育てること」が2割台後半、「子どもの人権を守るための広報、啓発活動を推進すること」が1割台後半、「地域の人子どもに関心を持つこと」が3割とそれぞれ女性と比べて多く、女性で「指導者や教師の人間性及び資質の向上を図ること」が3割台半ばと男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳と40～49歳で「経済的安定や精神的安定など、家庭内の環境の安定を保つこと」、30～39歳と50～59歳、70歳以上で「家庭内の人間関係を安定させ、家族の信頼関係を築くこと」、60～69歳で「指導者や教師の人間性及び資質の向上を図ること」が最も多くなっています。また、18～29歳で「校則や規則を緩やかにすること」が1割台前半、50～59歳で「家庭で子どもを正しく育てること」が3割台前半、60～69歳で「人や動植物への思いやりの心を育むこと」が3割台前半と他の年代と比べて多くなっています。



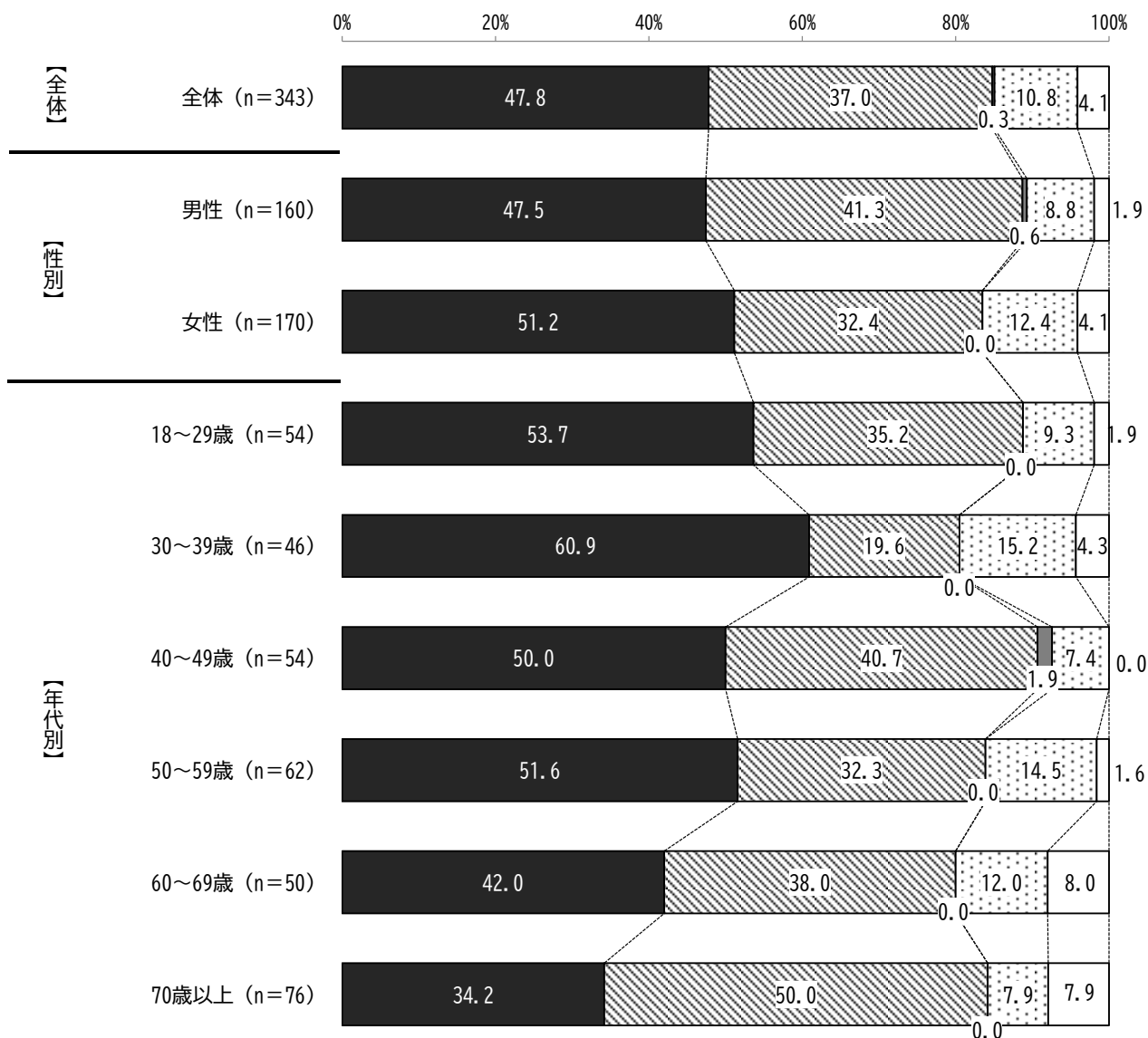
単位 (%)		n (人)	家庭内の人間関係を安定させ、家族の信頼関係を築くこと	経済的安定や精神的安定など、家庭内の環境の安定を保つこと	家庭で子どもを正しく育てること	体罰禁止を徹底すること	校則や規則を緩やかにすること	子どもの人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	指導者や教師の人間性及び資質の向上を図ること
性別	男性	160	51.2	43.8	28.1	9.4	4.4	18.1	28.7
	女性	170	51.8	55.9	18.8	8.8	4.1	10.6	34.7
年代別	18～29 歳	54	48.1	50.0	18.5	0.0	13.0	11.1	35.2
	30～39 歳	46	52.2	50.0	13.0	10.9	4.3	13.0	26.1
	40～49 歳	54	51.9	61.1	18.5	9.3	1.9	11.1	35.2
	50～59 歳	62	59.7	53.2	33.9	11.3	1.6	21.0	25.8
	60～69 歳	50	38.0	40.0	20.0	10.0	4.0	8.0	42.0
	70 歳以上	76	52.6	39.5	28.9	13.2	1.3	18.4	26.3
単位 (%)		n (人)	尊重（個性を尊重）すること 服装や進路などで子どもの意思を	人や動植物への思いやりの心を育むこと	地域の人が子どもに関心を持つこと	子どもの人権相談、電話相談などを充実させること	その他	不明・無回答	
性別	男性	160	11.3	22.5	30.6	14.4	5.6	0.6	
	女性	170	15.3	24.7	22.9	15.3	4.1	4.1	
年代別	18～29 歳	54	25.9	20.4	14.8	13.0	3.7	1.9	
	30～39 歳	46	26.1	23.9	17.4	23.9	2.2	4.3	
	40～49 歳	54	11.1	20.4	31.5	18.5	5.6	0.0	
	50～59 歳	62	9.7	21.0	35.5	12.9	6.5	1.6	
	60～69 歳	50	2.0	32.0	28.0	10.0	6.0	4.0	
	70 歳以上	76	6.6	23.7	25.0	11.8	3.9	9.2	

問 12 子どものいじめ問題についてどう思いますか。(1つに○)

子どものいじめ問題については、「いじめめる人が悪い」が47.8%と最も多く、次いで「いじめめる人が悪いが、いじめられる側にも原因がある」が37.0%、「わからない」が10.8%となっています。

性別にみると、男性で「いじめめる人が悪いが、いじめられる側にも原因がある」が4割台前半と女性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～69歳で「いじめめる人が多い」、70歳以上で「いじめめる人が悪いが、いじめられる側にも原因がある」が最も多くなっています。

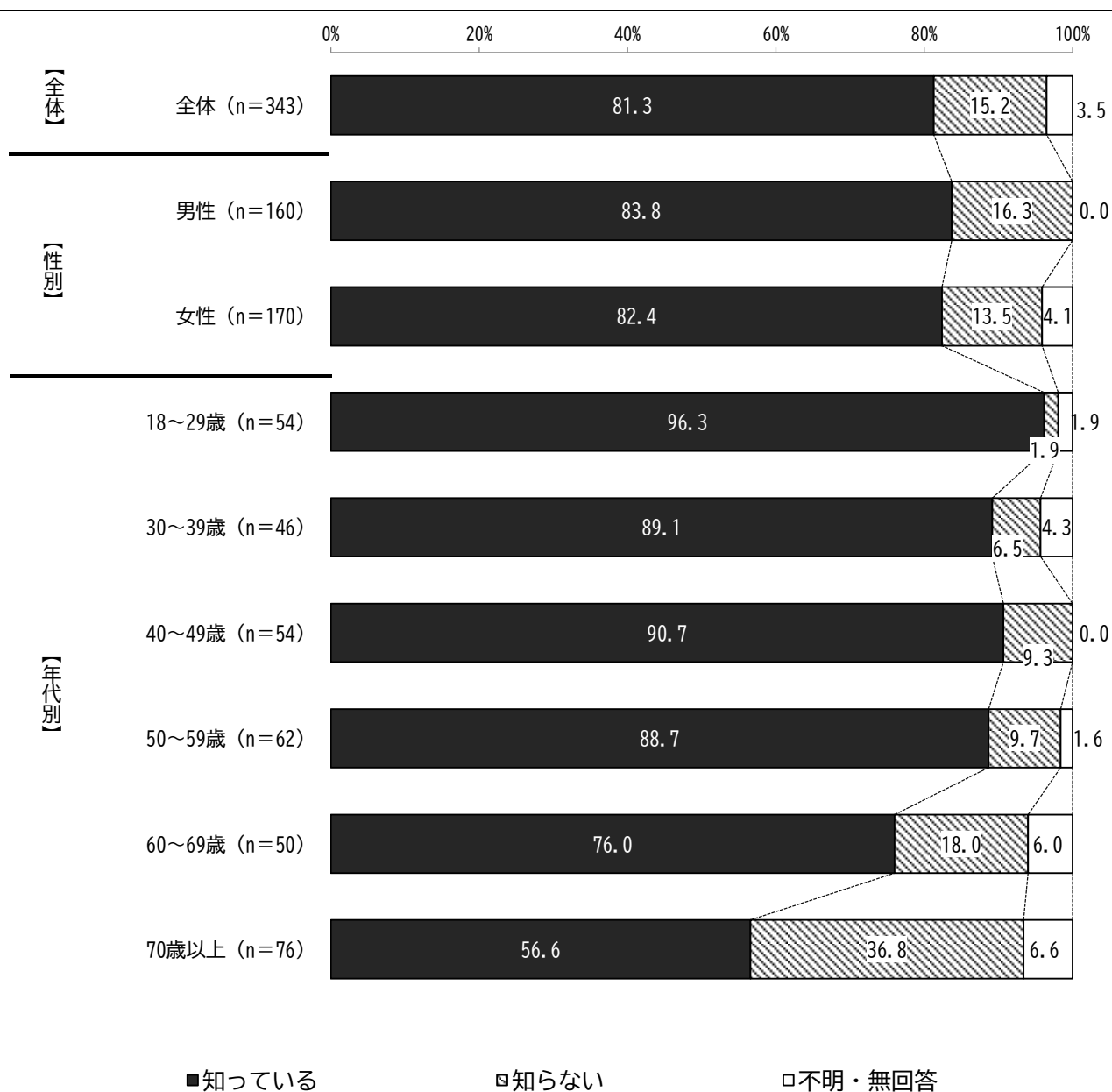


- いじめめる人が悪い
- ▨いじめめる人が悪いが、いじめられる側にも原因がある
- ▩いじめられる人が悪い
- わからない
- 不明・無回答

問 13 「ネットいじめ」を知っていますか。(1つに○)

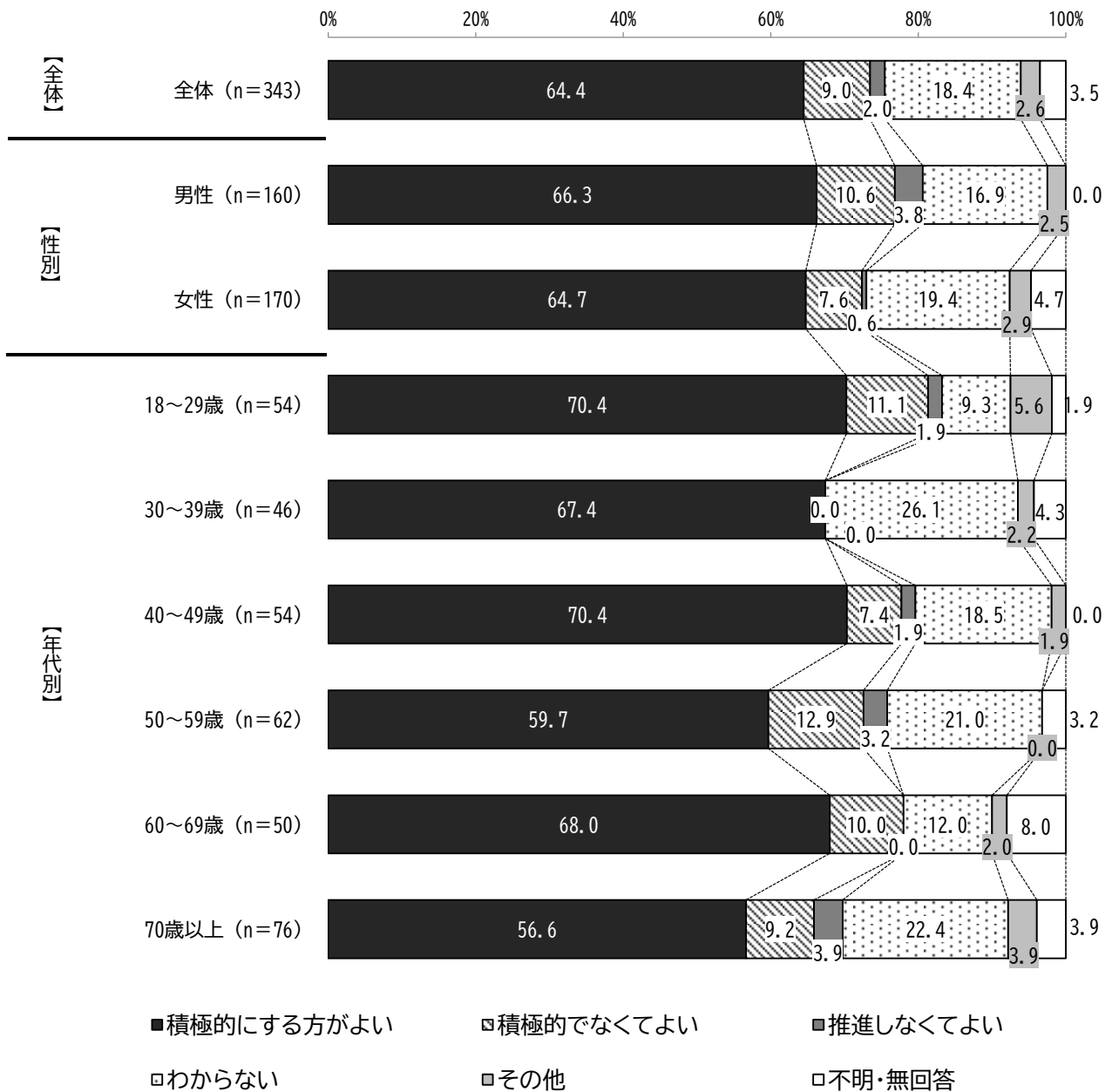
「ネットいじめ」を知っているかについては、「知っている」が81.3%と、「知らない」の15.2%を上回っています。

年代別にみると、年代が上がるにつれ、「知らない」が多くなっています。



問 14 学校で推進していく人権教育、同和教育についてどう思いますか。

学校で推進していく人権教育、同和教育については、「積極的にする方がよい」が64.4%で最も多く、次いで「わからない」が18.4%、「積極的でなくてよい」が9.0%となっています。



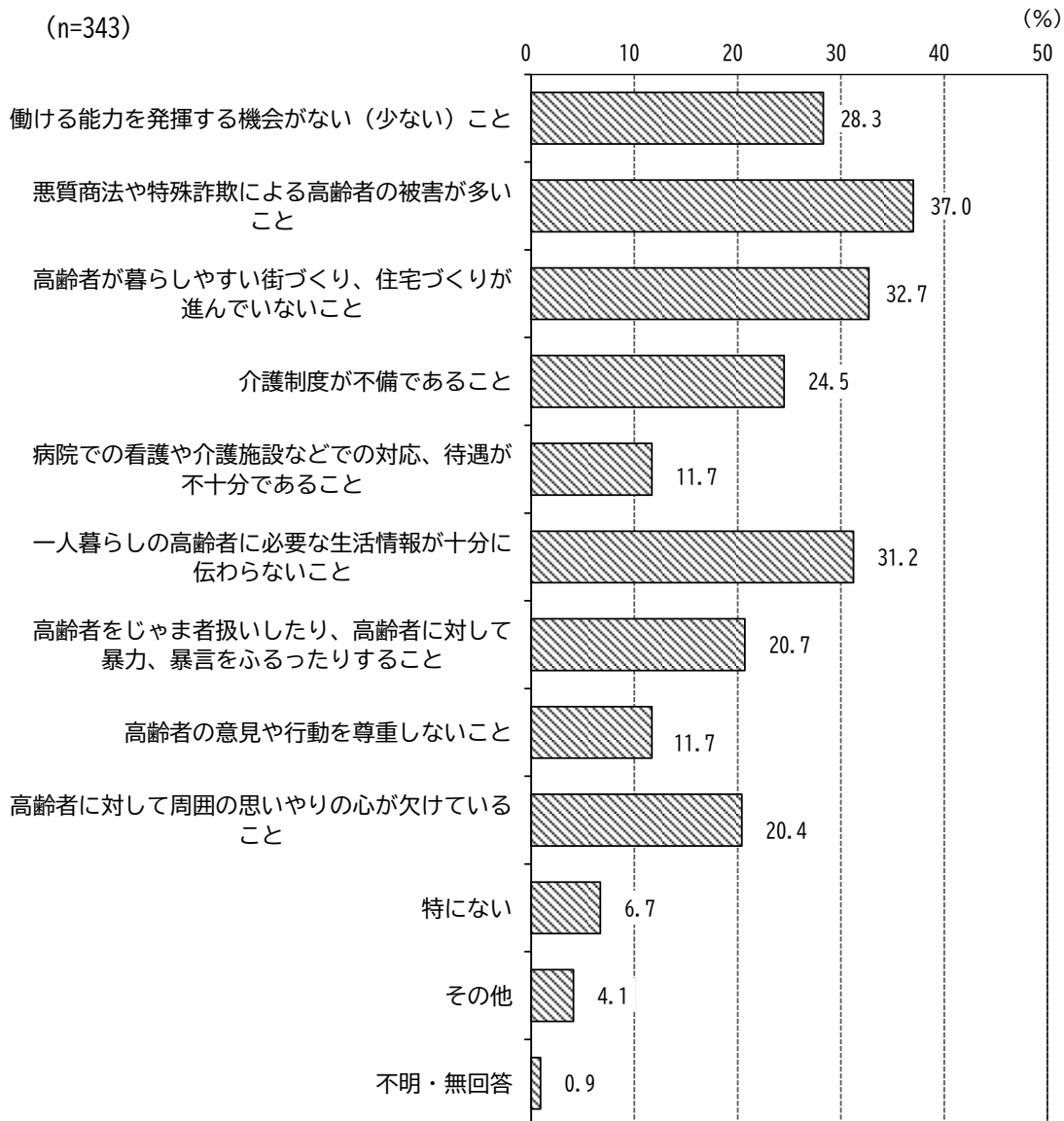
7.高齢者の人権について

問 15 高齢者の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

高齢者の人権に関して尊重されていないと思うことについては、「悪質商法や特殊詐欺による高齢者の被害が多いこと」が37.0%と最も多く、次いで「高齢者が暮らしやすい街づくり、住宅づくりが進んでいないこと」が32.7%、「一人暮らしの高齢者に必要な生活情報が十分に伝わらないこと」が31.2%となっています。

性別にみると、男性で「高齢者に対して周囲の思いやりの心が欠けていること」が2割台半ばと女性と比べて多く、女性で「働ける能力を発揮する機会がない(少ない)こと」が3割台前半、「高齢者をじゃま者扱いしたり、高齢者に対して暴力、暴言をふるったりすること」が2割台半ばと男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳で「高齢者をじゃま者扱いしたり、高齢者に対して暴力、暴言をふるったりすること」、40～59歳で「悪質商法や特殊詐欺による高齢者の被害が多いこと」、60～69歳で「働ける能力を発揮する機会がない(少ない)こと」「悪質商法や特殊詐欺による高齢者の被害が多いこと」、70歳以上で「高齢者が暮らしやすい街づくり、住宅づくりが進んでいないこと」が最も多くなっています。また、70歳以上で「高齢者に対して周囲の思いやりの心が欠けていること」が3割台前半と他の年代と比べて多くなっています。



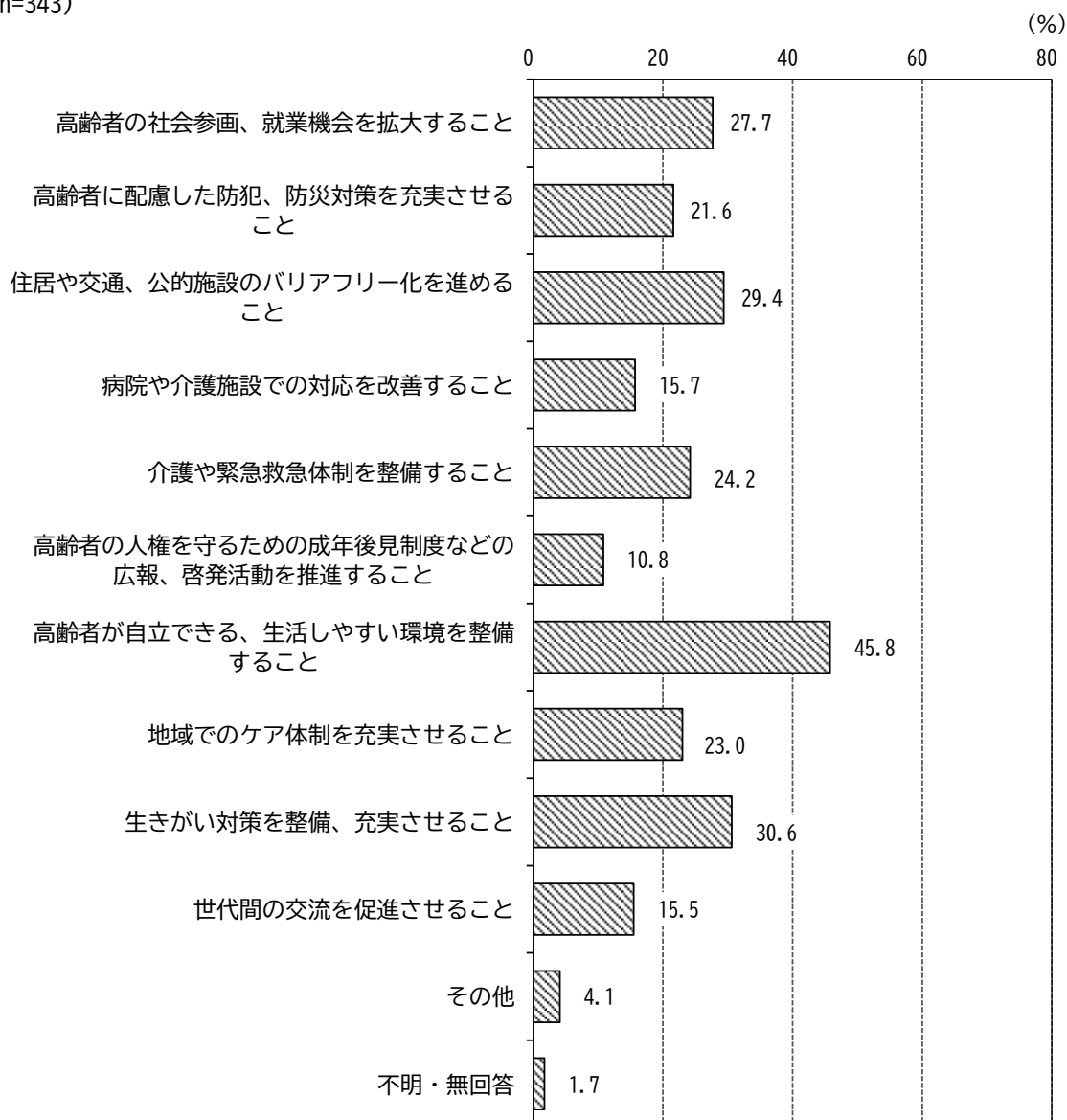
単位 (%)		n (人)	働ける能力を発揮する機会がない (少ない) こと	悪質商法や特殊詐欺による高齢者の被害が多いこと	高齢者が暮らしやすい街づくり、住宅づくりが進んでいないこと	介護制度が不備であること	病院での看護や介護施設などでの対応、待遇が不十分であること	一人暮らしの高齢者に必要な生活情報が十分に伝わらないこと	高齢者をじゃま者扱いしたり、高齢者に対して暴力、暴言をふるったりすること
性別	男性	160	25.0	37.5	34.4	25.6	10.0	30.0	16.9
	女性	170	32.4	37.6	31.2	24.1	13.5	32.9	25.3
年代別	18～29 歳	54	16.7	27.8	18.5	25.9	16.7	18.5	29.6
	30～39 歳	46	37.0	45.7	23.9	32.6	15.2	37.0	26.1
	40～49 歳	54	31.5	42.6	33.3	25.9	7.4	33.3	29.6
	50～59 歳	62	29.0	45.2	38.7	29.0	14.5	32.3	14.5
	60～69 歳	50	38.0	38.0	34.0	18.0	12.0	26.0	10.0
	70 歳以上	76	22.4	26.3	40.8	17.1	6.6	38.2	17.1
単位 (%)		n (人)	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	高齢者に対して周囲の思いやりの心が欠けていること	特になし	その他	不明・無回答		
性別	男性	160	12.5	24.4	8.1	5.6	0.0		
	女性	170	10.6	16.5	5.3	2.9	0.0		
年代別	18～29 歳	54	13.0	14.8	9.3	1.9	0.0		
	30～39 歳	46	0.0	8.7	6.5	0.0	0.0		
	40～49 歳	54	5.6	14.8	7.4	3.7	0.0		
	50～59 歳	62	17.7	25.8	4.8	4.8	0.0		
	60～69 歳	50	12.0	20.0	4.0	6.0	2.0		
	70 歳以上	76	17.1	31.6	7.9	6.6	2.6		

問 16 高齢者の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

高齢者の人権を守るために必要だと思うことについては、「高齢者が自立できる、生活しやすい環境を整備すること」が45.8%と最も多く、次いで「生きがい対策を整備、充実させること」が30.6%、「住居や交通、公的施設のバリアフリー化を進めること」が29.4%となっています。

年代別にみると、30～39歳で「高齢者の社会参画、就業機会を拡大すること」が4割弱、40～49歳で「住居や交通、公的施設のバリアフリー化を進めること」が3割台後半、50～59歳で「地域でのケア体制を充実させること」が3割台後半、60～69歳で「介護や緊急救急体制を整備すること」が3割台前半とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。

(n=343)



単位 (%)		n (人)	高齢者の社会参画、就業機会を拡大すること	高齢者に配慮した防犯、防災対策を充実させること	住居や交通、公的施設のバリアフリー化を進めること	病院や介護施設での対応を改善すること	介護や緊急救急体制を整備すること	高齢者の人権を守るための成年後見制度などの広報、啓発活動を推進すること	高齢者が自立できる、生活しやすい環境を整備すること
性別	男性	160	28.1	20.6	31.9	18.1	23.1	11.3	41.9
	女性	170	28.8	22.9	28.8	14.1	24.7	10.0	50.6
年代別	18～29歳	54	14.8	25.9	22.2	14.8	20.4	11.1	35.2
	30～39歳	46	39.1	26.1	28.3	19.6	26.1	10.9	43.5
	40～49歳	54	31.5	16.7	37.0	11.1	22.2	13.0	53.7
	50～59歳	62	29.0	29.0	30.6	24.2	24.2	3.2	48.4
	60～69歳	50	30.0	18.0	30.0	8.0	32.0	10.0	44.0
	70歳以上	76	25.0	14.5	28.9	15.8	22.4	15.8	47.4
単位 (%)		n (人)	地域でのケア体制を充実させること	生きがい対策を整備、充実させること	世代間の交流を促進させること	その他	不明・無回答		
性別	男性	160	21.9	30.0	16.3	5.6	0.6		
	女性	170	24.1	32.4	15.3	2.9	0.6		
年代別	18～29歳	54	11.1	33.3	18.5	7.4	0.0		
	30～39歳	46	28.3	32.6	19.6	0.0	0.0		
	40～49歳	54	18.5	35.2	14.8	1.9	1.9		
	50～59歳	62	37.1	22.6	17.7	4.8	0.0		
	60～69歳	50	20.0	28.0	10.0	8.0	4.0		
	70歳以上	76	21.1	32.9	13.2	2.6	3.9		

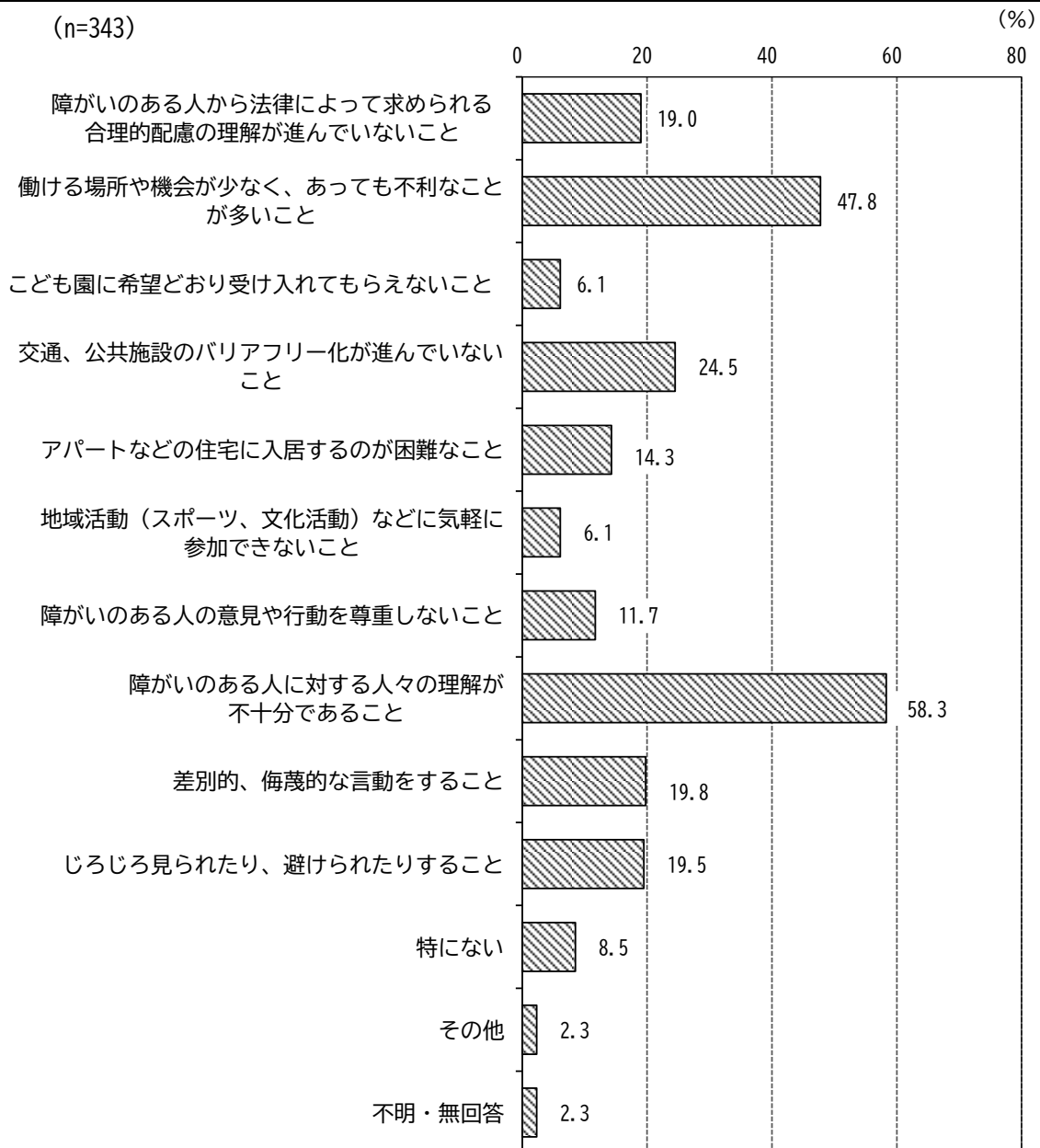
8.障がいのある人の人権について

問 17 障がいのある人の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

障がいのある人の人権に関して尊重されていないと思うことについては、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分であること」が 58.3%と最も多く、次いで「働ける場所や機会が少なく、あっても不利なことが多いこと」が 47.8%、「交通・公共施設のバリアフリー化が進んでいないこと」が 24.5%となっています。

性別にみると、女性で「こども園に希望どおり受け入れてもらえないこと」が1割台前半、「アパートなどの住宅に入居するのが困難なこと」が1割台後半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、30～39歳で「アパートなどの住宅に入居するのが困難なこと」が2割台前半、「差別的、侮蔑的な言動をすること」が4割弱、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が3割台半ば、40～49歳で「働ける場所や機会が少なく、あっても不利なことが多いこと」が6割弱とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



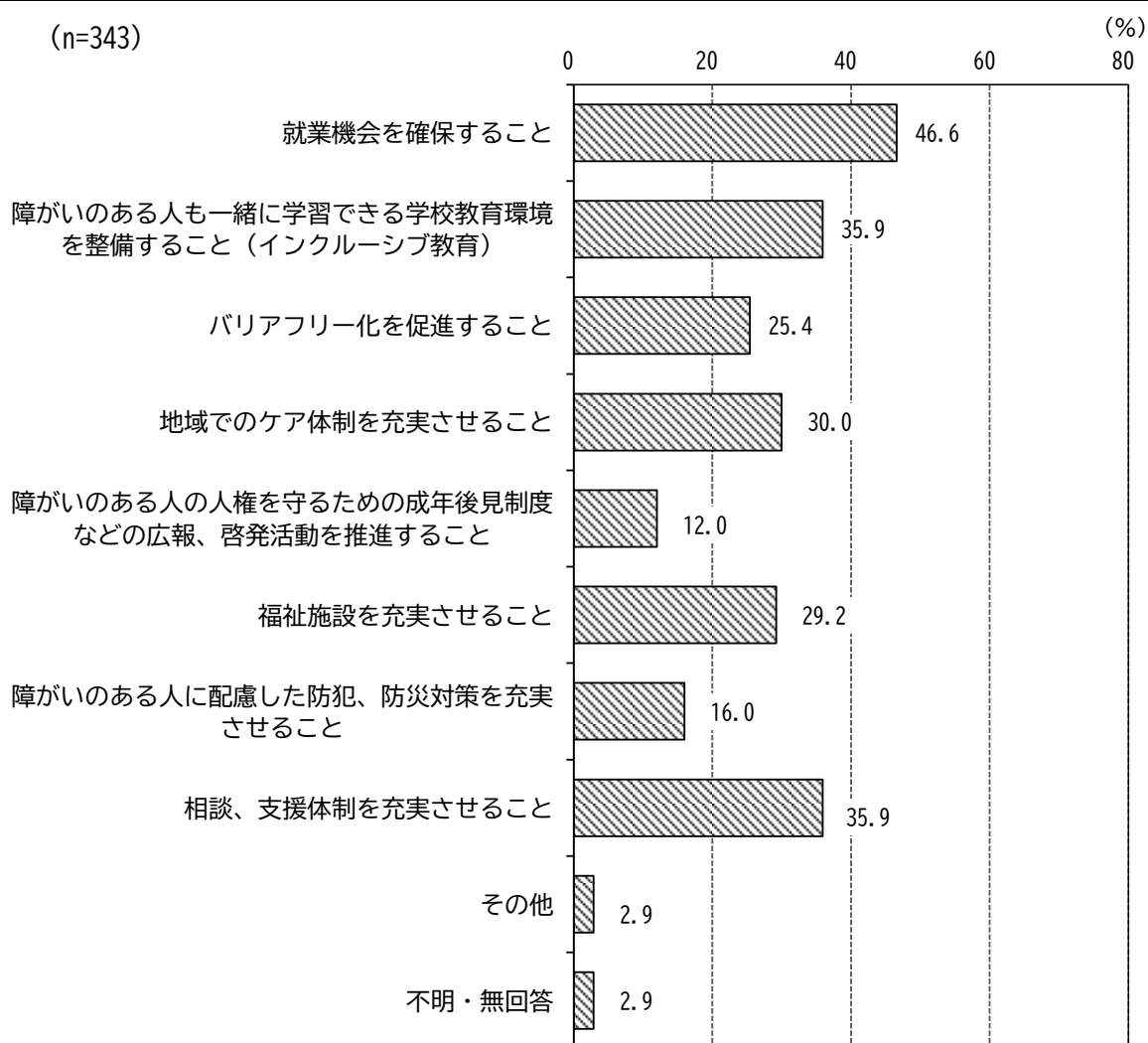
単位 (%)		n (人)	障がいのある人から法律によって求められる合理的配慮の理解が進んでいないこと	働ける場所や機会が少なく、あっても不利なことが多いこと	もらえないこと	こども園に希望どおり受け入れてもらえないこと	交通、公共施設のバリアフリー化が進んでいないこと	アパートなどの住宅に入居するのが困難なこと	地域活動（スポーツ、文化活動）などに気軽に参加できないこと	障がいのある人の意見や行動を尊重しないこと
性別	男性	160	21.9	50.0	0.6	27.5	9.4	7.5	8.8	
	女性	170	17.1	47.6	11.2	22.9	18.2	5.3	13.5	
年代別	18～29 歳	54	13.0	40.7	9.3	14.8	9.3	9.3	13.0	
	30～39 歳	46	13.0	50.0	13.0	13.0	23.9	2.2	15.2	
	40～49 歳	54	22.2	59.3	5.6	25.9	18.5	7.4	16.7	
	50～59 歳	62	25.8	41.9	3.2	32.3	12.9	8.1	9.7	
	60～69 歳	50	26.0	44.0	2.0	22.0	16.0	6.0	6.0	
	70 歳以上	76	14.5	51.3	5.3	31.6	9.2	3.9	10.5	
単位 (%)		n (人)	障がいのある人に対する人々の理解が不十分であること	差別的、侮蔑的な言動をすること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	特にない	その他	不明・無回答		
性別	男性	160	60.0	20.0	18.8	9.4	3.8	0.0		
	女性	170	58.2	20.0	20.6	7.1	1.2	2.9		
性年代別	18～29 歳	54	42.6	22.2	24.1	11.1	0.0	1.9		
	30～39 歳	46	60.9	39.1	34.8	2.2	0.0	0.0		
	40～49 歳	54	61.1	22.2	20.4	5.6	0.0	3.7		
	50～59 歳	62	72.6	21.0	16.1	4.8	3.2	0.0		
	60～69 歳	50	60.0	12.0	12.0	14.0	6.0	2.0		
	70 歳以上	76	52.6	9.2	14.5	11.8	3.9	5.3		

問 18 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

障がいのある人の人権を守るために必要だと思うことについては、「就業機会を確保すること」が46.6%で最も多く、次いで「障がいのある人も一緒に学習できる学校教育環境を整備すること（インクルーシブ教育）」「相談、支援体制を充実させること」がそれぞれ35.9%となっています。

性別にみると、女性で「障がいのある人も一緒に学習できる学校教育環境を整備すること（インクルーシブ教育）」「相談、支援体制を充実させること」が4割台前半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～59歳で「就業機会を確保すること」、60歳以上で「相談、支援体制を充実させること」が最も多くなっています。また、18～29歳で「障がいのある人に配慮した防犯、防災対策を充実させること」が2割台半ば、40～49歳で「障がいのある人も一緒に学習できる学校教育環境を整備すること（インクルーシブ教育）」が5割台半ば、50～59歳で「地域でのケア体制を充実させること」が3割台後半、70歳以上で「福祉施設を充実させること」が3割台後半とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



単位 (%)		n (人)	就業機会を確保すること	障がいのある人も一緒に学習できる 学校教育環境を整備すること(イン クルーシブ教育)	バリアフリー化を促進すること	地域でのケア体制を充実させること	障がいのある人の人権を守るための 成年後見制度などの広報、啓発活動 を推進すること	福祉施設を充実させること	障がいのある人に配慮した防犯、防 災対策を充実させること
性別	男性	160	46.9	31.9	24.4	31.9	13.8	27.5	18.8
	女性	170	48.2	41.8	27.6	27.6	10.0	30.0	14.1
年代別	18～29歳	54	38.9	27.8	20.4	24.1	9.3	18.5	24.1
	30～39歳	46	54.3	45.7	21.7	30.4	6.5	28.3	8.7
	40～49歳	54	63.0	55.6	25.9	25.9	16.7	22.2	14.8
	50～59歳	62	50.0	37.1	32.3	37.1	9.7	32.3	17.7
	60～69歳	50	40.0	30.0	28.0	30.0	12.0	30.0	8.0
	70歳以上	76	38.2	25.0	22.4	31.6	15.8	38.2	18.4
単位 (%)		n (人)	相談、支援体制を充実させること	その他	不明・無回答				
性別	男性	160	32.5	3.8	2.5				
	女性	170	41.2	2.4	1.8				
年代別	18～29歳	54	27.8	5.6	3.7				
	30～39歳	46	41.3	2.2	0.0				
	40～49歳	54	29.6	1.9	1.9				
	50～59歳	62	33.9	1.6	1.6				
	60～69歳	50	42.0	4.0	4.0				
	70歳以上	76	40.8	2.6	5.3				

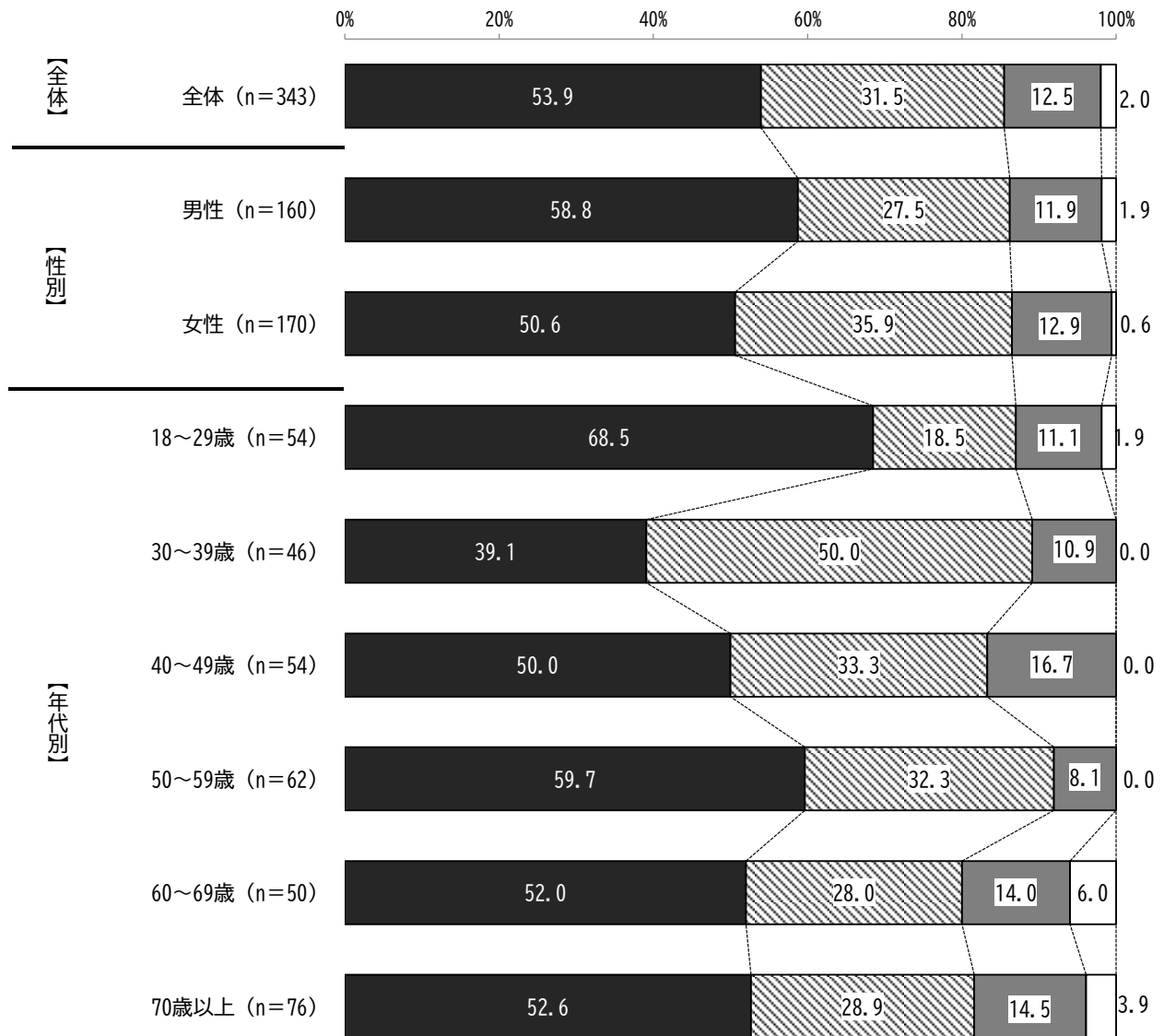
9. 部落差別問題（同和問題）について

問 19 「部落差別問題（同和問題）」といわれる問題があることを知っていますか。（1つに○）

部落差別問題（同和問題）の認知度については、「知っている」が53.9%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が31.5%、「知らない」が12.5%となっています。

性別にみると、女性で「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が3割半ばと男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳と40歳以上で「知っている」、30～39歳で「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が最も多くなっています。



■知っている ▨聞いたことはあるが詳しくは知らない ■知らない □不明・無回答

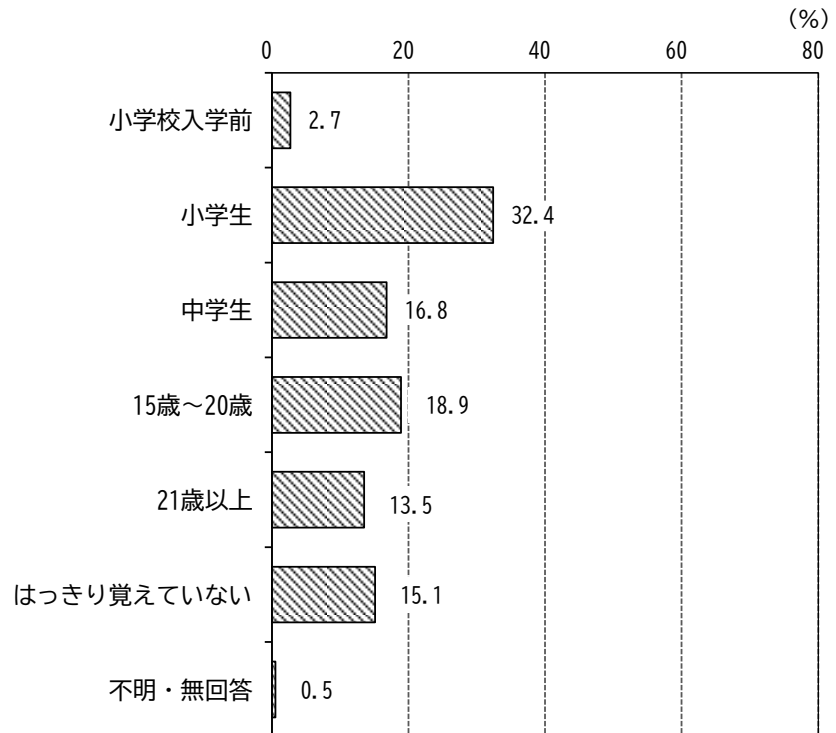
【問 19 で「1. 知っている」と答えた方】

問 20 「部落差別問題（同和問題）」をいつ知りましたか。（1つに○）

部落差別問題（同和問題）をいつ知ったかについては、「小学生」が32.4%と最も多く、次いで「15歳～20歳」が18.9%、「中学生」が16.8%となっています。

性別にみると、男性で「15歳～20歳」が2割前半、「21歳以上」が2割弱と女性と比べて多くなっています。

(n=185)



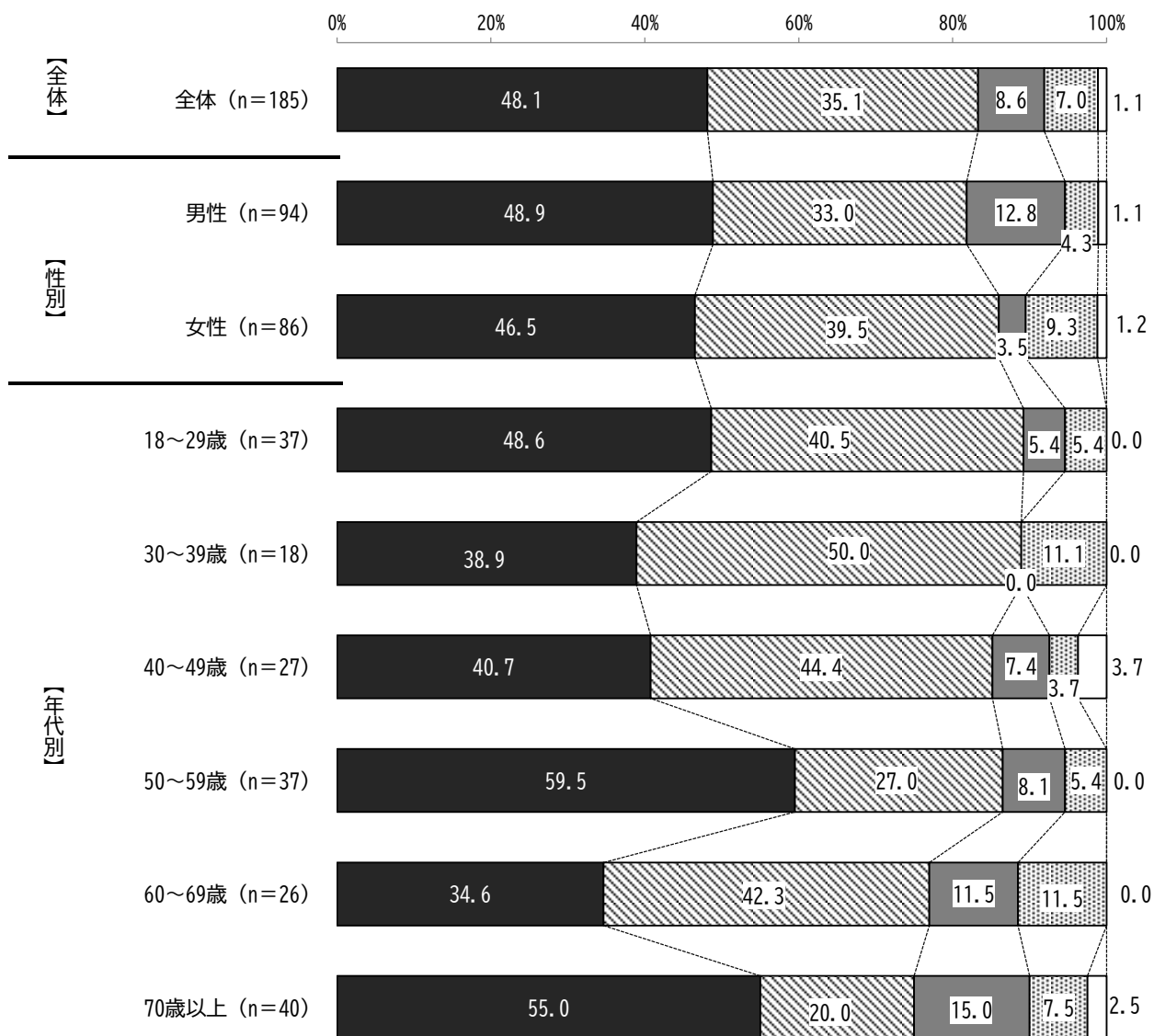
単位 (%)		n (人)	小学校入学前	小学生	中学生	15歳～20歳	21歳以上	はっきり覚えていない	不明・無回答
性別	男性	94	1.1	28.7	13.8	23.4	19.1	13.8	0.0
	女性	86	4.7	36.0	18.6	14.0	8.1	17.4	1.2
年代別	18～29歳	37	0.0	64.9	16.2	8.1	0.0	10.8	0.0
	30～39歳	18	0.0	38.9	27.8	16.7	11.1	5.6	0.0
	40～49歳	27	7.4	40.7	14.8	22.2	0.0	11.1	3.7
	50～59歳	37	5.4	27.0	2.7	13.5	27.0	24.3	0.0
	60～69歳	26	0.0	15.4	30.8	23.1	19.2	11.5	0.0
	70歳以上	40	2.5	10.0	17.5	30.0	20.0	20.0	0.0

【問 19 で「1. 知っている」と答えた方】

問 21 現在も「被差別部落」はありますか。(1つに〇)

現在も「被差別部落」はあると思うかについては、「あると思う」が48.1%と最も多く、次いで「あると思うがよく知らない」が35.1%、「ないと思う」が8.6%となっています。

性別にみると、男性で「ないと思う」が1割前半で女性と比べて多く、女性で「あると思うがよく知らない」が4割弱、「わからない」が1割弱と男性と比べて多くなっています。

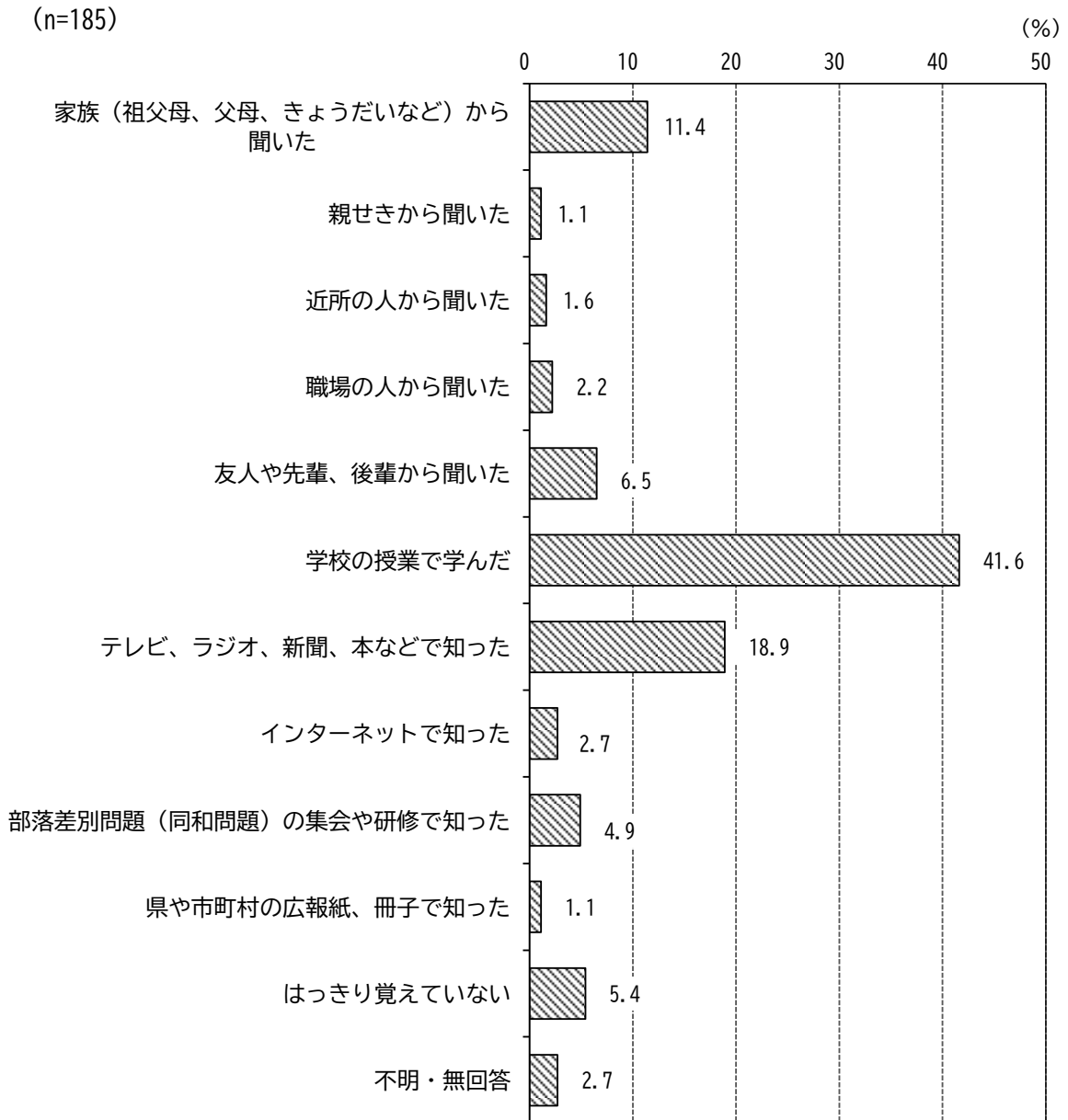


■あると思う □あると思うがよく知らない ■ないと思う □わからない □不明・無回答

【問 19 で「1. 知っている」と答えた方】

問 22 「部落差別問題（同和問題）」を知ったきっかけは何ですか。（1つに○）

部落差別問題（同和問題）を知ったきっかけについては、「学校の授業で学んだ」が41.6%と最も多く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った」が18.6%、「家族（祖父母、父母、きょうだいなど）から聞いた」が11.4%となっています。



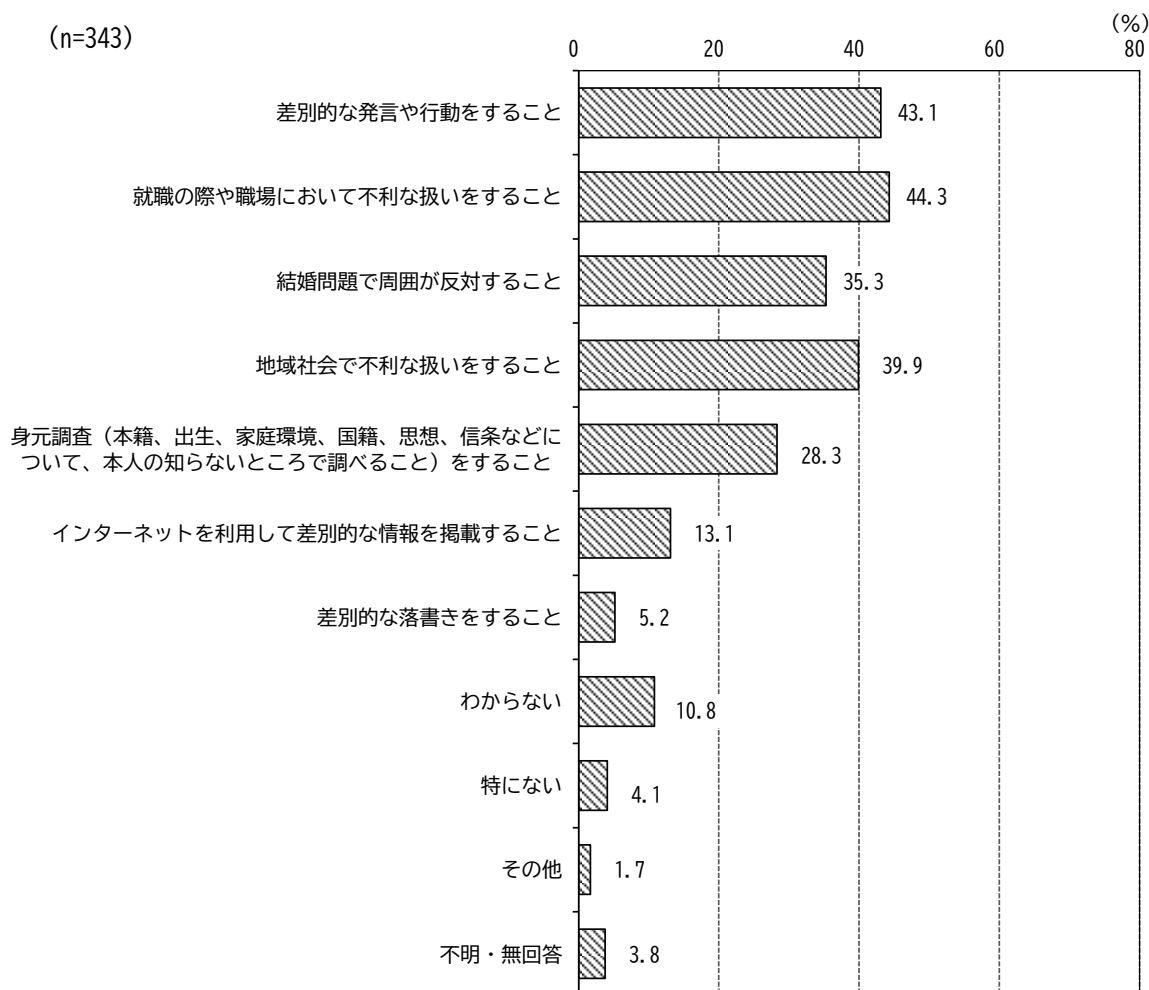
単位 (%)		n (人)	家族(祖父母、父母、きょうだいなど)から聞いた	親せきから聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	友人や先輩、後輩から聞いた	学校の授業で学んだ	テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った
性別	男性	94	9.6	0.0	2.1	3.2	8.5	35.1	21.3
	女性	86	14.0	2.3	1.2	1.2	3.5	47.7	16.3
年代別	18~29歳	37	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.2	8.1
	30~39歳	18	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0
	40~49歳	27	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	14.8
	50~59歳	37	18.9	0.0	2.7	0.0	8.1	16.2	24.3
	60~69歳	26	3.8	3.8	0.0	0.0	23.1	26.9	26.9
	70歳以上	40	17.5	2.5	5.0	10.0	7.5	12.5	30.0
単位 (%)		n (人)	インターネットで知った	部落差別問題(同和問題)の集会や研修で知った	県や市町村の広報紙、冊子で知った	はつきり覚えていない	不明・無回答		
性別	男性	94	3.2	6.4	1.1	6.4	3.2		
	女性	86	2.3	3.5	1.2	4.7	2.3		
年代別	18~29歳	37	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
	30~39歳	18	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6		
	40~49歳	27	7.4	0.0	0.0	11.1	7.4		
	50~59歳	37	5.4	13.5	2.7	8.1	0.0		
	60~69歳	26	0.0	7.7	3.8	3.8	0.0		
	70歳以上	40	0.0	2.5	0.0	7.5	5.0		

問 23 部落差別問題（同和問題）で人権上特に問題があると思うことは何ですか。（〇は3つまで）

部落差別問題（同和問題）で人権上特に問題があると思うことについては、「就職の際や職場において不利な扱いをすること」が44.3%と最も多く、次いで「差別的な発言や行動をすること」が43.1%、「地域社会で不利な扱いをすること」が39.9%となっています。

性別にみると、男性で「差別的な発言や行動をすること」、女性で「就職の際や職場において不利な扱いをすること」が最も多くなっています。また、男性で「地域社会で不利な扱いをすること」が4割台半ば、「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」が1割台後半とそれぞれ女性と比べて多く、女性で「結婚問題で周囲が反対すること」が4割台前半、「身元調査（本籍、出生、家庭環境、国籍、思想、信条などについて、本人の知らないところで調べること）をすること」が3割台前半とそれぞれ男性と比べて多くなっています。

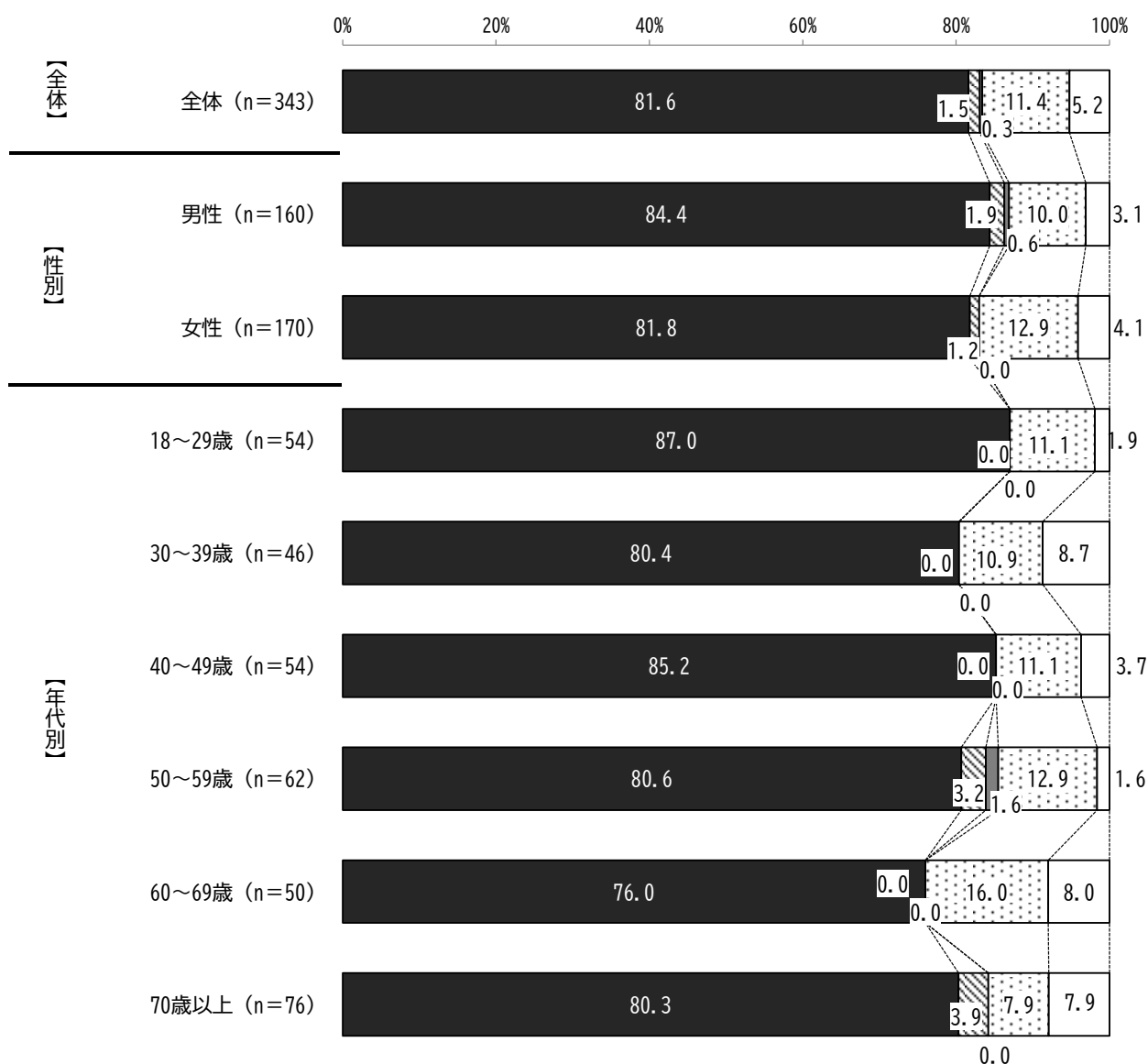
年代別にみると、18～29歳で「差別的な発言や行動をすること」「就職の際や職場において不利な扱いをすること」、30～49歳と60～69歳で「就職の際や職場において不利な扱いをすること」、50～59歳と70歳以上で「差別的な発言や行動をすること」が最も多くなっています。また、50～59歳で「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」が2割台前半と他の年代と比べて多くなっています。



単位 (%)		n (人)	差別的な発言や行動をすること	就職の際や職場において不利な扱いをすること	結婚問題で周囲が反対すること	地域社会で不利な扱いをすること	身元調査(本籍、出生、家庭環境、国籍、思想、信条など)について、本人の知らないところで調べることをすること	報を掲載すること	インターネットを利用して差別的な情報	差別的な落書きをすること
性別	男性	160	50.6	42.5	29.4	45.0	25.6	16.3	6.3	
	女性	170	37.6	47.1	42.9	36.5	32.4	10.0	4.1	
年代別	18~29 歳	54	48.1	48.1	37.0	37.0	24.1	13.0	3.7	
	30~39 歳	46	45.7	54.3	45.7	47.8	23.9	10.9	10.9	
	40~49 歳	54	46.3	51.9	40.7	42.6	25.9	11.1	3.7	
	50~59 歳	62	53.2	46.8	41.9	45.2	27.4	22.6	6.5	
	60~69 歳	50	28.0	38.0	26.0	32.0	34.0	12.0	2.0	
	70 歳以上	76	38.2	32.9	25.0	36.8	32.9	9.2	5.3	
単位 (%)		n (人)	わからない	特にない	その他	不明・無回答				
性別	男性	160	6.9	5.6	1.9	2.5				
	女性	170	14.1	2.9	1.2	2.4				
年代別	18~29 歳	54	3.7	5.6	3.7	1.9				
	30~39 歳	46	8.7	2.2	0.0	2.2				
	40~49 歳	54	14.8	5.6	0.0	1.9				
	50~59 歳	62	8.1	1.6	1.6	0.0				
	60~69 歳	50	8.0	6.0	4.0	12.0				
	70 歳以上	76	17.1	3.9	1.3	5.3				

問 24 親しく付き合っている友人などが被差別部落出身とわかった場合どうしますか。(1つに○)

親しく付き合っている友人などが被差別部落出身とわかった場合どうするかについては、「これまでと同じように付き合う」が81.6%と最も多く、次いで「わからない」が11.4%、「表面的に付き合うが、できるだけ避ける」が1.5%、「付き合わなくする」が0.3%、「不明・無回答」が5.2%となっています。



- これまでと同じように付き合う
- ▣付き合わなくする
- 不明・無回答

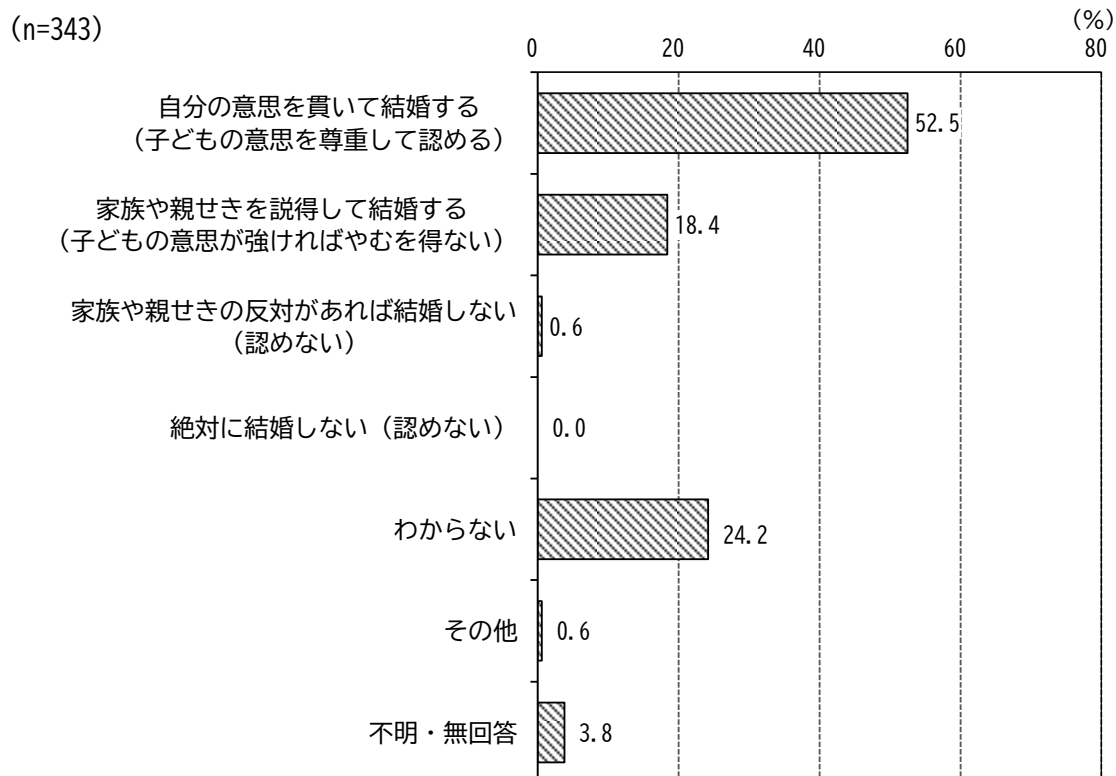
- ▨表面的に付き合うが、できるだけ避ける
- わからない

問 25 自分や自分の子どもが、結婚しようとする相手が被差別部落出身とわかり、家族や親せきから強い反対を受けた場合、どうしますか。(1つに〇)

自分や自分の子どもが、結婚しようとする相手が被差別部落出身とわかり、家族や親せきから強い反対を受けた場合どうするかについては、「自分の意思を貫いて結婚する(子どもの意思を尊重して認める)」が52.5%と最も多く、次いで「わからない」が24.2%、「家族や親せきを説得して結婚する(子どもの意思が強ければやむを得ない)」が18.4%となっています。

性別にみると、女性で「わからない」が2割後半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～39歳で「家族や親せきを説得して結婚する(子どもの意思が強ければやむを得ない)」が2割台半ばから2割台後半と他の年代と比べて多くなっています。



単位 (%)		n (人)	自分の意思を貫いて結婚する (子どもの意思を尊重して認める)	家族や親せきを説得して結婚する (子どもの意思が強ければやむを得ない)	絶対には結婚しない (認めない)	家族や親せきの反対があれば結婚しない (認めない)	絶対に結婚しない (認めない)	わからない	その他	不明・無回答
性別	男性	160	58.1	19.4	0.0	0.0	20.0	0.6	1.9	
	女性	170	48.8	18.2	1.2	0.0	28.2	0.6	2.9	
年代別	18~29 歳	54	63.0	24.1	0.0	0.0	11.1	0.0	1.9	
	30~39 歳	46	50.0	26.1	0.0	0.0	23.9	0.0	0.0	
	40~49 歳	54	59.3	18.5	0.0	0.0	20.4	0.0	1.9	
	50~59 歳	62	56.5	8.1	1.6	0.0	30.6	3.2	0.0	
	60~69 歳	50	48.0	18.0	0.0	0.0	28.0	0.0	6.0	
	70 歳以上	76	40.8	18.4	1.3	0.0	28.9	0.0	10.5	

問 26 部落差別問題（同和問題）を解決するために必要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

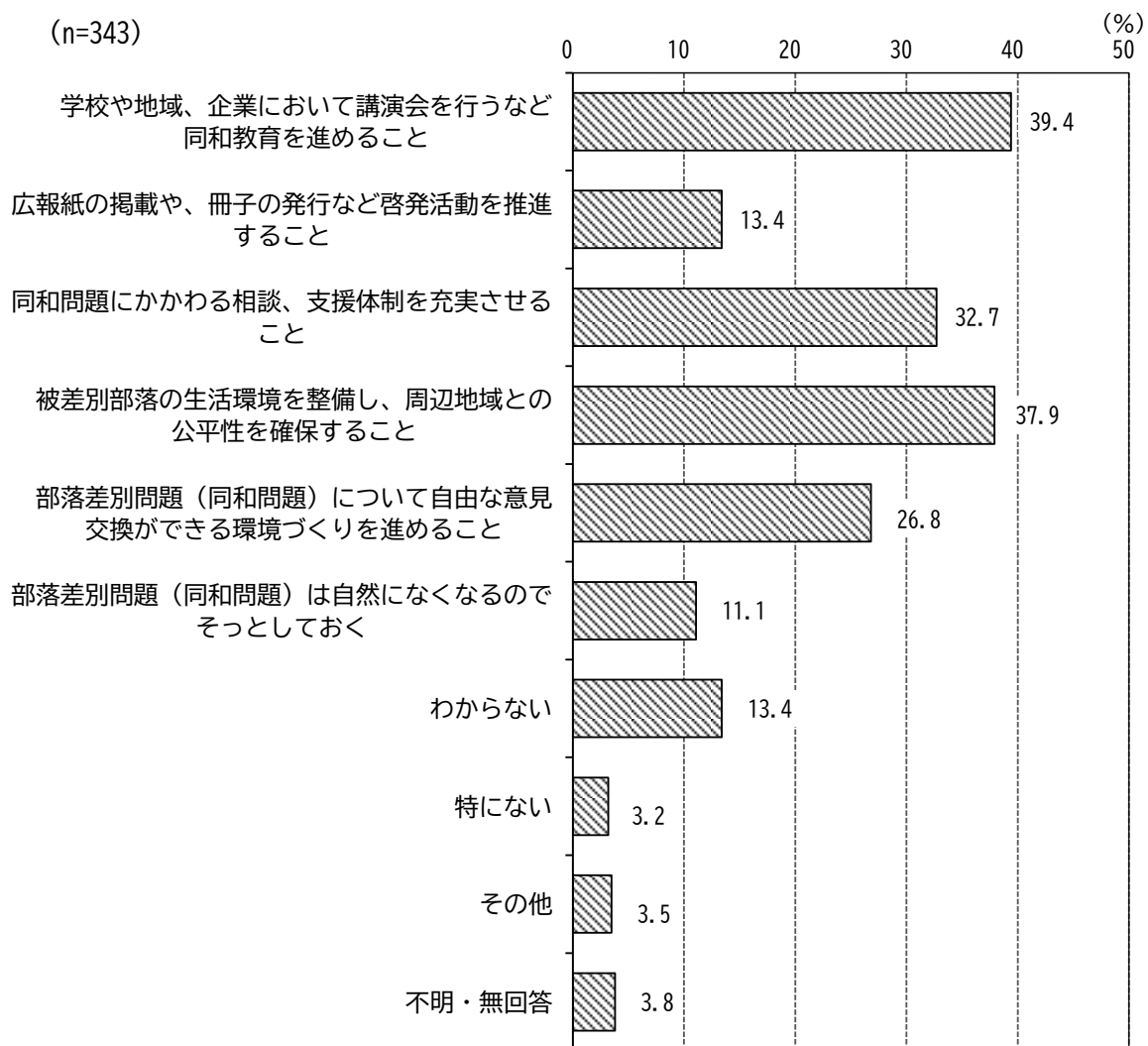
部落差別問題（同和問題）を解決するために必要だと思うことについては、「学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること」が 39.4%と最も多く、次いで「被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との公平性を確保すること」が 37.9%、「同和問題にかかわる相談、支援体制を充実させること」が 32.7%となっています。

性別にみると、男性で「学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること」、女性で「被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との公平性を確保すること」が最も多くなっています。

また、男性で「広報紙の掲載や、冊子の発行など啓発活動を推進すること」が1割台後半と女性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～39歳で「学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること」、40～49歳で「被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との公平性を確保すること」、50～59歳で「学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること」「被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との公平性を確保すること」、60～69歳で「同和問題にかかわる相談、支援体制を充実させること」、70歳以上で「部落差別問題（同和問題）について自由な意見交換ができる環境づくりを進めること」が最も多くなっています。

また、30～39歳で「被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との公平性を確保すること」が5割、50歳以上で「部落差別問題（同和問題）は自然になくなるのでそっとしておく」が1割台半ばとそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。

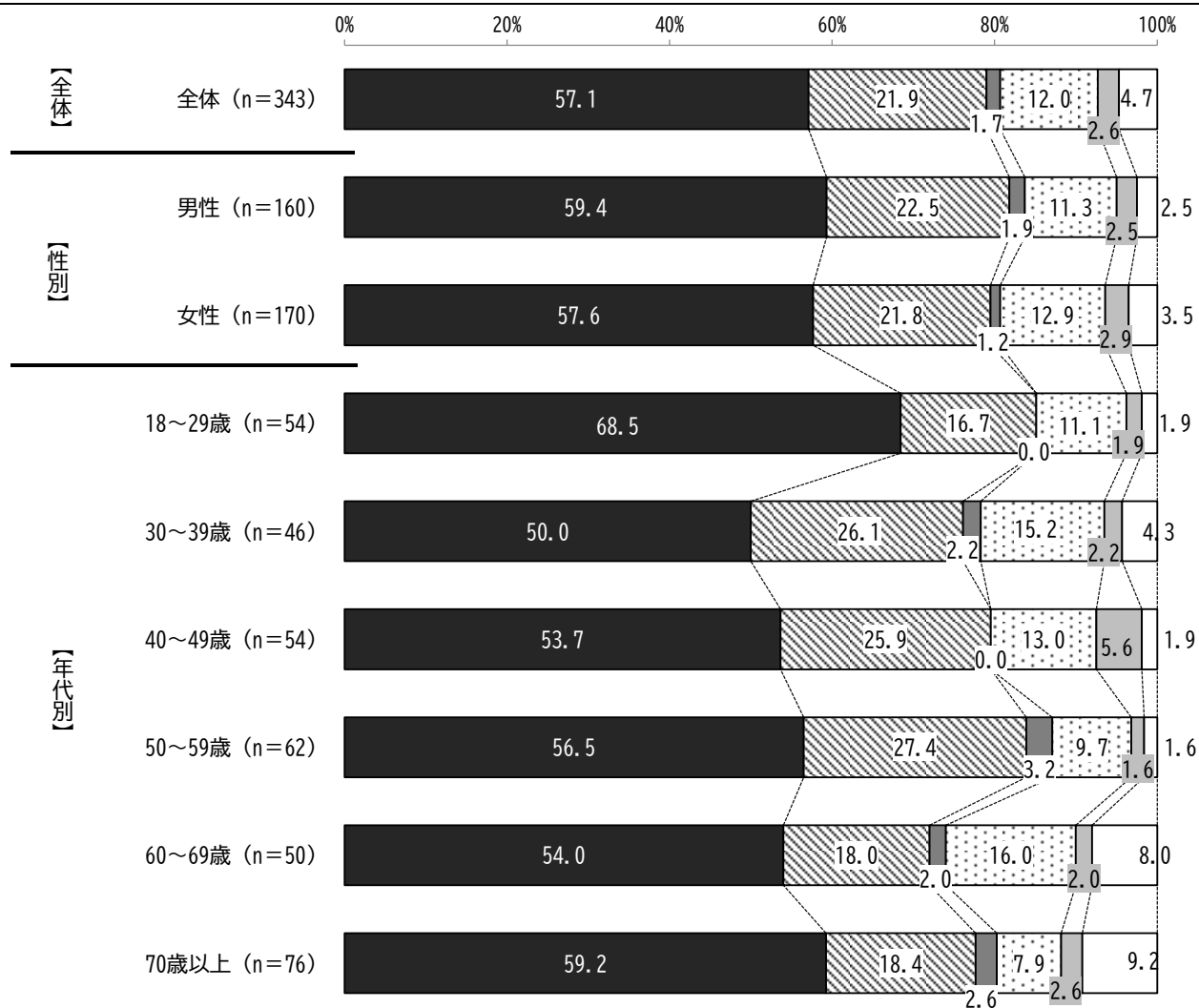


単位 (%)		n (人)	学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること	啓発活動を推進すること	広報紙の掲載や、冊子の発行など	同和問題にかかわる相談、支援体制を充実させること	周辺地域との公平性を確保すること	被差別部落の生活環境を整備し、	自由な意見交換ができる環境づくりを進めること	部落差別問題(同和問題)は自然になくなるのでそっとしておく	わからない
性別	男性	160	41.3	16.9	35.0	36.9	28.1	11.3	10.6		
	女性	170	38.2	10.6	31.8	41.2	26.5	10.6	16.5		
年代別	18~29歳	54	50.0	9.3	27.8	38.9	25.9	7.4	7.4		
	30~39歳	46	52.2	13.0	39.1	50.0	23.9	8.7	10.9		
	40~49歳	54	37.0	14.8	31.5	38.9	29.6	3.7	18.5		
	50~59歳	62	45.2	19.4	33.9	45.2	21.0	14.5	12.9		
	60~69歳	50	32.0	12.0	36.0	26.0	26.0	14.0	10.0		
	70歳以上	76	25.0	11.8	28.9	30.3	32.9	15.8	18.4		
単位 (%)		n (人)	特にない	その他	不明・無回答						
性別	男性	160	4.4	4.4	1.9						
	女性	170	1.8	2.4	2.9						
年代別	18~29歳	54	0.0	5.6	1.9						
	30~39歳	46	0.0	4.3	0.0						
	40~49歳	54	7.4	3.7	1.9						
	50~59歳	62	1.6	3.2	0.0						
	60~69歳	50	4.0	4.0	8.0						
	70歳以上	76	5.3	1.3	9.2						

問 27 部落差別問題につながる身元調査（本籍、出生、家庭環境、国籍、思想、信条などについて、本人の知らないところで調べること）についてどう思いますか。（1つに〇）

部落差別問題につながる身元調査については、「差別につながるおそれがあるのではありません」が57.1%で最も多く、次いで「よくないことだと思うが、ある程度は仕方ないことだと思う」が21.9%、「わからない」が12.0%となっています。

年代別にみると、30～59歳で「よくないことだと思うが、ある程度は仕方ないことだと思う」が2割台半ばから2割台後半と他の年代と比べて多くなっています。



- 差別につながるおそれがあるのではありません
- ▨ よくないことだと思うが、ある程度は仕方ないことだと思う
- ▩ 身元調査をすることは当然のことだと思う
- わからない
- その他
- 不明・無回答

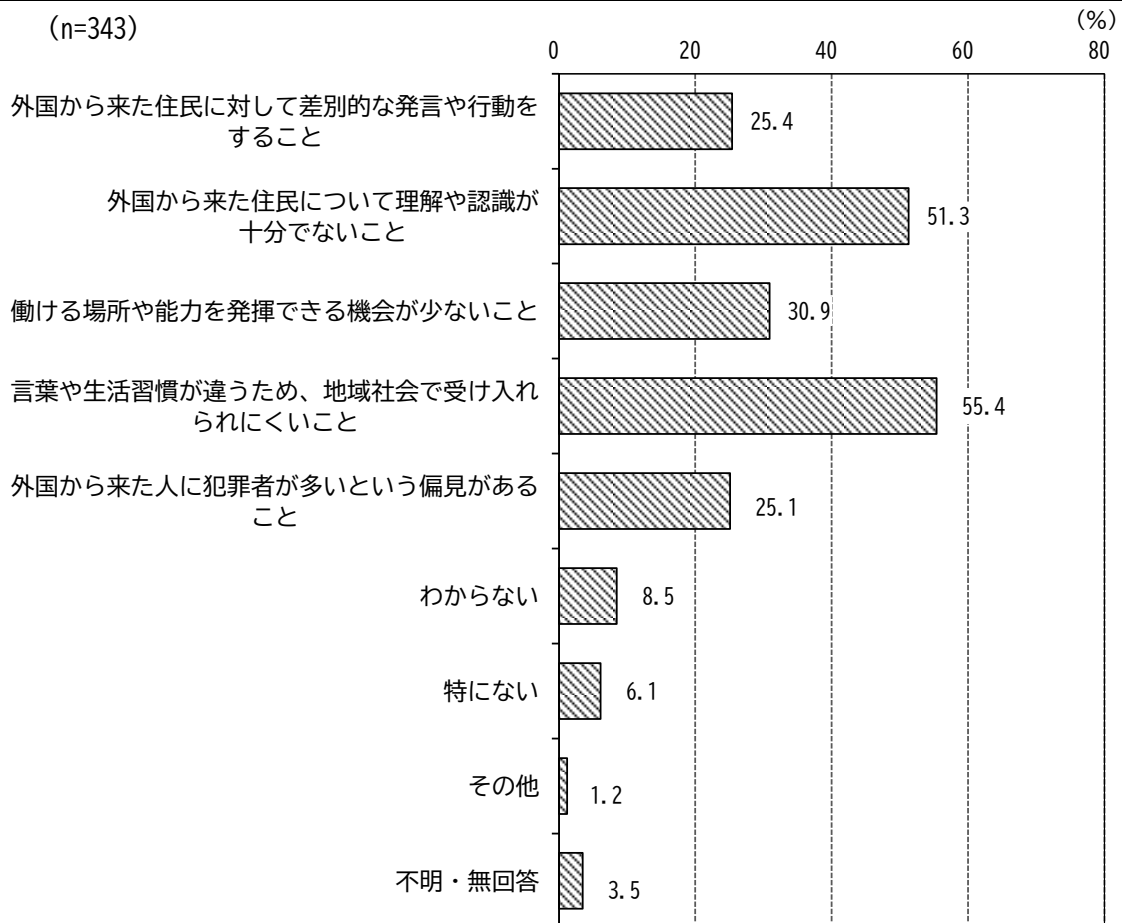
10.外国から来た人の人権について

問 28 外国から来た人の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

外国から来た人の人権に関して尊重されていないと思うことについては、「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が 55.4%と最も多く、次いで「外国から来た住民について理解や認識が十分でないこと」が 51.3%、「働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと」が 30.9%となっています。

性別にみると、男性で「外国から来た人に犯罪者が多いという偏見があること」が2割台後半と女性と比べて多く、女性で「外国から来た住民に対して差別的な発言や行動をすること」が3割弱と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29 歳で「外国から来た住民について理解や認識が十分でないこと」「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」、30～39 歳と 50 歳以上で「言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」、40～49 歳で「外国から来た住民について理解や認識が十分でないこと」が最も多くなっています。また、30～39 歳で「外国から来た住民に対して差別的な発言や行動をすること」が4割台前半と他の年代と比べて多くなっています。



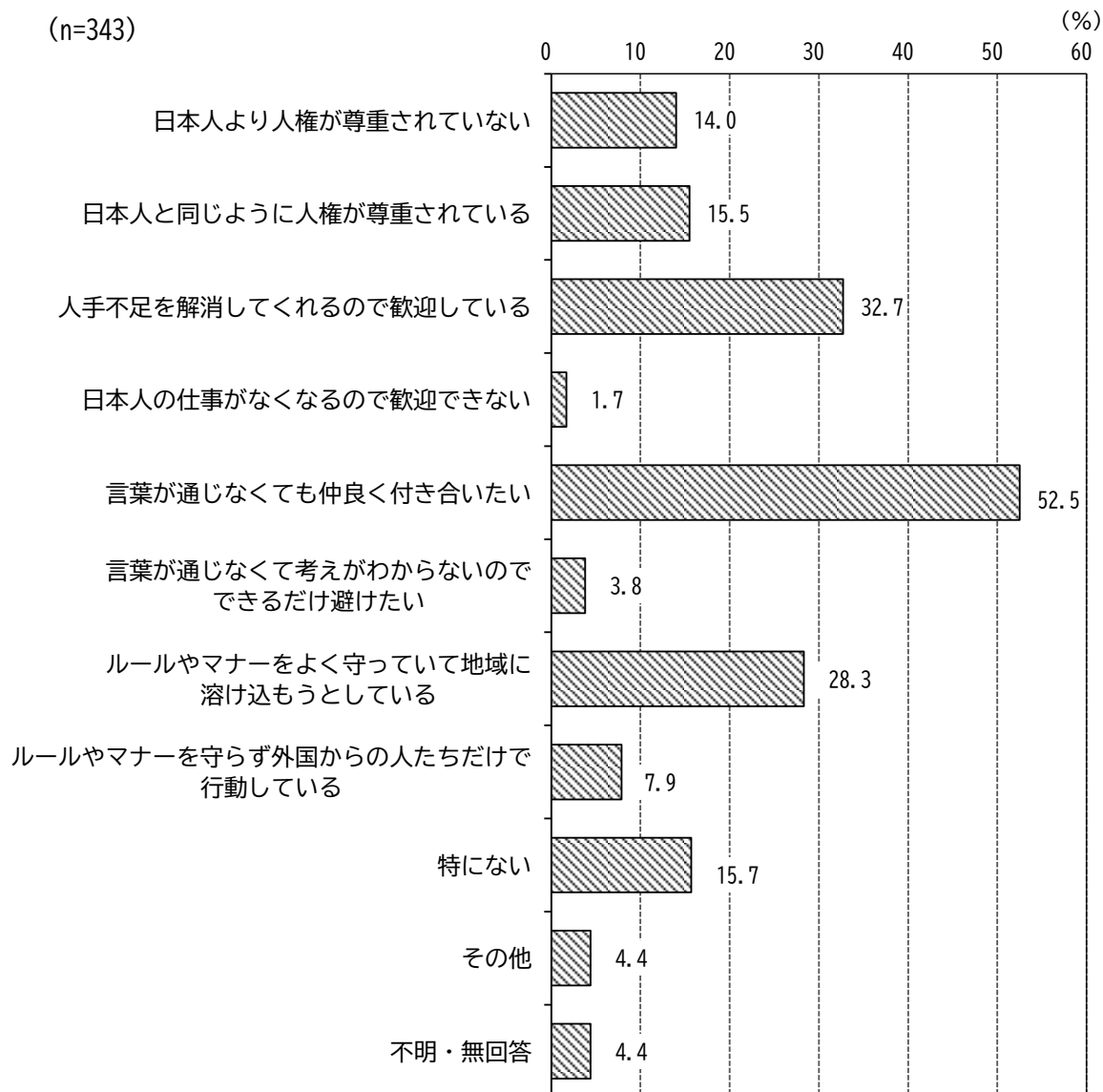
単位 (%)		n (人)	外国から来た住民に対して差別的な発言や行動をすること	外国から来た住民について理解や認識が十分でないこと	働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと	言葉や生活習慣が違いため、地域社会で受け入れられにくいこと	外国から来た人に犯罪者が多いという偏見があること	わからない	特にない
性別	男性	160	23.1	50.6	32.5	57.5	27.5	9.4	8.8
	女性	170	29.4	54.1	30.6	54.1	21.2	7.1	4.1
年代別	18～29 歳	54	33.3	51.9	33.3	51.9	20.4	3.7	9.3
	30～39 歳	46	43.5	47.8	26.1	56.5	23.9	4.3	0.0
	40～49 歳	54	37.0	61.1	35.2	55.6	37.0	3.7	5.6
	50～59 歳	62	17.7	50.0	33.9	56.5	32.3	8.1	6.5
	60～69 歳	50	10.0	48.0	20.0	58.0	18.0	16.0	12.0
	70 歳以上	76	17.1	48.7	34.2	55.3	19.7	13.2	3.9
単位 (%)		n (人)	その他	不明・無回答					
性別	男性	160	0.6	1.9					
	女性	170	1.2	2.9					
年代別	18～29 歳	54	1.9	0.0					
	30～39 歳	46	0.0	4.3					
	40～49 歳	54	0.0	0.0					
	50～59 歳	62	0.0	1.6					
	60～69 歳	50	4.0	2.0					
	70 歳以上	76	1.3	10.5					

問 29 町で働いている外国から来た人についてどう思いますか。(〇は3つまで)

町で働いている外国から来た人に関してどう思うかについては、「言葉が通じなくても仲良く付き合いたい」が52.5%で最も多く、次いで「人手不足を解消してくれるので歓迎している」が32.7%、「ルールやマナーをよく守っていて地域に溶け込もうとしている」が28.3%となっています。

性別にみると、男性で「日本人と同じように人権が尊重されている」が2割台前半、「特にない」が1割台後半とそれぞれ女性と比べて多くなっています。

年代別にみると、50～69歳で「ルールやマナーを守らず外国からの人たちだけで行動している」が1割台前半から1割台後半、60～69歳で「日本人と同じように人権が尊重されている」が2割台前半とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



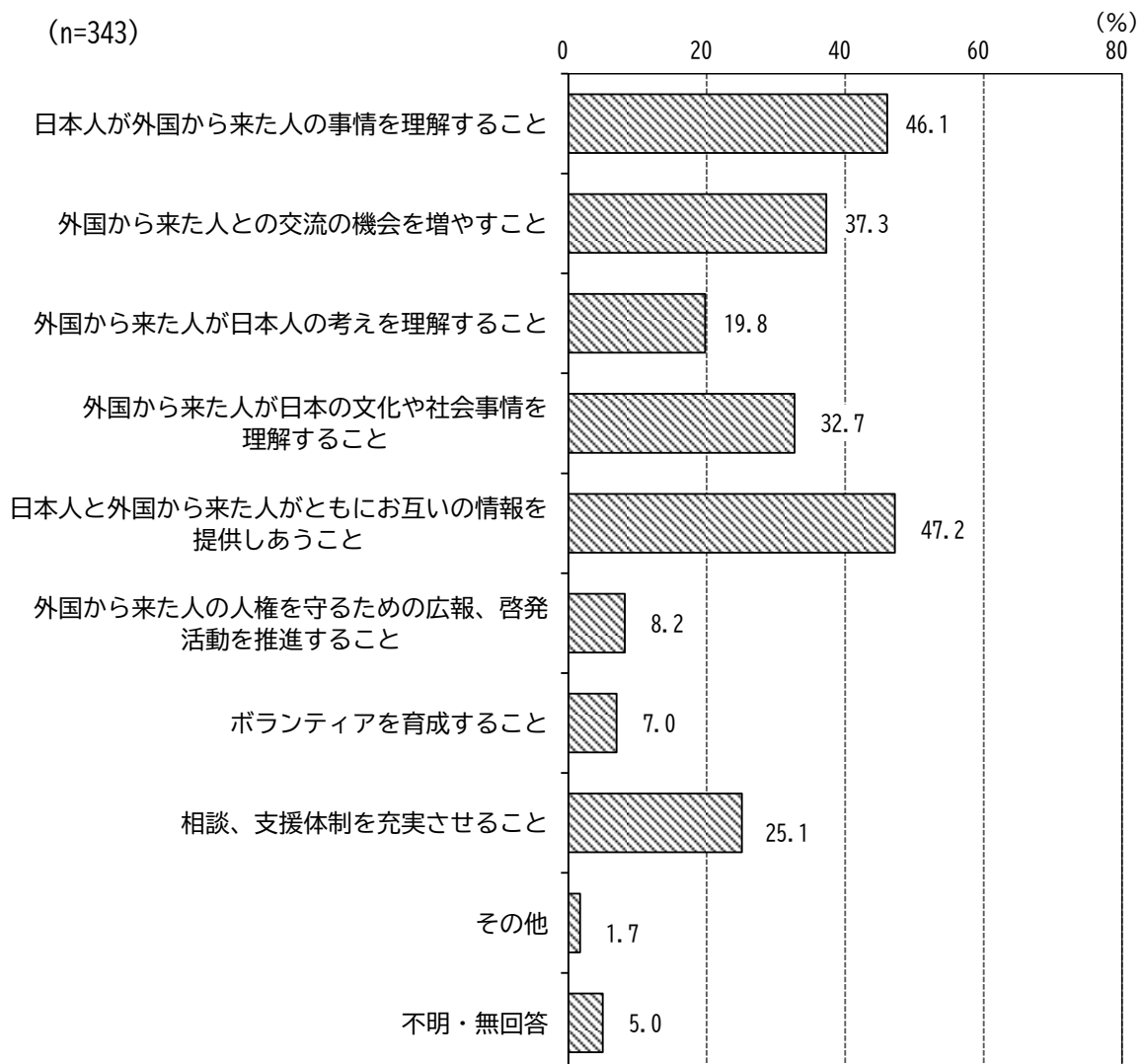
単位 (%)		n (人)	日本人より人権が尊重されていない	日本人と同じように人権が尊重されている	人手不足を解消してくれるので歓迎している	きかない	日本人の仕事がなくなるので歓迎できない	言葉が通じなくても仲良く付き合いたい	言葉が通じなくても考えがわからないのでできるだけ避けたい	ルールやマナーをよく守っていて地域に溶け込もうとしている
性別	男性	160	15.0	21.3	35.0	1.3	51.2	4.4	29.4	
	女性	170	13.5	11.2	31.2	2.4	55.9	2.4	27.6	
年代別	18～29 歳	4	14.8	18.5	29.6	0.0	55.6	7.4	27.8	
	30～39 歳	46	10.9	10.9	37.0	4.3	56.5	4.3	28.3	
	40～49 歳	54	20.4	11.1	38.9	0.0	55.6	0.0	29.6	
	50～59 歳	62	17.7	14.5	27.4	1.6	51.6	6.5	32.3	
	60～69 歳	50	10.0	22.0	38.0	2.0	48.0	4.0	30.0	
	70 歳以上	76	10.5	15.8	28.9	2.6	48.7	1.3	23.7	
単位 (%)		n (人)	ルールやマナーを守らず外国からの人たちだけで行動している	特になし	その他	不明・無回答				
性別	男性	160	7.5	18.8	5.0	1.9				
	女性	170	7.6	13.5	4.1	4.1				
年代別	18～29 歳	54	5.6	16.7	1.9	0.0				
	30～39 歳	46	4.3	6.5	6.5	4.3				
	40～49 歳	54	3.7	22.2	1.9	1.9				
	50～59 歳	62	16.1	14.5	0.0	1.6				
	60～69 歳	50	12.0	18.0	6.0	2.0				
	70 歳以上	76	5.3	15.8	9.2	13.2				

問 30 外国から来た人の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

外国から来た人の人権を守るために必要だと思うことについては、「日本人と外国から来た人がともにお互いの情報を提供しあうこと」が 47.2%と最も多く、次いで「日本人が外国から来た人の事情を理解すること」が 46.1%、「外国から来た人との交流の機会を増やすこと」が 37.3%となっています。

性別にみると、男性で「日本人が外国から来た人の事情を理解すること」、女性で「日本人と外国から来た人がともにお互いの情報を提供しあうこと」が最も多くなっています。また、男性で「外国から来た人が日本人の考えを理解すること」が2割台前半と女性と比べて多く、女性で「相談、支援体制を充実させること」が3割台前半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳と50歳以上で「日本人が外国から来た人の事情を理解すること」、30～49歳で「日本人と外国から来た人がともにお互いの情報を提供しあうこと」が最も多くなっています。また、30～39歳と50～59歳で「外国から来た人が日本の文化や社会事情を理解すること」が2割台後半から3割、40～49歳で「外国から来た人との交流の機会を増やすこと」が5割とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



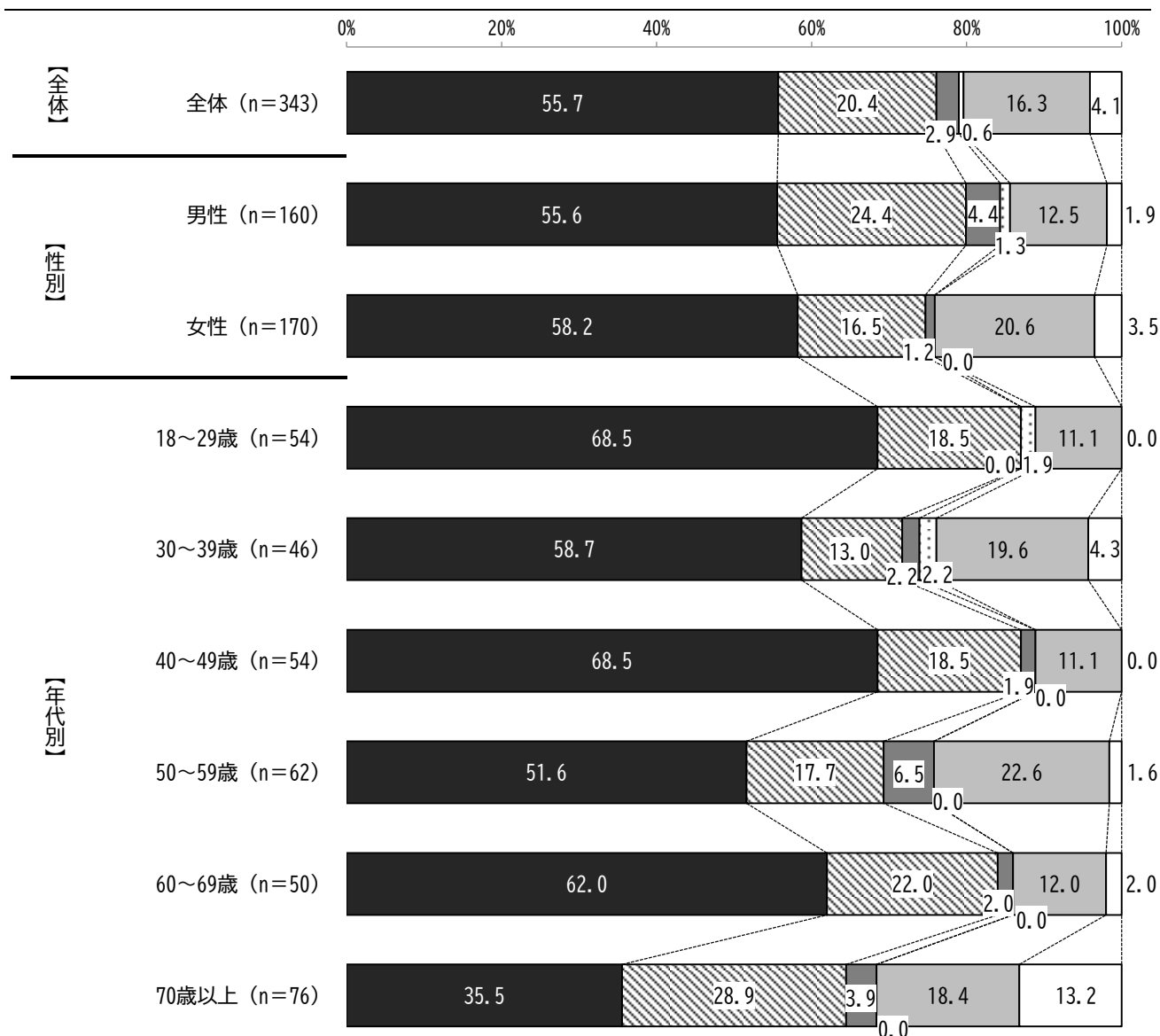
単位 (%)		n (人)	日本人が外国から来た人の事情を理解すること	外国から来た人との交流の機会を増やすこと	外国から来た人が日本人の考えを理解すること	外国から来た人が日本の文化や社会事情を理解すること	日本人と外国から来た人がともにお互いの情報を提供しあうこと	外国から来た人の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	ボランティアを育成すること
性別	男性	160	43.8	35.6	23.8	35.6	42.5	8.1	5.6
	女性	170	47.6	40.0	16.5	31.2	54.1	8.8	8.8
年代別	18～29 歳	54	46.3	37.0	18.5	25.9	44.4	5.6	7.4
	30～39 歳	46	45.7	43.5	28.3	34.8	56.5	4.3	6.5
	40～49 歳	54	46.3	50.0	20.4	27.8	57.4	7.4	7.4
	50～59 歳	62	43.5	37.1	30.6	41.9	35.5	12.9	4.8
	60～69 歳	50	42.0	36.0	12.0	32.0	40.0	6.0	12.0
	70 歳以上	76	51.3	25.0	11.8	31.6	50.0	10.5	5.3
単位 (%)		n (人)	相談、支援体制を充実させること	その他	不明・無回答				
性別	男性	160	18.8	3.1	4.4				
	女性	170	31.8	0.6	3.5				
年代別	18～29 歳	54	18.5	0.0	1.9				
	30～39 歳	46	28.3	0.0	4.3				
	40～49 歳	54	29.6	1.9	3.7				
	50～59 歳	62	21.0	1.6	1.6				
	60～69 歳	50	26.0	2.0	6.0				
	70 歳以上	76	27.6	3.9	10.5				

問 31 これから働く場での人手不足が進んだ場合、より多くの外国から来た人たちに働いてもらうことについてどう思いますか。(1つに○)

これから働く場での人手不足が進んだ場合、より多くの外国から来た人たちに働いてもらうことについては、「積極的に受け入れるべきだ」が55.7%と最も多く、次いで「好ましくはないが受け入れを増やすことは仕方ない」が20.4%、「わからない」が16.3%となっています。

性別にみると、男性で「好ましくはないが受け入れを増やすことは仕方ない」が2割台半ばと女性と比べて多くなっています。

年代別にみると、70歳以上で「好ましくはないが受け入れを増やすことは仕方ない」が2割台後半と他の年代と比べて多くなっています。



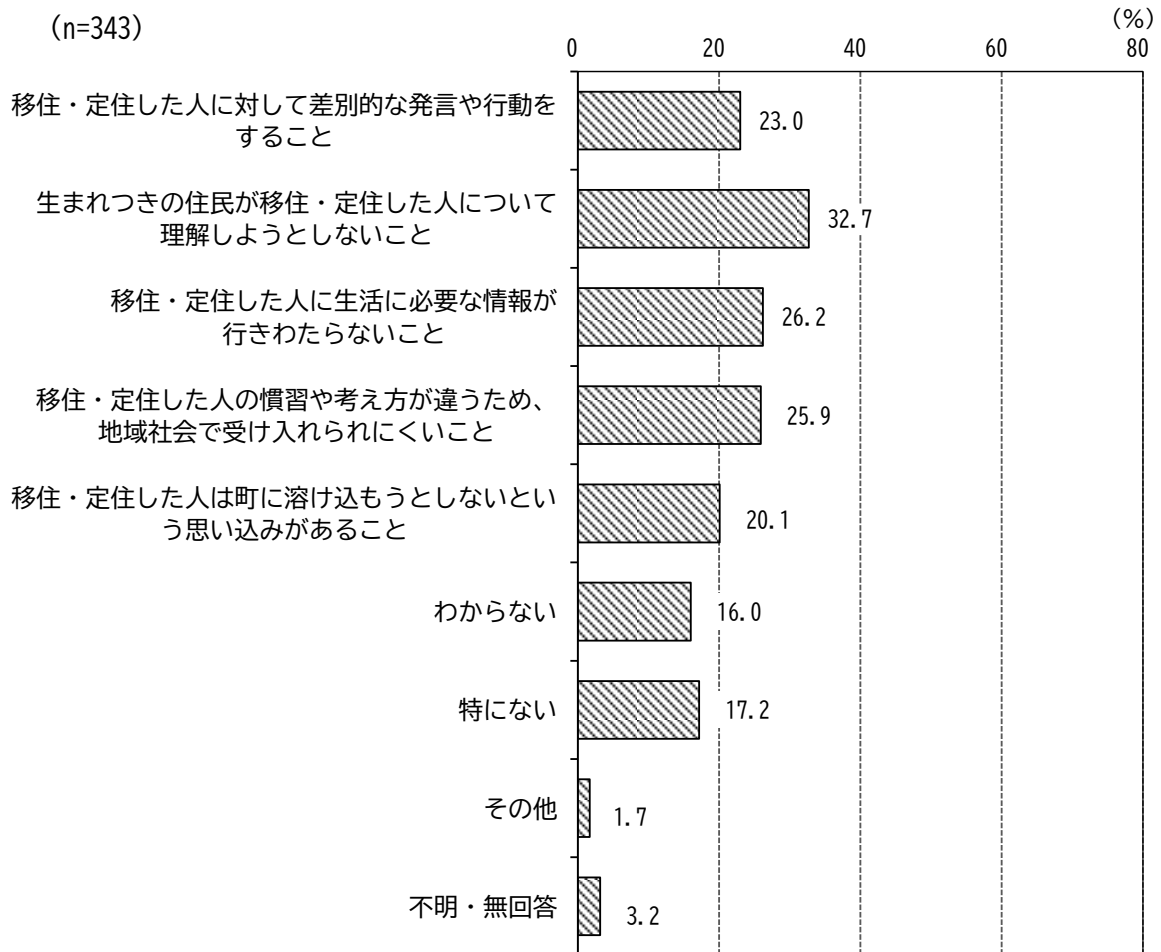
- 積極的に受け入れるべきだ
- 好ましくはないが受け入れを増やすことは仕方ない
- 受け入れをこれ以上増やすべきではない
- 現在受け入れている人もこれから減らしていくべきだ
- わからない
- 不明・無回答

11. 移住・定住した人の人権について

問 32 移住・定住した人の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

移住・定住した人の人権に関して尊重されていないと思うことについては、「生まれつきの住民が移住・定住した人について理解しようとしないうこと」が 32.7%と最も多く、次いで「移住・定住した人に生活に必要な情報が行きわたらないこと」が 26.2%、「移住・定住した人の慣習や考え方が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が 25.9%となっています。

年代別にみると、18～49 歳で「生まれつきの住民が移住・定住した人について理解しようとしないうこと」、50～59 歳と 70 歳以上で「移住・定住した人に生活に必要な情報が行きわたらないこと」、60～69 歳で「移住・定住した人は町に溶け込もうとしないという思い込みがあること」が最も多くなっています。また、30～39 歳で「移住・定住した人に対して差別的な発言や行動をすること」「移住・定住した人の慣習や考え方が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと」が3割台半ばと他の年代と比べて多くなっています。



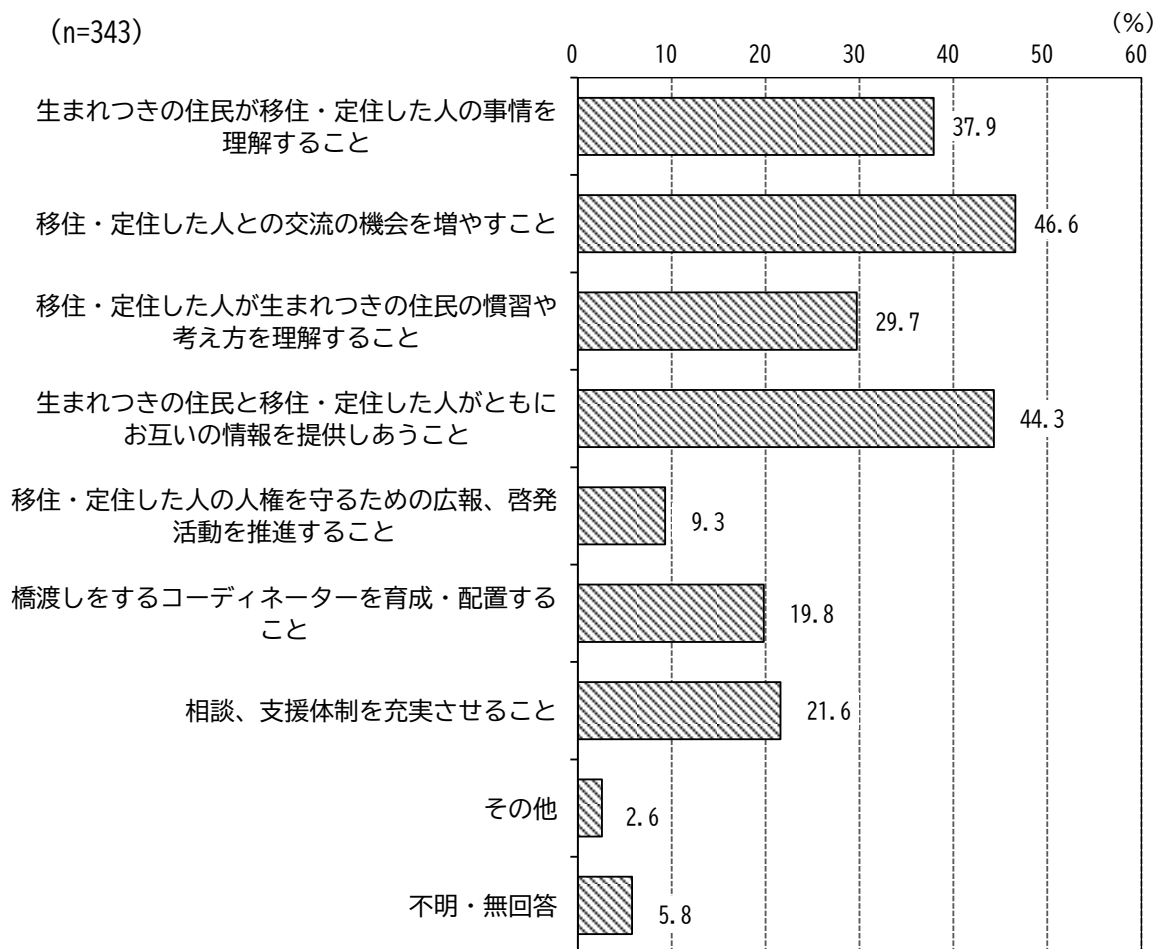
単位 (%)		n (人)	移住・定住した人に対して差別的な発言や行動をすること	生まれつきの住民が移住・定住した人について理解しようとしにくいこと	移住・定住した人に生活に必要な情報が行きわたらないこと	移住・定住した人の慣習や考え方が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	移住・定住した人は町に溶け込もうとしないという思い込みがあること	わからない	特にない
性別	男性	160	21.3	32.5	28.7	28.7	21.9	15.0	15.6
	女性	170	25.9	33.5	25.9	23.5	17.1	17.6	18.2
年代別	18～29 歳	54	29.6	37.0	24.1	29.6	13.0	13.0	16.7
	30～39 歳	46	34.8	43.5	10.9	34.8	13.0	15.2	13.0
	40～49 歳	54	29.6	37.0	20.4	22.2	14.8	14.8	24.1
	50～59 歳	62	24.2	30.6	32.3	19.4	29.0	17.7	16.1
	60～69 歳	50	10.0	22.0	24.0	24.0	34.0	18.0	20.0
	70 歳以上	76	13.2	27.6	38.2	27.6	17.1	17.1	14.5
単位 (%)		n (人)	その他	不明・無回答					
性別	男性	160	2.5	1.3					
	女性	170	1.2	3.5					
年代別	18～29 歳	54	0.0	0.0					
	30～39 歳	46	2.2	4.3					
	40～49 歳	54	0.0	0.0					
	50～59 歳	62	3.2	1.6					
	60～69 歳	50	4.0	2.0					
	70 歳以上	76	1.3	9.2					

問 33 移住・定住した人の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

移住・定住した人の人権を守るために必要だと思うことについては、「移住・定住した人との交流の機会を増やすこと」が 46.6%と最も多く、次いで「生まれつきの住民と移住・定住した人がともにお互いの情報を提供しあうこと」が 44.3%、「生まれつきの住民が移住・定住した人の事情を理解すること」が 37.9%となっています。

性別にみると、男性で「移住・定住した人との交流の機会を増やすこと」、女性で「生まれつきの住民と移住・定住した人がともにお互いの情報を提供しあうこと」が最も多くなっています。また、女性で「橋渡しをするコーディネーターを育成・配置すること」が2割台前半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳で「生まれつきの住民が移住・定住した人の事情を理解すること」、30～49歳と60～69歳で「移住・定住した人との交流機会を増やすこと」「生まれつきの住民と移住・定住した人がともにお互いの情報を提供しあうこと」、50～59歳と70歳以上で「移住・定住した人との交流の機会を増やすこと」が最も多くなっています。また、50～59歳で「移住・定住した人が生まれつきの住民の慣習や考え方を理解すること」が4割台後半、70歳以上で「移住・定住した人の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること」が1割台後半とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



単位 (%)		n (人)	生まれつきの住民が移住・定住した人の事情を理解すること	移住・定住した人との交流の機会を増やすこと	移住・定住した人が生まれつきの住民の慣習や考え方を理解すること	生まれつきの住民と移住・定住した人がともにお互いの情報を提供しあうこと	移住・定住した人の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	育成・配置すること	相談、支援体制を充実させること
性別	男性	160	38.8	48.8	32.5	40.0	11.3	15.6	20.6
	女性	170	37.6	46.5	27.6	48.8	7.6	23.5	23.5
年代別	18～29 歳	54	48.1	37.0	25.9	37.0	7.4	14.8	24.1
	30～39 歳	46	45.7	50.0	28.3	50.0	2.2	26.1	10.9
	40～49 歳	54	42.6	50.0	25.9	50.0	7.4	16.7	22.2
	50～59 歳	62	32.3	53.2	48.4	40.3	9.7	24.2	17.7
	60～69 歳	50	26.0	48.0	34.0	48.0	6.0	16.0	22.0
	70 歳以上	76	35.5	43.4	18.4	42.1	18.4	21.1	28.9
単位 (%)		n (人)	その他	不明・無回答					
性別	男性	160	3.1	5.0					
	女性	170	1.8	5.3					
年代別	18～29 歳	54	1.9	1.9					
	30～39 歳	46	2.2	4.3					
	40～49 歳	54	3.7	5.6					
	50～59 歳	62	4.8	1.6					
	60～69 歳	50	4.0	8.0					
	70 歳以上	76	0.0	11.8					

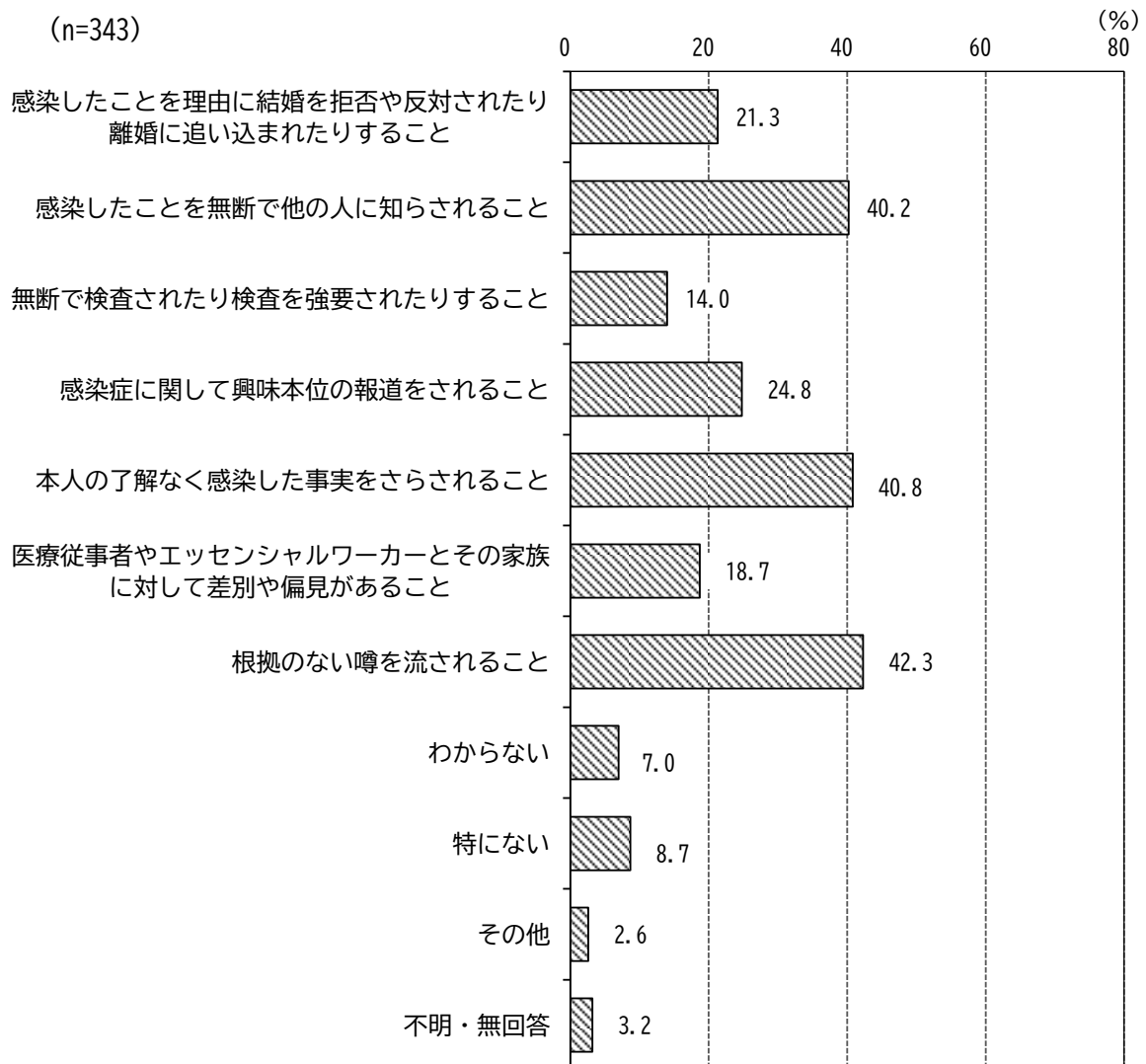
12. 感染症患者等の人権について

問 34 感染症患者等の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

感染症患者等の人権に関して尊重されていないと思うことについては、「根拠のない噂を流されること」が42.3%と最も多く、次いで「本人の了解なく感染した事実をさらされること」が40.8%、「感染したことを無断で他の人に知らされること」が40.2%となっています。

性別にみると、男性で「根拠のない噂を流されること」、女性で「本人の了解なく感染した事実をさらされること」「根拠のない噂を流されること」が最も多くなっています。また、女性で「無断で検査されたり検査を強要されたりすること」が1割台後半と男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～39歳と60～69歳で「根拠のない噂を流されること」、40～49歳で「本人の了解なく感染した事実をさらされること」、50～59歳と70歳以上で「感染したことを無断で他の人に知らされること」が最も多くなっています。また、70歳以上で「感染症に関して興味本位の報道をされること」が3割台半ばと他の年代と比べて多くなっています。



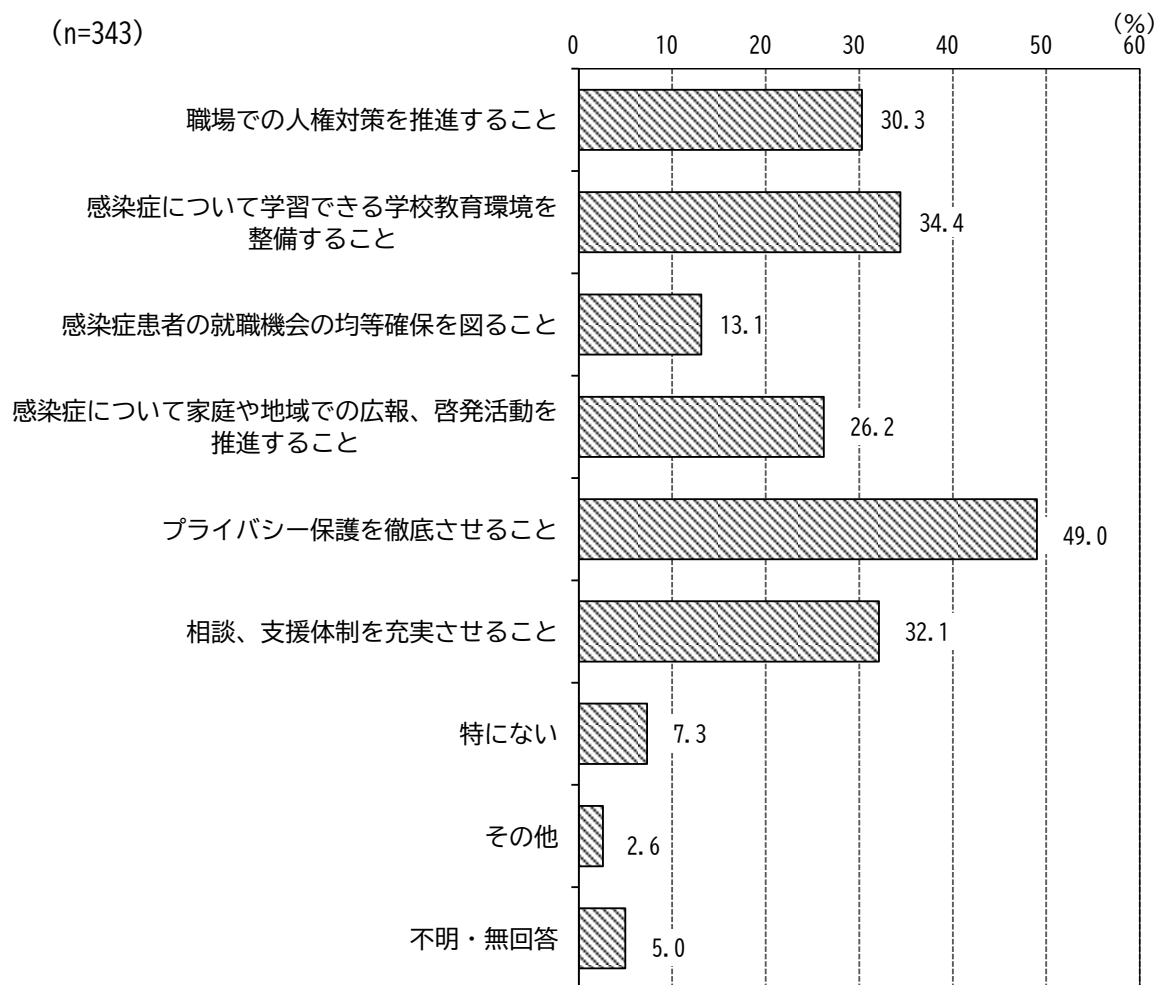
単位 (%)		n (人)	感染したことを理由に結婚を拒否 や反対されたり離婚に追い込まれ たりすること	感染したことを無断で他人に知 らされること	無断で検査されたり検査を強要さ れたりすること	感染症に関して興味本位の報道を されること	本人の了解なく感染した事実をさ らされること	医療従事者やエッセンシャルワー カーとその家族に対して差別や偏 見があること	根拠のない噂を流されること
性別	男性	160	23.1	40.6	10.6	27.5	38.1	17.5	41.9
	女性	170	20.6	40.6	18.2	23.5	45.3	20.6	45.3
年代別	18~29 歳	54	31.5	46.3	11.1	18.5	37.0	24.1	46.3
	30~39 歳	46	28.3	43.5	21.7	17.4	47.8	23.9	58.7
	40~49 歳	54	22.2	31.5	20.4	24.1	51.9	25.9	50.0
	50~59 歳	62	22.6	50.0	8.1	25.8	41.9	12.9	41.9
	60~69 歳	50	14.0	24.0	10.0	24.0	32.0	10.0	34.0
	70 歳以上	76	13.2	42.1	14.5	34.2	36.8	17.1	28.9
単位 (%)		n (人)	わからない	特 に ない	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答			
性別	男性	160	7.5	8.8	3.1	1.3			
	女性	170	7.1	8.2	2.4	1.2			
年代別	18~29 歳	54	1.9	7.4	0.0	0.0			
	30~39 歳	46	2.2	0.0	2.2	2.2			
	40~49 歳	54	5.6	9.3	1.9	1.9			
	50~59 歳	62	6.5	14.5	4.8	0.0			
	60~69 歳	50	10.0	14.0	2.0	10.0			
	70 歳以上	76	13.2	6.6	3.9	5.3			

問 35 感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことについては、「プライバシー保護を徹底させること」が49.0%と最も多く、次いで「感染症について学習できる学校教育環境を整備すること」が34.4%、「相談、支援体制を充実させること」が32.1%となっています。

性別にみると、男性で「職場での人権対策を推進すること」が3割台前半と女性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～69歳で「プライバシー保護を徹底させること」、70歳以上で「相談、支援体制を充実させること」が最も多くなっています。また、40～59歳で「職場での人権対策を推進すること」が3割台半ばから3割台後半、50～59歳と70歳以上で「感染症について家庭や地域での広報、啓発活動を推進すること」が3割台後半から4割弱とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



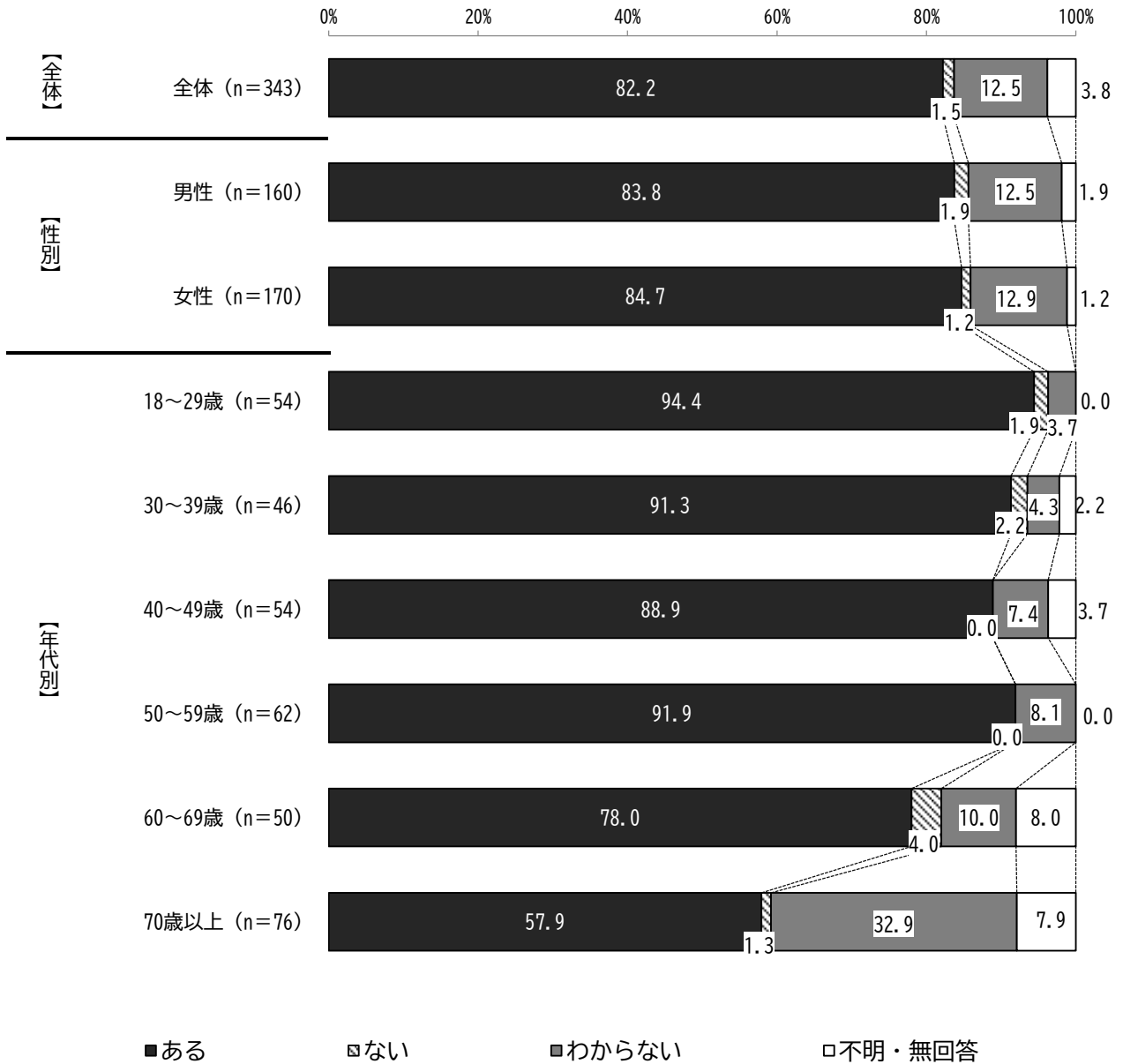
単位 (%)		n (人)	職場での人権対策を推進すること	感染症について学習できる学校教育環境を整備すること	感染症患者の就職機会の均等確保を図ること	報、啓発活動を推進すること	プライバシー保護を徹底させること	相談、支援体制を充実させること	特になし
性別	男性	160	33.8	33.8	14.4	28.1	42.5	33.1	10.0
	女性	170	28.8	37.1	12.4	26.5	57.1	32.9	4.1
年代別	18～29歳	54	27.8	31.5	14.8	11.1	66.7	24.1	5.6
	30～39歳	46	30.4	37.0	13.0	19.6	63.0	28.3	0.0
	40～49歳	54	38.9	38.9	13.0	20.4	61.1	22.2	9.3
	50～59歳	62	35.5	30.6	12.9	38.7	40.3	33.9	9.7
	60～69歳	50	22.0	36.0	6.0	20.0	40.0	34.0	12.0
	70歳以上	76	27.6	34.2	17.1	39.5	31.6	44.7	6.6
単位 (%)		n (人)	その他	不明・無回答					
性別	男性	160	3.1	2.5					
	女性	170	2.4	2.9					
年代別	18～29歳	54	5.6	0.0					
	30～39歳	46	0.0	8.7					
	40～49歳	54	1.9	3.7					
	50～59歳	62	3.2	1.6					
	60～69歳	50	4.0	10.0					
	70歳以上	76	1.3	6.6					

13.インターネットによる人権侵害について

問 36 インターネットによる人権侵害はありますか。(1つに〇)

インターネットによる人権侵害があると思うかについては、「ある」が82.2%と最も多く、次いで「わからない」が12.5%、「ない」が1.5%となっています。

年代別に見ると、年代が上がるにつれ、「わからない」が多くなっています。

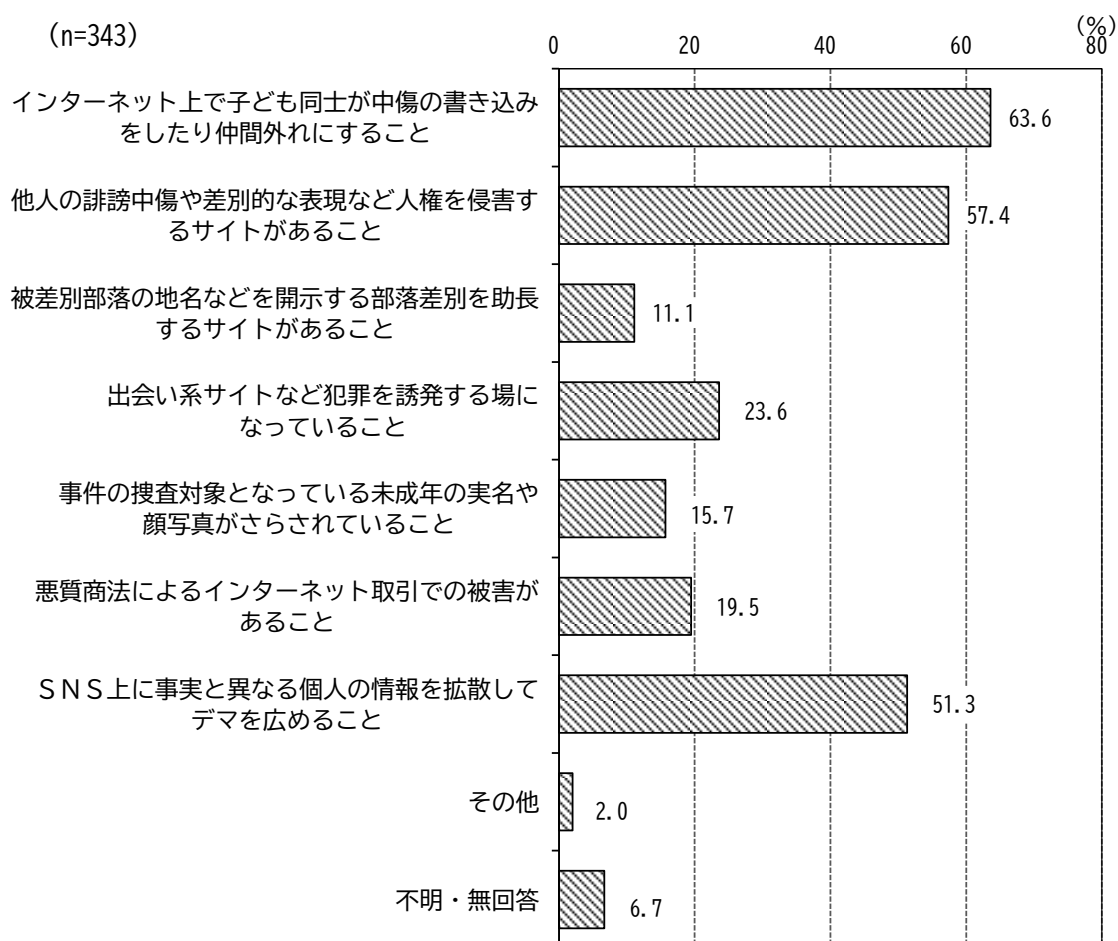


問 37 インターネットによる人権侵害だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

インターネットによる人権侵害だと思うことについては、「インターネット上で子ども同士が中傷の書き込みをしたり仲間外れにすること」が 63.6%と最も多く、次いで「他人の誹謗中傷や差別的な表現など人権を侵害するサイトがあること」が 57.4%、「SNS 上に事実と異なる個人の情報を拡散してデマを広めること」が 51.3%となっています。

性別にみると、男性で「他人の誹謗中傷や差別的な表現など人権を侵害するサイトがあること」、女性で「インターネット上で子ども同士が中傷の書き込みをしたり仲間外れにすること」が最も多くなっています。また、男性で「悪質商法によるインターネット取引での被害があること」が2割台前半と女性と比べて多く、女性で「被差別部落の地名などを開示する部落差別を助長するサイトがあること」が1割台半ば、「事件の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真がさらされていること」が2割弱、「SNS 上に事実と異なる個人の情報を拡散してデマを広めること」が6割台前半とそれぞれ男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29 歳と 40 歳以上で「インターネット上で子ども同士が中傷の書き込みをしたり仲間外れにすること」、30～39 歳で「SNS 上に事実と異なる個人の情報を拡散してデマを広めること」が最も多くなっています。また、40～49 歳で「他人の誹謗中傷や差別的な表現など人権を侵害するサイトがあること」が7割、70 歳以上で「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場になっていること」が3割台後半と他の年代と比べて多くなっています。



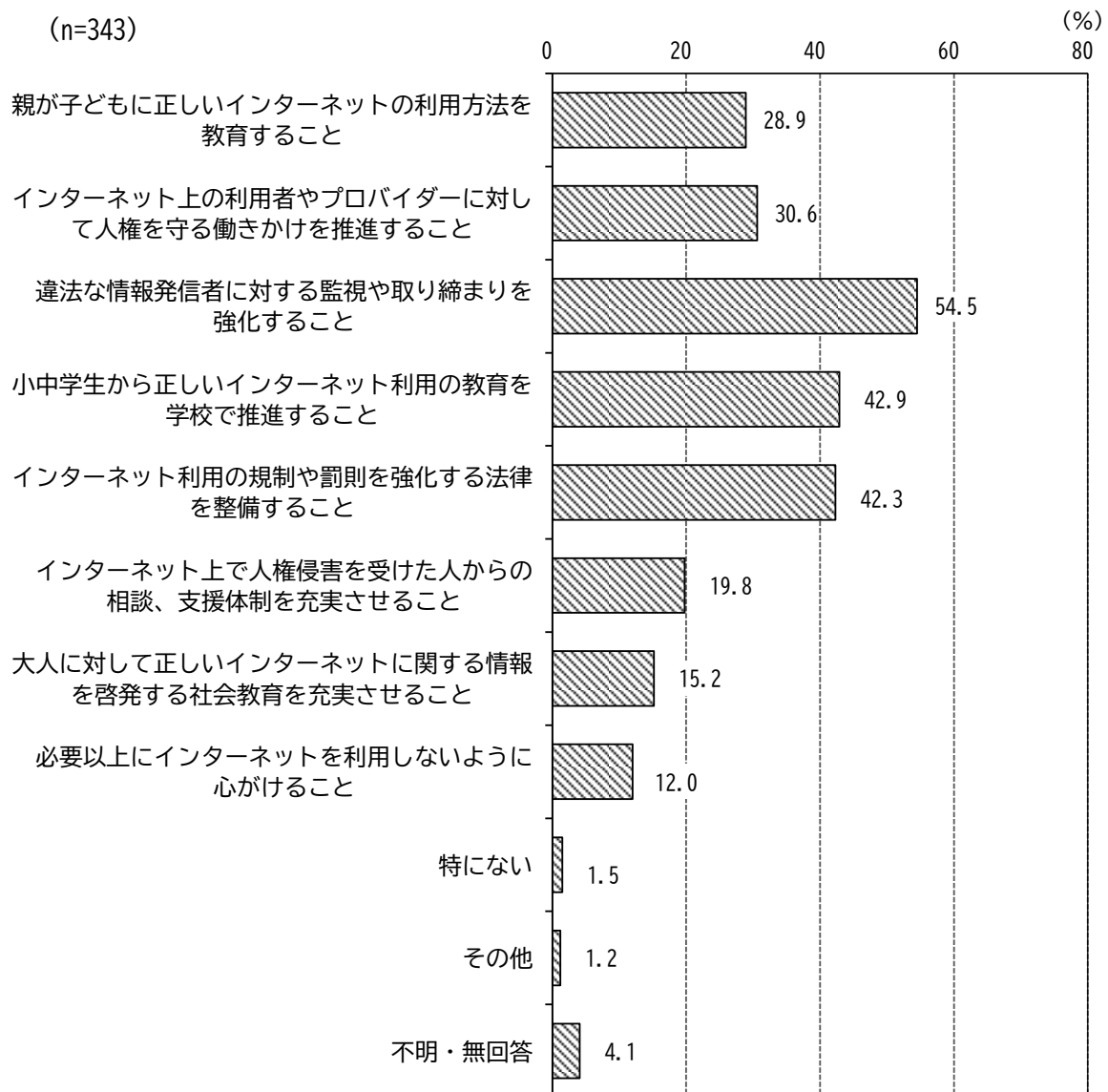
単位 (%)		n (人)	インターネット上で子ども同士が中傷の書き込みをしたり仲間外れにすること	他人の誹謗中傷や差別的な表現など人権を侵害するサイトがあること	被差別部落の地名などを開示する部落差別を助長するサイトがあること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場になっっていること	事件の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真がさらされていること	悪質商法によるインターネット取引での被害があること	SNS上に事実と異なる個人の情報を拡散してデマを広めること
性別	男性	160	63.1	65.6	8.8	21.9	13.1	23.1	44.4
	女性	170	67.1	52.4	14.1	25.9	19.4	17.1	61.2
年代別	18～29 歳	54	64.8	59.3	9.3	14.8	18.5	20.4	55.6
	30～39 歳	46	58.7	58.7	13.0	23.9	23.9	26.1	69.6
	40～49 歳	54	74.1	70.4	16.7	14.8	22.2	11.1	57.4
	50～59 歳	62	71.0	61.3	12.9	22.6	16.1	21.0	58.1
	60～69 歳	50	56.0	48.0	12.0	24.0	4.0	14.0	44.0
	70 歳以上	76	56.6	50.0	5.3	36.8	10.5	23.7	32.9
単位 (%)		n (人)	その他	不明・無回答					
性別	男性	160	3.1	3.8					
	女性	170	1.2	4.7					
年代別	18～29 歳	54	1.9	0.0					
	30～39 歳	46	4.3	4.3					
	40～49 歳	54	0.0	5.6					
	50～59 歳	62	1.6	1.6					
	60～69 歳	50	2.0	10.0					
	70 歳以上	76	2.6	15.8					

問 38 インターネットによる人権侵害をなくすために効果的だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

インターネットによる人権侵害をなくすために効果的だと思うことについては、「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化すること」が54.5%と最も多く、次いで「小中学生から正しいインターネット利用の教育を学校で推進すること」が42.9%、「インターネット利用の規制や罰則を強化する法律を整備すること」が42.3%となっています。

性別にみると、男性で「インターネット上の利用者やプロバイダーに対して人権を守る働きかけを推進すること」が3割台後半と女性と比べて多く、女性で「親が子どもに正しいインターネットの利用方法を教育すること」が3割台半ば、「小中学生から正しいインターネット利用の教育を学校で推進すること」が5割、「大人に対して正しいインターネットに関する情報を啓発する社会教育を充実させること」が2割弱とそれぞれ男性と比べて多くなっています。

年代別にみると、18～39歳で「小中学生から正しいインターネット利用の教育を学校で推進すること」、40～49歳で「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化すること」「インターネット利用の規制や罰則を強化する法律を整備すること」、50歳以上で「違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化すること」が最も多くなっています。また、30～39歳で「インターネット上で人権侵害を受けた人からの相談、支援体制を充実させること」が3割台前半、50～69歳で「インターネット上の利用者やプロバイダーに対して人権を守る働きかけを推進すること」が3割台後半から4割台前半とそれぞれ他の年代と比べて多くなっています。



単位 (%)		n (人)	親が子どもに正しいインターネットの利用方法を教育すること	インターネット上の利用者やプロバイダーに対して人権を守る働きかけを推進すること	違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化すること	小中学生から正しいインターネット利用の教育を学校で推進すること	インターネット利用の規制や罰則を強化する法律を整備すること	人からの相談、支援体制を充実させること	インターネット上で人権侵害を受けた人からの相談、支援体制を充実させること	大人に対して正しいインターネットに関する情報を啓発する社会教育を充実させること
性別	男性	160	23.8	36.9	54.4	38.1	43.1	22.5	11.3	
	女性	170	34.7	25.9	58.8	50.0	42.9	18.8	19.4	
年代別	18～29 歳	54	25.9	18.5	38.9	46.3	37.0	25.9	16.7	
	30～39 歳	46	32.6	30.4	43.5	58.7	26.1	32.6	21.7	
	40～49 歳	54	33.3	24.1	57.4	48.1	57.4	14.8	16.7	
	50～59 歳	62	29.0	41.9	69.4	37.1	48.4	17.7	21.0	
	60～69 歳	50	22.0	38.0	50.0	36.0	48.0	16.0	12.0	
	70 歳以上	76	30.3	30.3	60.5	36.8	35.5	14.5	6.6	
単位 (%)		n (人)	必要以上にインターネットを利用しないように心がけること	特にない	その他	不明・無回答				
性別	男性	160	13.8	2.5	0.6	1.3				
	女性	170	11.2	0.6	1.8	1.8				
年代別	18～29 歳	54	14.8	3.7	0.0	0.0				
	30～39 歳	46	17.4	0.0	2.2	4.3				
	40～49 歳	54	5.6	1.9	1.9	3.7				
	50～59 歳	62	11.3	0.0	1.6	0.0				
	60～69 歳	50	6.0	2.0	2.0	6.0				
	70 歳以上	76	15.8	1.3	0.0	9.2				

IV 各分野における設問間クロス集計結果

各項目において、その他と不明・無回答を除く、一番大きい値に網掛けをしています。

●女性の人権について

問8 女性の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問9 女性の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n(人)	問9 女性の人権を守るために必要だと思うこと								
		女性の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	女性の人権に関する研修の機会を増やすこと	男女平等に関する学校教育や社会教育を充実させること	女性のための相談、支援体制を充実させること	男女ともに働きながら、家事や育児、介護を両立できる環境を充実させること	女性が被害者となる犯罪の取締りを強化すること	その他	不明・無回答	
問8 女性の人権について尊重されていないと思うこと	夫や恋人などからの女性に対する暴力	72	31.9	16.7	63.9	38.9	65.3	38.9	4.2	0.0
	職場や地域、学校などにおけるセクハラ(性的いやがらせ)	85	28.2	17.6	65.9	32.9	68.2	35.3	4.7	0.0
	就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における差別待遇	144	22.2	14.6	68.8	35.4	71.5	25.7	6.9	0.0
	結婚、妊娠、出産、不妊などについての干渉や圧力	115	16.5	13.0	65.2	37.4	81.7	27.8	3.5	0.9
	「男は外で働き、女は家庭を守るべき」といった性別による役割の固定観念	98	23.5	13.3	71.4	28.6	76.5	34.7	7.1	1.0
	女性の身体的特徴を話題にすること	63	22.2	11.1	69.8	44.4	71.4	36.5	0.0	0.0
	進学や就職での選択の幅がせまいこと	52	11.5	11.5	63.5	30.8	78.8	32.7	9.6	0.0
	特になし	52	11.5	5.8	40.4	17.3	57.7	9.6	7.7	3.8
	その他	11	36.4	27.3	63.6	18.2	36.4	18.2	45.5	0.0
	不明・無回答	18	0.0	5.6	11.1	0.0	16.7	0.0	0.0	77.8

●子どもの人権について

問10 子どもの人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問11 子どもの人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n (人)	問11 子どもの人権を守るために必要だと思うこと													
		家族の信頼関係を築くこと	家庭内の人間関係を安定させ、家庭内の環境の安定を保つこと	経済的安定や精神的安定など、家庭で子どもを正しく育てること	体罰禁止を徹底すること	校則や規則を緩やかにすること	子どもの人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	指導者や教師の人間性及び資質の向上を図ること	尊重(個性を尊重)すること	服装や進路などで子どもの意思を	人や動植物への思いやりの心を育むこと	地域の人が子どもに関心を持つこと	子どもの人権相談、電話相談などを充実させること	その他	不明・無回答
問10 子どもの人権について尊重されていないと思うこと	親や同居者が虐待、ネグレクト(無視、放置)すること	189	50.7	48.4	23.0	9.3	4.1	14.3	31.2	12.8	23.6	25.9	14.6	4.7	3.8
	親や同居者がしつこく体罰をすること	109	57.1	55.6	23.8	10.1	3.2	15.3	31.7	11.6	25.4	27.5	16.4	6.3	0.0
	子ども同士の暴力、仲間はずし、無視などのいじめ	154	56.9	56.9	24.8	18.3	5.5	12.8	33.9	14.7	24.8	27.5	13.8	4.6	0.0
	いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする	132	53.9	50.6	27.9	7.8	4.5	18.2	31.2	11.7	24.7	29.2	16.9	1.9	0.0
	進学などの選択で大人が子どもの意見を無視したり、考えを押し付けたりすること	76	55.3	48.5	25.0	11.4	6.1	19.7	31.1	16.7	25.0	25.8	20.5	4.5	0.8
	指導者や教師が叱咤激励のため体罰や不快な言動を発すること	71	57.9	55.3	21.1	11.8	5.3	13.2	43.4	28.9	25.0	22.4	15.8	5.3	0.0
	インターネットの出会い系サイトで被害を受けるなど性犯罪に巻き込まれること	69	54.9	57.7	15.5	16.9	9.9	14.1	49.3	19.7	23.9	25.4	18.3	8.5	1.4
	インターネット上に違法な児童ポルノをのせること	37	60.9	50.7	26.1	8.7	4.3	23.2	36.2	14.5	33.3	36.2	13.0	1.4	0.0
	子どもが家庭内で親やきょうだいなど家族の世話をすること	45	70.3	51.4	35.1	10.8	8.1	16.2	45.9	16.2	24.3	40.5	21.6	5.4	0.0
	特になし	14	51.1	55.6	22.2	17.8	6.7	11.1	20.0	20.0	24.4	31.1	28.9	8.9	0.0
	その他	8	14.3	35.7	35.7	7.1	7.1	14.3	21.4	0.0	21.4	21.4	7.1	7.1	0.0
	不明・無回答	14	37.5	50.0	25.0	0.0	0.0	12.5	50.0	12.5	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0

●高齢者の人権について

問 15 高齢者の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問 16 高齢者の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n (人)	問 16 高齢者の人権を守るために必要だと思うこと												
		高齢者の社会参画、就業機会を拡大すること	高齢者に配慮した防犯、防災対策を充実させること	住居や交通、公的施設のバリアフリー化を進めること	病院や介護施設での対応を改善すること	介護や緊急救急体制を整備すること	高齢者の人権を守るための成年後見制度などの広報、啓発活動を推進すること	高齢者が自立できる、生活しやすい環境を整備すること	地域でのケア体制を充実させること	生きがい対策を整備、充実させること	世代間の交流を促進させること	その他	不明・無回答	
問 15 高齢者の人権について尊重されていないと思うこと	働ける能力を発揮する機会がない(少ない)こと	97	72.2	17.5	30.9	10.3	15.5	5.2	55.7	18.6	34.0	13.4	2.1	0.0
	悪質商法や特殊詐欺による高齢者の被害が多いこと	127	29.9	42.5	31.5	16.5	25.2	9.4	43.3	28.3	32.3	10.2	3.1	0.0
	高齢者が暮らしやすい街づくり、住宅づくりが進んでいないこと	112	32.1	25.0	42.9	16.1	22.3	9.8	55.4	22.3	28.6	17.9	3.6	0.0
	介護制度が不備であること	84	21.4	25.0	35.7	38.1	51.2	8.3	40.5	32.1	20.2	6.0	1.2	0.0
	病院での看護や介護施設などでの対応、待遇が不十分であること	40	5.0	22.5	25.0	55.0	40.0	5.0	35.0	40.0	25.0	15.0	0.0	0.0
	一人暮らしの高齢者に必要な生活情報が十分に伝わらないこと	107	21.5	20.6	33.6	17.8	33.6	16.8	54.2	30.8	31.8	17.8	2.8	0.0
	高齢者をじゃま者扱いしたり、高齢者に対して暴力、暴言をふるったりすること	71	19.7	18.3	25.4	9.9	23.9	15.5	54.9	26.8	42.3	21.1	1.4	0.0
	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	40	12.5	20.0	30.0	12.5	22.5	7.5	52.5	32.5	42.5	25.0	7.5	2.5
	高齢者に対して周囲の思いやりの心が欠けていること	70	21.4	25.7	30.0	15.7	15.7	14.3	52.9	28.6	35.7	18.6	4.3	2.9
	特になし	23	13.0	4.3	17.4	8.7	21.7	4.3	21.7	8.7	34.8	17.4	8.7	4.3
	その他	14	0.0	14.3	35.7	14.3	14.3	14.3	50.0	7.1	7.1	28.6	35.7	0.0
不明・無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

●障がいのある人の人権について

問 17 障がいのある人の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問 18 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n(人)	問 18 障がいのある人の人権を守るために必要だと思うこと										
		就業機会を確保すること	障がいのある人も一緒に学習できる学校教育環境を整備すること(インクルーシブ教育)	バリアフリー化を促進すること	地域でのケア体制を充実させること	障がいのある人の人権を守るための成年後見制度などの広報、啓発活動を推進すること	福祉施設を充実させること	障がいのある人に配慮した防犯、防災対策を充実させること	相談、支援体制を充実させること	その他	不明・無回答	
問 17 障がいのある人の人権について尊重されていないと思うこと	障がいのある人から法律によって求められる合理的配慮の理解が進んでいないこと	65	50.8	38.5	27.7	32.3	20.0	36.9	21.5	40.0	0.0	0.0
	働ける場所や機会が少なく、あっても不利なことが多いこと	164	67.1	44.5	26.2	29.3	12.2	30.5	14.6	33.5	2.4	0.0
	こども園に希望どおり受け入れてもらえないこと	21	47.6	61.9	42.9	28.6	9.5	23.8	4.8	57.1	0.0	4.8
	交通、公共施設のバリアフリー化が進んでいないこと	84	45.2	40.5	64.3	28.6	9.5	31.0	22.6	27.4	1.2	1.2
	アパートなどの住宅に入居するのが困難なこと	49	63.3	24.5	26.5	36.7	10.2	34.7	24.5	38.8	2.0	0.0
	地域活動(スポーツ、文化活動)などに気軽に参加できないこと	21	42.9	38.1	19.0	47.6	4.8	23.8	23.8	33.3	9.5	0.0
	障がいのある人の意見や行動を尊重しないこと	40	37.5	52.5	12.5	40.0	15.0	35.0	15.0	45.0	7.5	0.0
	障がいのある人に対する人々の理解が不十分であること	200	47.5	41.0	21.5	33.0	13.0	32.5	20.0	37.5	3.5	0.5
	差別的、侮蔑的な言動をすること	68	44.1	48.5	20.6	30.9	14.7	26.5	20.6	44.1	4.4	1.5
	じろじろ見られたり、避けられたりすること	67	46.3	32.8	17.9	43.3	13.4	28.4	17.9	37.3	1.5	0.0
	特になし	29	41.4	13.8	10.3	20.7	0.0	27.6	6.9	44.8	0.0	10.3
	その他	8	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	50.0	50.0	0.0
	不明・無回答	8	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	62.5

●部落差別問題（同和問題）について

問 23 部落差別問題（同和問題）で人権上特に問題があると思うことは何ですか。（○は3つまで）

×問 26 部落差別問題（同和問題）を解決するために必要だと思うことは何ですか。（○は3つまで）

%	n(人)	問 26 部落差別問題（同和問題）を解決するために必要だと思うこと										
		学校や地域、企業において講演会を行うなど同和教育を進めること	広報紙の掲載や、冊子の発行など啓発活動を推進すること	同和問題にかかわる相談、支援体制を充実させること	公平性を確保すること	被差別部落の生活環境を整備し、周辺地域との交換ができる環境づくりを進めること	部落差別問題（同和問題）について自由な意見交換ができる環境づくりを進めること	部落差別問題（同和問題）は自然になくなるのでそっとしておく	わからない	特にない	その他	不明・無回答
問 23 部落差別問題（同和問題）で人権上特に問題があると思うこと	差別的な発言や行動をすること	148	52.0	20.9	37.2	44.6	31.8	10.8	8.1	0.7	2.7	0.0
	就職の際や職場において不利な扱いをすること	152	53.9	21.1	40.1	50.7	30.3	7.2	8.6	0.7	4.6	0.0
	結婚問題で周囲が反対すること	121	43.8	19.0	41.3	47.9	28.1	9.9	9.9	0.8	6.6	0.0
	地域社会で不利な扱いをすること	137	49.6	19.7	39.4	46.0	33.6	9.5	8.8	0.0	2.9	0.0
	身元調査（本籍、出生、家庭環境、国籍、思想、信条などについて、本人の知らないところで調べること）をすること	97	42.3	15.5	46.4	39.2	39.2	11.3	12.4	2.1	4.1	0.0
	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	45	44.4	13.3	42.2	42.2	28.9	17.8	11.1	4.4	4.4	0.0
	差別的な落書きをすること	18	38.9	16.7	22.2	55.6	61.1	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0
	わからない	37	18.9	0.0	21.6	21.6	21.6	5.4	43.2	2.7	0.0	5.4
	特にない	14	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	21.4	14.3	50.0	0.0	0.0
	その他	6	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7
不明・無回答	13	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	76.9	

●外国から来た人の人権について

問 28 外国から来た人の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問 30 外国から来た人の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n (人)	問 30 外国から来た人の人権を守るために必要だと思うこと										
		日本人が外国から来た人の事情を理解すること	外国から来た人との交流の機会を増やすこと	外国から来た人が日本人の考えを理解すること	外国から来た人が日本の文化や社会事情を理解すること	日本人と外国から来た人がともにお互いの情報を提供しあうこと	外国人から来た人の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	ボランティアを育成すること	相談、支援体制を充実させること	その他	不明・無回答	
問 28 外国から来た人の人権について尊重されていないと思うこと	外国から来た住民に対して差別的な発言や行動をすること	87	54.0	44.8	21.8	26.4	57.5	6.9	8.0	28.7	1.1	0.0
	外国から来た住民について理解や認識が十分でないこと	176	54.5	43.8	19.9	33.5	56.3	9.1	6.3	23.9	1.7	0.0
	働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと	106	47.2	53.8	19.8	35.8	54.7	15.1	9.4	28.3	1.9	0.0
	言葉や生活習慣が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	190	49.5	43.2	22.6	41.1	53.2	8.4	8.9	25.8	1.1	0.5
	外国から来た人に犯罪者が多いという偏見があること	86	47.7	39.5	25.6	40.7	45.3	9.3	8.1	30.2	1.2	0.0
	わからない	29	44.8	34.5	27.6	31.0	44.8	6.9	0.0	27.6	0.0	6.9
	特になし	21	38.1	28.6	4.8	9.5	28.6	4.8	23.8	19.0	9.5	9.5
	その他	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	不明・無回答	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

●移住・定住した人の人権について

問 32 移住・定住した人の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問 33 移住・定住した人の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n (人)	問 33 移住・定住した人の人権を守るために必要だと思うこと									
		生まれつきの住民が移住・定住した人の事情を理解すること	移住・定住した人との交流の機会を増やすこと	移住・定住した人が生まれつきの住民の慣習や考え方を理解すること	生まれつきの住民と移住・定住した人がともにお互いの情報を提供しあうこと	移住・定住した人の人権を守るための広報、啓発活動を推進すること	橋渡しをするコーディネーターを育成・配置すること	相談、支援体制を充実させること	その他	不明・無回答	
問 32 移住・定住した人に対して差別的な発言や行動をすること	79	58.2	53.2	35.4	46.8	15.2	24.1	20.3	2.5	0.0	
生まれつきの住民が移住・定住した人について理解しようとしにくいこと	112	56.3	58.9	38.4	57.1	7.1	26.8	14.3	2.7	0.0	
移住・定住した人に生活に必要な情報が行きわたらないこと	90	43.3	61.1	35.6	50.0	18.9	26.7	28.9	1.1	0.0	
移住・定住した人の慣習や考え方が違うため、地域社会で受け入れられにくいこと	89	48.3	40.4	43.8	59.6	11.2	31.5	24.7	3.4	0.0	
移住・定住した人は町に溶け込もうとしないという思い込みがあること	69	42.0	50.7	36.2	53.6	18.8	24.6	18.8	1.4	0.0	
わからない	55	27.3	45.5	21.8	41.8	5.5	14.5	25.5	0.0	7.3	
特になし	59	27.1	35.6	20.3	33.9	6.8	11.9	35.6	6.8	6.8	
その他	6	33.3	16.7	16.7	66.7	0.0	33.3	16.7	50.0	16.7	
不明・無回答	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

●感染症患者等の人権について

問 34 感染症患者等の人権について尊重されていないと思うことは何ですか。(○は3つまで)

×問 35 感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

%	n (人)	問 35 感染症患者等の人権を守るために必要だと思うこと									
		職場での人権対策を推進すること	感染症について学習できる学校教育環境を整備すること	感染症患者の就職機会の均等確保を図ること	感染症について家庭や地域での広報、啓発活動を推進すること	プライバシー保護を徹底させること	相談、支援体制を充実させること	特にない	その他	不明・無回答	
問 34 感染症患者等の人権について尊重されていないと思うこと	感染したことを理由に結婚を拒否や反対されたり離婚に追い込まれたりすること	73	54.8	49.3	23.3	27.4	47.9	30.1	1.4	1.4	1.4
	感染したことを無断で他の人に知らされること	138	33.3	36.2	12.3	30.4	61.6	33.3	3.6	2.2	2.9
	無断で検査されたり検査を強要されたりすること	48	37.5	45.8	29.2	29.2	58.3	29.2	4.2	0.0	4.2
	感染症に関して興味本位の報道をされること	85	29.4	45.9	22.4	38.8	52.9	44.7	1.2	2.4	0.0
	本人の了解なく感染した事実をさらされること	140	30.7	42.9	17.9	30.0	65.7	34.3	1.4	0.7	2.9
	医療従事者やエッセンシャルワーカーとその家族に対して差別や偏見があること	64	48.4	46.9	18.8	31.3	53.1	34.4	1.6	0.0	1.6
	根拠のない噂を流されること	145	29.0	35.9	12.4	29.7	65.5	37.2	2.1	1.4	0.7
	わからない	24	25.0	29.2	8.3	16.7	25.0	29.2	37.5	0.0	4.2
	特にない	30	16.7	13.3	3.3	16.7	23.3	33.3	46.7	3.3	0.0
	その他	9	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	33.3	11.1	44.4	0.0
	不明・無回答	11	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	90.9

●インターネットによる人権侵害について

問 37 インターネットによる人権侵害だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

×問 38 インターネットによる人権侵害をなくすために効果的だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

%	n(人)	問 38 インターネットによる人権侵害をなくすために効果的だと思うこと											
		親が子どもに正しいインターネットの利用方法を教育すること	インターネット上の利用者やプロバイダーに対して人権を守る働きかけを推進すること	違法な情報発信者に対する監視や取り締まりを強化すること	小中学生から正しいインターネット利用の教育を学校で推進すること	インターネット利用の規制や罰則を強化する法律を整備すること	インターネット上で人権侵害を受けた人からの相談、支援体制を充実させること	大人に対して正しいインターネットに関する情報を啓発する社会教育を充実させること	大人に対して正しいインターネットに関する情報がけること	必要以上にインターネットを利用しないように心がけること	特になし	その他	不明・無回答
問 37 インターネットによる人権侵害だと思うこと	インターネット上で子ども同士が中傷の書き込みをしたり仲間外れにすること	218	36.2	31.2	55.0	48.2	48.6	21.1	17.0	11.0	0.5	0.9	0.0
	他人の誹謗中傷や差別的な表現など人権を侵害するサイトがあること	197	31.5	39.1	63.5	42.6	47.2	21.8	17.8	7.6	0.5	1.5	0.0
	被差別部落の地名などを開示する部落差別を助長するサイトがあること	38	34.2	39.5	73.7	39.5	50.0	18.4	26.3	2.6	0.0	2.6	0.0
	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場になっていること	81	43.2	35.8	55.6	43.2	42.0	16.0	16.0	19.8	0.0	0.0	0.0
	事件の捜査対象となっている未成年の実名や顔写真がさらされていること	54	37.0	31.5	51.9	53.7	51.9	31.5	24.1	13.0	0.0	0.0	0.0
	悪質商法によるインターネット取引での被害があること	67	31.3	28.4	59.7	47.8	44.8	25.4	16.4	14.9	1.5	0.0	0.0
	SNS上に事実と異なる個人の情報を拡散してデマを広めること	176	25.6	30.1	61.4	46.0	51.1	25.6	19.3	11.4	0.6	1.1	0.0
	その他	7	14.3	28.6	42.9	28.6	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0
	不明・無回答	23	13.0	4.3	8.7	26.1	0.0	0.0	0.0	17.4	8.7	0.0	60.9

湯沢町
人権に関する町民意識調査
調査結果報告書

発行 令和4年10月 湯沢町
編集 湯沢町 町民課
〒949-6192 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立300番地
TEL : 025-784-3453
FAX : 025-784-2724
